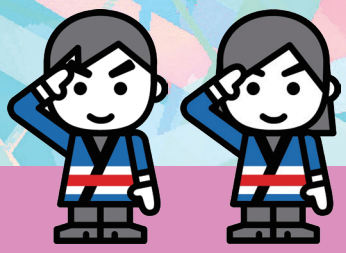
［令和7年度］

全国少年消防クラブ交流大会の記録



令和7年9月13日(土)～14日(日)



主催：消防庁

共催：広島県、広島市、(公財)広島県消防協会、(公財)日本消防協会、(一財)日本防火・防災協会

目次

まえがき …… 4
概要＆スケジュール …… 6
参加クラブ一覧 …… 7
1日目記録 …… 8
2日目記録 …… 9
クラブ対抗リレー …… 11
クラブ対抗障害物競走 …… 12
参加クラブの記録（全50クラブ）
厚別中央しなの少年消防クラブ …… 14
手稲鉄北少年消防クラブ …… 16
桂岡少年(少女)消防クラブ …… 18
小舟渡少年消防クラブ …… 20
歌津中学校少年防災クラブ …… 22
三郷市少年消防クラブ …… 24
吉川松伏少年消防クラブ …… 26
浦安市少年消防団 …… 28
本郷消防少年団 …… 30
大森消防少年団 …… 32
野方消防少年団 …… 34
荒川消防少年団 …… 36
小岩消防少年団 …… 38
本田消防少年団 …… 40
八王子消防少年団 …… 42
清瀬消防少年団 …… 44
大和市少年消防団 …… 46
伏見台子ども消防クラブ …… 48
豊田市立寿恵野小学校少年消防クラブ …… 50
尾張旭市少年少女消防団 …… 52
城陽少年消防クラブ …… 54
河南町ファイアジュニア …… 56
本庄中学校ジュニア防災チーム …… 58

歌敷山中学校防災ジュニアチーム ……60
渚中学校ジュニア防災リーダー ……62
たつの・太子少年消防クラブ ……64
米子市消防団少年消防クラブ ……66
城東台少年消防クラブ ……68
吉島地区少年消防クラブ ……70
元宇品学区少年消防クラブ ……72
青崎地区少年消防クラブ ……74
安佐南区南部少年消防クラブ ……76
たかかげ少年消防団……78
三原市Brave Fire Club ……80
三原市立沼田東小学校少年消防クラブ ……82
あけぼの少年少女消防クラブ ……84
能美少年消防クラブ ……86
府中町少年少女消防クラブ ……88
厚南地区少年消防クラブ ……90
渭北スポーツ少年団消防クラブ ……92
美馬市少年少女消防クラブ ……94
南国市少年消防クラブ ……96
吉川こども防災クラブ Ark Crew ……98
中土佐ジュニア消防団 …… 100
高見少年消防クラブ …… 102
くすばし少年消防クラブ …… 104
ひかり児童館少年消防クラブ …… 106
日出町少年消防クラブ …… 108
宮崎南小学校・赤江中学校合同消防クラブ …… 110
出水中央高等学校地域リーダー同好会 …… 112

写真集

交流大会の思い出①…… 116
交流大会の思い出②…… 119

まえがき

少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの少年少女で結成されており、令和７年５月１日現在、全国に3,930団体、約37万人のクラブ員が活動しています。

少年消防クラブ員は、防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関する様々な訓練の実施、講習会等への参加、火災予防ポスターの作成、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会の実施などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

地震や風水害など多くの自然災害が発生する我が国において、少年消防クラブ員には、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されています。このことを踏まえ消防庁では、将来の地域防災の担い手育成を図るため、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて、他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めることを目的とした「全国少年消防クラブ交流大会」を平成２４年度から開催しています。

今年の交流大会は、広島県広島市で開催し、全国から50クラブ（クラブ員269名、指導員81名、合計350名）が参加しました。

１日目は、オリエンテーションやクラブ紹介、安芸太田町の松原神楽団による伝統芸能の神楽を鑑賞しながら、全国のクラブ員と交流を深めました。

２日目は、消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練を実施し、水消火器による放水や障害物を越えながらのホースの展張・延長など、日頃の訓練で得た技術を披露すると他のクラブから拍手や声援が送られお互いの健闘をたたえていました。

この交流大会で経験したことがクラブ員のさらなる意識高揚につながり、今後の少年消防クラブ活動において大いに活躍され、地域防災の担い手として成長されることを期待しています。

この記録誌は、交流大会に参加したクラブ員の感想等をまとめたものです。交流大会を通じて感じたこと、今後の抱負など、クラブ員の熱い気持ちが綴られています。ぜひ、ご一読いただき、少年消防クラブ活動の参考としていただければ幸いです。

交流大会における各活動行事については、開催地である広島県をはじめ、県内の消防本部・消防団、女性防火クラブ、各施設の職員の方々や、参加クラブ（クラブ員・指導者、事務担当消防本部等）の皆さまなど多くの方々のご支援・ご協力により、すべての行程を無事に終えることができました。

結びに、交流大会の開催にあたりご尽力いただきました広島県、広島市、公益財団法人広島県消防協会、公益財団法人日本消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会の関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室

［令和7年度］全国少年消防クラブ交流大会の記録

概要&スケジュール

令和7年度 全国少年消防クラブ交流大会の概要

【　日　程　】 令和7年9月13日（土）～9月14日（日）
【　主　催　】 消防庁
【　共　催　】 広島県、広島市、（公財）広島県消防協会、（公財）日本消防協会、
（一財）日本防火・防災協会
【参加クラブ】 全国の少年消防クラブから応募のあった50クラブ
（クラブ員269名、指導員81名、合計350名）

令和7年度 全国少年消防クラブ交流大会スケジュール

9月13日（土）

会場：リーガロイヤルホテル広島

時　間	内　容
15:00～	受付
15:00～ 17:00	VRによる災害疑似体験
17:30～ 19:00	オリエンテーション／クラブ紹介
19:00～20:00	夕食／松原神楽鑑賞
20:00～	準備・就寝

9月14日（日）

会場：広島県立総合体育館

時　間	内　容
6:30	朝食
7:45～　8:00	訓練会場移動
8:25～　8:45	リハーサル
8:45～　9:15	開会式
9:15～ 12:30	合同訓練（前半の部・休憩・後半の部）
12:30～ 13:00	閉会式
12:30～ 13:15	昼食
13:15	解散

参加クラブ一覧

NO	都道府県	市町村区	クラブ名	No	都道府県	市町村区	クラブ名
1	北海道	札幌市	**厚別中央しなの少年消防クラブ**	26	兵庫県	太子町	**たつの・太子少年消防クラブ**
2	北海道	札幌市	**手稲鉄北少年消防クラブ**	27	鳥取県	米子市	**米子市消防団少年消防クラブ**
3	北海道	小樽市	**桂岡少年(少女)消防クラブ**	28	岡山県	岡山市	**城東台少年消防クラブ**
4	青森県	階上町	**小舟渡少年消防クラブ**	29	広島県	広島市	**吉島地区少年消防クラブ**
5	宮城県	南三陸町	**歌津中学校少年防災クラブ**	30	広島県	広島市	**元宇品学区少年消防クラブ**
6	埼玉県	三郷市	**三郷市少年消防クラブ**	31	広島県	広島市	**青崎地区少年消防クラブ**
7	埼玉県	吉川市	**吉川松伏少年消防クラブ**	32	広島県	広島市	**安佐南区南部少年消防クラブ**
8	千葉県	浦安市	**浦安市少年消防団**	33	広島県	三原市	**たかかげ少年消防団**
9	東京都	文京区	**本郷消防少年団**	34	広島県	三原市	**三原市Brave Fire Club**
10	東京都	大田区	**大森消防少年団**	35	広島県	三原市	**三原市立沼田東小学校少年消防クラブ**
11	東京都	中野区	**野方消防少年団**	36	広島県	福山市	**あけぼの少年少女消防クラブ**
12	東京都	荒川区	**荒川消防少年団**	37	広島県	江田島市	**能美少年消防クラブ**
13	東京都	江戸川区	**小岩消防少年団**	38	広島県	府中町	**府中町少年少女消防クラブ**
14	東京都	葛飾区	**本田消防少年団**	39	山口県	宇部市	**厚南地区少年消防クラブ**
15	東京都	八王子市	**八王子消防少年団**	40	徳島県	徳島市	**渭北スポーツ少年団消防クラブ**
16	東京都	清瀬市	**清瀬消防少年団**	41	徳島県	美馬市	**美馬市少年少女消防クラブ**
17	神奈川県	大和市	**大和市少年消防団**	42	高知県	南国市	**南国市少年消防クラブ**
18	石川県	金沢市	**伏見台子ども消防クラブ**	43	高知県	香南市	**吉川こども防災クラブ Ark Crew**
19	愛知県	豊田市	**豊田市立寿恵野小学校少年消防クラブ**	44	高知県	中土佐町	**中土佐ジュニア消防団**
20	愛知県	尾張旭市	**尾張旭市少年少女消防団**	45	福岡県	北九州市	**高見少年消防クラブ**
21	京都府	城陽市	**城陽少年消防クラブ**	46	福岡県	北九州市	**くすばし少年消防クラブ**
22	大阪府	河南町	**河南町ファイアジュニア**	47	熊本県	八代市	**ひかり児童館少年消防クラブ**
23	兵庫県	神戸市	**本庄中学校ジュニア防災チーム**	48	大分県	日出町	**日出町少年消防クラブ**
24	兵庫県	神戸市	**歌敷山中学校防災ジュニアチーム**	49	宮崎県	宮崎市	**宮崎南小学校・赤江中学校合同消防クラブ**
25	兵庫県	神戸市	**渚中学校ジュニア防災リーダー**	50	鹿児島県	出水市	**出水中央高等学校地域リーダー同好会**

1日目
9月13日（土）

15:00～	VRによる災害疑似体験
17:30～	交流会 ・クラブ紹介 ・伝統芸能鑑賞（松原神楽団）

オリエンテーションに続いて行ったクラブの紹介では、全50クラブが様々な手法でクラブや地域の特色を伝える演出をするなど趣向をこらして魅力をアピールしました。また、広島県及び広島市のPR動画視聴や安芸太田町の松原神楽団による伝統芸能の神楽を鑑賞しました。クラブ員も神楽の勇敢な舞と華やかな衣装に圧倒され、とても有意義な時間となりました。



■主催者挨拶
消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室
簇野 敏行　室長



■来賓挨拶
広島県
湯崎 英彦　知事



■来賓挨拶
広島市
松井 一實　市長



■伝統芸能鑑賞
松原神楽団



■VRによる災害疑似体験



■クラブ紹介

2日目
9月14日（日）

8:25～	リハーサル
8:45～	開会式
9:15～	合同訓練　クラブ対抗リレー
	クラブ対抗障害物競走
12:00～	閉会式

合同訓練では、消防ホースの筒先をバトンとし、水消火器の放水やホースの延長などの課題をクリアしていく「クラブ対抗リレー」と、ホースの結合やロープの結索などをしつつ、ホースを延ばしながら進む「クラブ対抗障害物競争」の2種目で、競技タイムを競いました。

開会式



■主催者挨拶
消防庁国民保護・防災部防災課
地域防災室
簱野 敏行　室長



■挨拶
少年消防クラブ
活性化推進会議委員
秋本 敏文　委員長



■選手宣誓
埼玉県
三郷市少年消防クラブ
浜畑 慧介　さん

合同訓練

【クラブ対抗リレー】





【クラブ対抗障害物競走】





閉会式　表彰









■決意表明

広島県
吉島地区少年消防クラブ少年消防クラブ　中島 颯甫 さん
元宇品学区少年消防クラブ　冨士田 花穂 さん
青崎地区少年消防クラブ　増成 岳 さん
安佐南区南部少年消防クラブ　前田 瑚太郎 さん

■閉会のことば

公益財団法人
兵島県消防協会
濱井 忠昭　会長

入賞チーム

【第1位】
広島県　府中町少年少女消防クラブ



【第2位】
千葉県　浦安市少年消防団



【第3位】
東京都　八王子消防少年団



【第4位】
埼玉県　吉川松伏少年消防クラブ



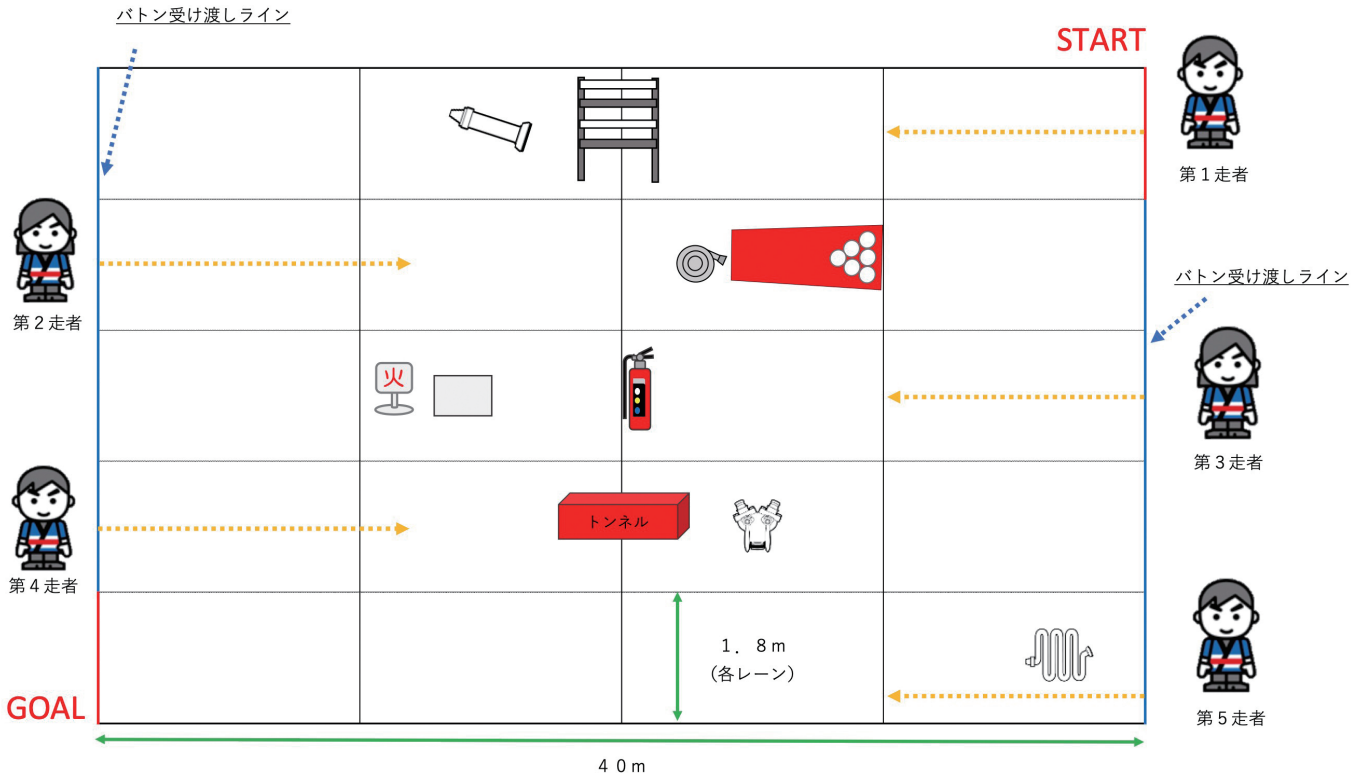
【第5位】
埼玉県　三郷市少年消防クラブ



合同訓練の概要

クラブ対抗リレー

１クラブ５名により、放水に使用する筒先をバトンとして、各障害をクリアしていくリレー競技（折り返し方式）です。

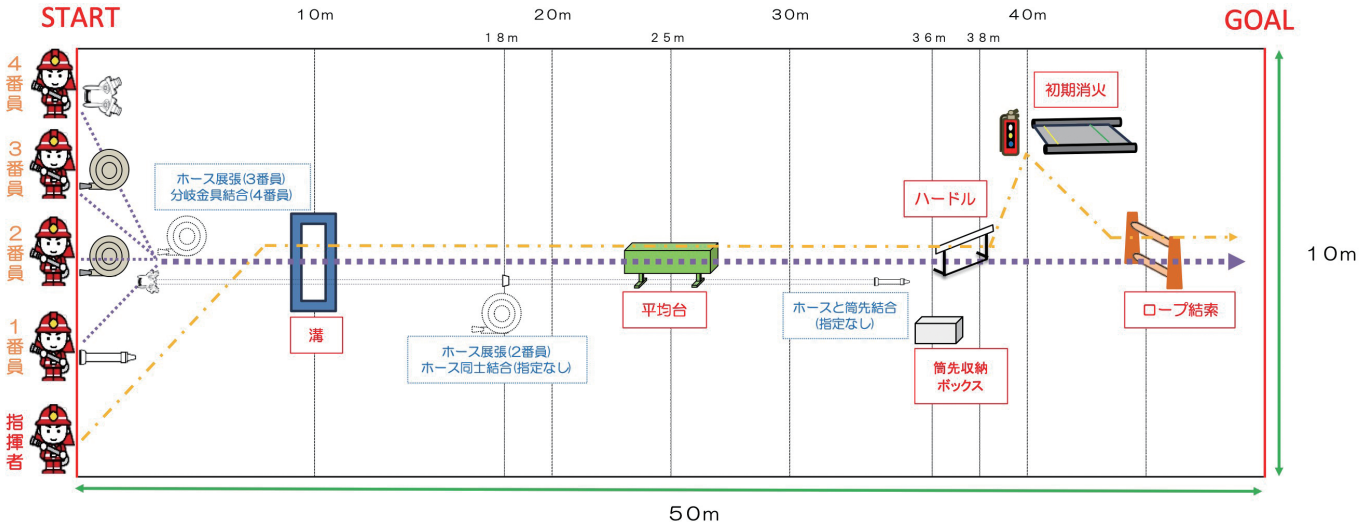


番員	障害種目	リレー競技実施内容	
第１走者	障害壁	審判の合図によりスタートし、スタート地点から20m先にある障害壁を安全に乗り越える。 障害壁の先に置いてあるバトン（筒先）を携行し、コースを走破して第2走者へバトン（筒先）を渡す。 ※障害壁 … 高さ150cm、幅110cm／手すり：幅8cm、地上から30cm間隔で4本設置 ※筒先 … 40mmホース用 長さ46cm	
第２走者	ホースボウリング	第1走者からバトン（筒先）を受け取ったタイミングでスタートする。 25m先に置かれた二重巻きの40mmホースまで走り、バトン（筒先）を脇に置く。 ボウリングコース（赤いカーペット）上、4m先のボウリングピンめがけて40mmの二重巻きホースを展張する。その後、再びバトン（筒先）を携行し、コースを走破して第3走者へバトン（筒先）を渡す。 ※カーペット … 幅80cm／（レーン … 全長550cm、幅80cm）	
第３走者	水消火器	第2走者からバトン（筒先）を受け取ったタイミングでスタートする。 20m先に置かれた水消火器を携行し、さらに5m先の指定枠（白い四角枠）まで搬送する。 枠内にバトン（筒先）を置き、水消火器のピンを抜いて2.5m先に置かれた標的（1台）に水を当て倒す。 その後、再びバトン（筒先）を携行し、コースを走破して第4走者へバトン（筒先）を渡す。 ※まと … まとの大きさ：縦21.5cm、横25cm／高さ：62.5cm	
第４走者	トンネル	第3走者からバトン（筒先）を受け取ったタイミングでスタートする。 20m先に置かれた全長3mのトンネルをくぐり抜ける。トンネルの出口から約5mのところに置いてある分岐金具を携行し、コースを走破して第5走者へバトン（筒先）と分岐金具を渡す。 ※トンネル … 間口：横60cm、縦80cm／全長：約3m	
第５走者（アンカー）	ホース延長	第4走者からバトン（筒先）と分岐金具を受け取ったタイミングでスタートする。 コース上に置かれた折りたたみホースのメス金具（スタート側の金具）を分岐金具に結合する。 ホースのオス金具（ゴール側の金具）にバトン（筒先）を結合し、バトン（筒先）を確実に保持しながらホースを延長してゴールを目指す。 ゴールラインを身体と筒先の全部が通過したところでゴールとし、バトン（筒先）を地面に置く。	

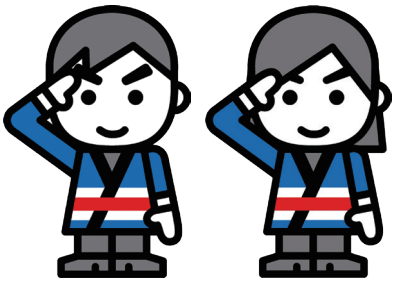
合同訓練の概要

クラブ対抗障害物競争

指揮者１名を含む５名により、コース上の障害物を越えながらホースを展張・延長し、全員でゴールを目指す競技です。



番員	スタート時の携行資機材	障害物競技実施内容	共通事項
指揮者		スタートの合図で、【溝】→【平均台】→【ハードル】と越える。 【初期消火】実施した後、【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。 ゴールした後、全員が終了報告位置に整列したことを確認したところで、右手を挙げ終了の合図をする。	※1 競技タイムの計測はスタートから最後のクラブ員がゴールラインを通過するまでとし、整列や終了報告にかかる時間は計上しない。 ※2 ホース同士の結合、ホースと筒先の結合は、前走者・次走者のどちらが実施してもよい。 また、双方が協力して結合してもよい。 ※3 結索台において実施する結索は、 ①巻き結び …1本 ②もやい結び …1本 ③とめ結び …1本 ④本結び …1本 ⑤プルージック …1本 の5種類(計5本)とし、各番員(指揮者含む)が結索を1種類ずつ実施すること。
1番員	筒先	スタートの合図で筒先を携行し、【溝】→【平均台】と越える。 【平均台】を越え、36m地点で待機し、2番員が延長してきたホースと筒先を結合し、【筒先収納ボックス】に収納する。 【ハードル】を越え、【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。 ゴールした後、終了報告位置に整列する。	
2番員	二重巻40mmホース	スタートの合図で二重巻の40mmホースを携行し、【溝】を越える。 18m地点で自身が搬送したホースを展張し、3番員のホース延長を待つ。 3番員が展張したホースに自身のホースを結合した後、ホースを延長しながら【平均台】を渡り、【平均台】の先で待つ1番員の筒先と結合する。 【ハードル】を越え、【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。 ゴールした後、終了報告位置に整列する。	
3番員	二重巻40mmホース	スタートの合図で二重巻の40mmホース展張する。 ホースのオス金具を持ちホースを延長しながら、【溝】を越える。 2番員が展張したホースに、自身のホースを結合した後、【平均台】を渡り、【ハードル】を越え、【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。 ゴールした後、終了報告位置に整列する。	
4番員	分岐金具	スタートの合図で3番員の展張した二重巻の40mmホースと分岐金具を結合する。 【溝】→【平均台】→【ハードル】と越え、【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。 ゴールした後、終了報告位置に整列する。	



参加クラブの記録［全50クラブ］

クラブの記録
1

厚別中央しなの少年消防クラブ

北海道札幌市

7年越しのリベンジに燃えた全国交流大会



創設昭和60年、厚別中央町内会連合会が創立。現在クラブ員43名、高校生4名、中学生2名、小学生37名と指導者7名。平成30年度少年消防クラブ交流会（千葉県浦和市）初参加、令和元年度ヨーロッパ青少年消防オリンピック（スイス連邦マルティニ市）参加。



感謝でいっぱいの全国交流大会

指導者　久保田 恒央

平成30年千葉県浦安市にて開催の交流会以来、コロナ架を挟んで7年ぶりの全国大会でした。今回のリーダー高3クラブ員は7年前小5で悔しい思いをし『リベンジしたい！』との気持ちも胸に、署員の方々には機材準備、場所の提供、指導を頂き限られた時間の中で何度も指導を頂きました。結果を出す為に5名全員で猛暑の中、消防署で練習を重ねました。入賞果たせませんでしたが次に繋がりました。多くの方々のサポートに感謝します。

貴重な時間を過ごすことができました

指導者　常丸 理恵

私は今回指導者として競技者である娘とともに参加いたしました。日頃は小学生の消防クラブ活動を見学していましたが、高校生3人小学生2人を北海道の天気とは違う環境に引率する事に不安がありました。皆さんを鼓舞しながら体調を第一に気遣う事。そしてせっかくの広島訪問の機会を楽しむ事に徹しました。具体的には、時間管理、体調管理、明るく元気に過ごす事を心がけ、声かけも行っていました。本番では10位と上位の結果となり、また全員が元気に2泊3日を楽しんだ事に安堵しました。貴重な経験をありがとうございました。

七年越しの全国大会

清水 匠人

僕は七年前、この大会に参加したことがあり、今回の大会で二回目の参加となる。その時は、全体を通して良い経験にはなったものの大会本番で焦ってミスをしてしまい悔しい結果となってしまった。そこから七年、再びチャンスがきた。今度はチームの最年長として前回の経験を活かしつつ、何よりもベストを尽くすことを目標にチームのみんなと練習を重ねた。本番ではチームの誰もが今までで一番の動きを見せ、入賞はできなかったものの、10位という素晴らしい結果を残せた。全力に悔いはない。それを改めて実感した素晴らしい大会になった。



全国大会で得た学びと貴重な経験

鈴木 彩愛

初めて全国大会に出場することになり、普段は味わう事ができない緊張と達成感を感じました。本番はすごく緊張しましたが、チームのみんなで声を掛け合って最後までやり切れたのが思い出に残っています。また、いつもは関わることのない年代の方々と交流することが多く、貴重な経験になりました。今回の経験をこれからの活動や日常生活にも活かしていきたいです。



初めての全国大会

吉田 類

練習の時は、消火器で消火と紐の巻き結びなどの練習をしました。出場の2週間前に怪我をしてしまったのであまり練習はできませんでしたが、本番では練習以上に成果を出すことができました。特に巻き結びや結索が速く正確にできるようになり、とても嬉しかったです。初めて大会に参加し、楽しかったけど10位だったのですごく悔しかったです。次に参加の機会があれば、1位を目指したいと思います。また、初めての飛行機で広島へ行ったことも良い経験になりました。原爆ドームや原爆記念館を見学し、亡くなった人や生き残った人もとても地獄だったんだなと思いました。



全国大会で改めて知った防火防災の大切さ

恵美 顕成

私は、初めての全国大会で防火防災の重要さと大切さを改めて学ぶとともに、全国の小中学校の生徒とたくさん交流ができ、私たちのクラブがやっていない全国の少年消防クラブがやっている様々な活動を知ることで、今度の活動に繋げたいと思いました。全国大会の中で、原爆ドームに行くエクスカーションがあり、そこで戦争や核爆弾の恐ろしさや後遺症で苦しんでいる人たちの大変さなども知るきっかけにもなり、とても良い経験ができました。そして、これからは、防火防災の技術や意識を高めていきたいです。



安心して過ごせた交流大会

常丸 咲恵

消防署での練習時、難しいなとか大丈夫かなと不安が沢山ありました。大会が近くなるにつれて緊張感が増え、どうしようと思うようにもなりました。でもいざ行ってみると周りの方々のサポートがあり、全力を出して大会に挑むことができました。他の研修などでも心を落ち着かせたり、気持ちを変えてみたりして緊張が薄まりました。今まであった不安がさらっと消えて、安心して広島県で仲間達と取り組むことができました。





クラブの記録
2

手稲鉄北少年消防クラブ

北海道札幌市

経験を糧に、全国の仲間と未来へ繋ぐ



今回の大会では、指導者の指示を待つばかりではなく、クラブ員自身が練習メニューを組み立て、技術の向上に努める場面が多く見られました。また、新たに出場する後輩に対しては、上級生が積極的にアドバイスを行い、チーム全体の底上げを図ることができました。競技後も詳細な分析を実施し、成果や課題を実感したことが、活動意欲の向上に繋がっています。交流大会に出場できたことで新たな出会いがあり、そして再会した他クラブのメンバーとは、互いの成長を喜び合う貴重な縁となりました。



心を結ぶ交流の輪

指導者　村上 明代

交流大会では、ロープ結索に苦戦する選手へ全国の仲間が「頑張れ」と声援を送り、会場が一体となりました。また広島のクラブと再会し、お好み焼き店での交流を通じて笑顔が広がり、仲間とつながる喜びや楽しさ、思いやる心を学ぶことができました。

大会が育む「自主・責任そして感謝の念」

指導者　大谷 岳

今回の大会では、事前訓練を通してクラブ員の自主性の育成を目指しました。大会当日は、集団行動を通じて責任感や役割の自覚を深め、競技結果から自己を真摯に見つめ直す姿勢が見られました。特に、長期間在籍するクラブ員にとっては、この大会がこれまでの活動の集大成となり、同時に新たな目標を設定するきっかけにもなりました。全国の仲間との交流で得られた貴重な経験を糧に、未来の防火・防災リーダーへと大きく成長してくれることを期待しております。

チームワークの力

鈴木 陽仁

大会では、練習時に話し合って改善したことを活かすことができたと思います。次回も出場できるのならば今回の課題を更に改善し、今回よりも良い順位をとる自信があります！別のクラブと応援をし合ったことも楽しかったです。また、去年の大会で出会ったクラブ員が覚えていてくれたことも嬉しかったです。大会後には一緒にお好焼きを食べに行く事になり、より深い交流ができて楽しかったです。それから、TVで見る平和記念公園などを実際に見学したことで、原爆や戦争の悲劇さを実感し衝撃を受けました。



「想定外」から学んだこと

大谷 美鈴

交流大会は、指揮者として２回目の参加でしたが、障害物競走の結索の場面で想定外のことが起きて困りました。事前に採点のルールが知らされていたので、点数を考えると「完璧」よりも「効率」を優先して動けばもっとよい結果が取れたと思います。もちろん、点数や順位が全てではありませんが、私はこの出来事から、指揮者は「想定外」の時こそ的確な指示を出して動かす力が必要だと感じました。事前に練習通りにいかない状況を想定し、うまくいかなかった時の対応を考えておくべきでした。被災地で指揮をとる人も、きっとこんな気持ちなのだろうと思いました。この経験は、非常時に混乱した状況での判断力にもつながると感じました。



はじめての全国大会

福田 百花

はじめて家族以外の人と道外に行きました。自分で荷物や体調の管理ができるか心配だったけど、大丈夫でした。他のクラブと交流したり、広島のお好み焼きを食べたりして楽しかったです。大会前は緊張したけど、事前の練習で消防署の人やメンバーといっぱい練習したので本番もスムーズにできました。反省するところは、早寝と5分前行動が完璧じゃなかったことです。次また全国大会に行けたら気をつけたいです。



広げたい交流

大谷 宗太郎

今年の広島大会では、広島のクラブ員との交流が一番記憶に残りました。大会が終わった後もお好み焼き屋に行き、お互いの地域や消防クラブの活動についてたくさん話しました。広島は豪雨災害の防災に力を入れていて、消防クラブの活動には地域性があることに気付きました。練習の成果を十分に発揮することはできませんでしたが、「交流大会」の名の通り、交流を満喫することができて良かったと感じています。そして、今度こそ良い結果を出せるように、次の大会に向けて頑張りたいです。これからも他の地域のクラブの人とも交流を深めたいと思っています。

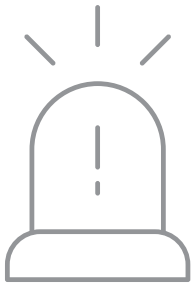


大切なこと

寺井 一善

今回の広島での交流大会に参加して、分かったことは「練習の大切さ」です。ホースの向きやロープの結び方など、複数のパターンに正確に対応できるようになるためには、練習が欠かせません。練習で完璧だと思っていても、本番ではできなかったこともありました。この経験を活かして、次回もこのような機会があれば、もっとたくさんのパターンをしっかりと練習し、大会に備えたいと思っています。また、交流の大切さも実感しました。大会では仲良くなったチームから大きな声で応援してもらえたり、広島のチームの方たちと一緒にお食事をしたりできたからです。交流を通してとても楽しい大会になりました。





クラブの記録
3

桂岡少年(少女)消防クラブ

北海道小樽市

小さなクラブが2度目の全国交流大会参加へ



当クラブは、平成4年5月に結成され、消防本部が実施する消防体験研修会、防火・防災ポスターコンクール、消防職場見学会に参加するほか、消防団の合同訓練見学・参加、クラブ独自の活動として、桂岡女性防火クラブで行っている防火街頭啓発、町内会で行っている自衛消防訓練の参加、少年消防クラブ防火パレード、冬季間の消火栓周りの除雪ボランティア等を実施しています。



全国交流大会への心構えの違いについて

指導者　池田 正

今年は2度目のチャレンジ、昨年よりレベルアップを目指し、消防署の協力に依る練習も力を入れて行いました。初出場の部員は緊張のなか、技術習得に余念がありませんでしたが、昨年出場の子ども達に油断が生じてしまいました。もう一度、競技そのものよりも意味合いの理解力向上が必要と感じてきました。

全国交流大会を振り返って

須貝 茉由

去年の兵庫に引き続き、今年の広島の大会も自分の人生においてとてもいい経験になりました。1日目は全国から集まった沢山の人達と沢山交流しつつ、広島芸能を楽しんだり、広島焼きを沢山食べたりととても楽しかったです。2日目は大会当日で、自分達の自己ベストを出せたと思います。また、他のチームを見て、まだまだ自分達は成長できるなとも感じました。来年も出場できるようになったら、今年以上に練習し、レベルアップして大会に挑みたいです。



頑張った交流会

髙野 真桜

競技では他のチームがとてもキビキビしていて、私も頑張るぞ!という気持ちになりました。でも自分たちの番になったら、私は緊張してしまい焦って思うようにいかず練習より時間がかかってしまい悔しかったです。大会前の練習では銭函消防署の方に苦手なロープ結びやホースの伸ばし方のコツを優しく教えてもらい、できるようになり嬉しかったです。そして５人で力を合わせ精いっぱい最後まで頑張る事ができて良かったです。もし来年も大会に出られたら、もっと頑張りたいです。



広島の交流大会について

平方 愛由梨

今回の大会で、私は仲間とのきずなと消防の知識を身に付けました。2回目の参加で緊張はあまりなかったのですが、相手のチームが早くて、急いでいたら失敗してしまい、慌てちゃったけど精いっぱい頑張りました。とても良い体験になりました。



競技と旅

今 あいな

初めて少年消防クラブの仲間たちと広島まで行きました。見たことがない景色に感動したのを今でも覚えています。競技になると緊張感がすごくてドキドキでした。思ったより良い結果を残すことはできませんでしたが、皆で一生懸命力を合わせて最後まで頑張りました。



全国少年消防クラブ交流会を通して経験したこと

岩岬 来春

大会に向けて、銭函消防署の皆さんが競技のやり方を教えてくれました。細かいところまで丁寧に教えてくれて、練習がとても楽しかったです。その中でも私は、ロープ結索に苦戦しましたが、家で練習したり消防士さんに教えてもらったりして覚えていきました。本番の競技直前は緊張しましたが、スタート地点に立った時は「やるしかない」と思い、練習通りにできました。また出られる機会があれば、今回よりもさらに練習を頑張って大会に挑みたいと思います。



クラブの記録
4

小舟渡少年消防クラブ

青森県階上町

本州最北部からの挑戦 ～笑顔～



小舟渡少年消防クラブは、東日本大震災発生前の平成22年12月24日に設立しました。以後、地元消防団と夏休み、冬休みの防火パトロールを毎年続けているほか、町消防団出初式へも参加しています。また、八戸地域少年消防クラブ育成協議会主催の少年消防クラブリーダー研修会への参加や少年消防図画コンクールへの応募も積極的に行っています。令和5年度からは軽可搬ポンプ操法にも取り組んでおり、町消防団操法大会や町総合防災訓練において練習の成果を披露しております。



子ども達の頑張りに感動、そして感謝

指導者　佐京 実

昭和100年に当たる2025年、そして、広島原爆から80年が経った広島市において、10回目の節目となる全国少年消防クラブ交流大会へ参加の機会を与えていただきありがとうございました。限られた練習期間ではありましたが、練習以上に上手くできたことや手間取ったこともあり、とてもいい経験をさせていただきました。これを機に、子ども達が将来、地域の防災リーダーを担ってくれる大人に育ってくれればうれしいです。

仲間と共に頑張る

佐京 しずく

地域の方々や消防団の皆さんなど、多くの方々からの応援のお陰で全国交流大会へ参加できました。また、消防署員の皆さんは、練習の色々な準備をしてくださり、また、ロープの結び方や水消火器の使い方などを教えていただきました。クラブ対抗障害物競技では、少し緊張もあったけど、ロープ結索が練習のときより上手くできて嬉しかったです。楽しかったこの素晴らしい経験を生かして、これからも仲間と共に頑張っていきたいと思います。



練習は嘘をつかない

磯崎 明衣夏

多くの方々からの応援やご協力のお陰で全国交流大会へ参加できました。また、消防署員の皆さんからは、ロープの結び方やホース延長などを教えていただきました。リレー競技では、第2走者としてホースボウリングをしました。練習では、なかなかボウリングピンを倒すことができなかったけど、本番では、全部のボウリングピンを倒すことができて、びっくりしたのと同時にとても嬉しかったです。この経験は、とても良い思い出になります。



つないだバトン（筒先）

重文字 華月

地域や消防団などの多くの方々からの応援やご協力のお陰で全国交流大会へ参加できました。また、消防署員の皆さんからは、ロープの結び方や筒先や金具の結合の仕方などを教えていただきました。リレー競技では、第5走者としてホース延長をしました。筒先や金具を結合して走るのがあまり早くできなかったけど、ゴールまで一生懸命に頑張って走りました。交流大会に参加して、とても貴重な体験をすることができてありがとうございました。



楽しかった全国交流大会

佐藤 百華

全国交流大会へ向けて、消防署員の皆さんからは、ロープの結び方や水消火器の使い方などを教えていただきました。全国交流大会では、リレー競技で第3走者の水消火器、障害物競技では指揮者を担当しました。水消火器はいつもどおりできたと思いますが、思うように前に出ることができず悔しかったです。交流大会に参加して、とても貴重な体験をすることができて楽しかったです。多くの方々からの応援やご協力をいただき、ありがとうございました。



全国交流大会で学んだこと

大平 亮太

全国交流大会へ向けて、消防署員の皆さんから、ホースの延ばし方やロープの結び方、水消火器の使い方を教えていただきました。クラブ対抗障害物競技では、ホース延長とロープ結索が練習どおり上手くできました。また、全国交流大会では、チームとしての結果はあまり良くなかったけど、他のチームの競技する姿を見ることができて、とても勉強になりました。これからも、みんなと協力しながら、少年消防の活動を頑張りたいと思います。



協力することの大切さ

重文字 ななみ

青森県から１チームだけ広島での全国交流大会へ参加しました。広島では、原爆ドームや平和記念公園を案内していただきました。クラブ対抗障害物競技では、消防署員から教えていただいたロープ結索が上手くできました。今回の全国交流大会で頑張ったこと、学んだことは協力することです。そして、協力しないと初期消火などが思うようにできないと思いました。これからも、みんなと協力しながら頑張っていきたいと思います。



クラブの記録
5

歌津中学校少年防災クラブ

宮城県南三陸町

全国優勝を目指して



歌津中学校少年防災クラブは、東日本大震災直前の平成23年2月に発足しました。全校生徒がクラブ員として活動しており、令和７年度は、92名の団員となっています。毎年、地元の消防署の方々からご指導いただきながら実施している「避難所運営活動」や文化祭での「歌中少年防災クラブ代表委員の発表」は、保護者をはじめ、地域の方々に大きな勇気と感動を与えるなど、本校の伝統として根付いています。



全力で取り組む姿勢

指導者　鎌田 祐綺

今回参加した生徒たちは、消防署職員の皆様のご協力をいただきながら、暑い夏の日々も一生懸命に練習に取り組んできました。障害物競争やクラブ対抗リレーでは、緊張の中でも最後まで全力を尽くして頑張りました。全国から50のクラブが参加する中で、入賞を果たすことはできませんでしたが、生徒たちの悔し涙は、これまで全力で取り組んできた努力の証だと思います。また、この大会を通して、生徒たちは防災への関心と意識をさらに深めるきっかけとなりました。最後に、大会の運営にご尽力いただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます

この大会を通じて

高橋 大和

私は、今回の交流大会を通じて、全国少年消防クラブの方々と交流でき、すごく楽しかったです。合同訓練では、消防士の皆さんに教えて頂いたことを全力で発揮しようと頑張りましたが、あまり上手くいかず、入賞は惜しくもできませんでしたが、今回の経験はきっと将来の役に立つと思いました。また、今回の大会に参加したことで、以前から見てみたいと思っていた原爆ドームや広島城を訪れることができ、とても貴重な体験となりました。さらに、夕食で食べた広島風お好み焼きやアナゴ飯もとても美味しく、広島の魅力を肌で感じることができました。



この悔しい思いを胸に

菅原 咲來

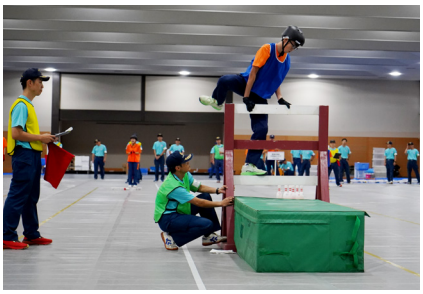
今回、私は初めて交流大会に参加しました。私たちは、入賞することはできませんでした。とても悔しい思いでいっぱいですが、仲間との絆を深め、団結力を高めることができました。初めての大会ということで緊張もありましたが、その緊張がよい刺激となり、多くの学びにつながりました。今回の経験で感じた悔しさを忘れずに、これからも一歩一歩成長していきたいと思います。そして、全国のみんなと交流することができて、本当に楽しく貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



交流大会に参加してみて

千葉 善晴

私は全国少年消防クラブ交流大会に参加して感じたことがあります。それは、みんなの防災意識が非常に高いということです。歌津中学校は、全国の中学校の中でも特に防災教育に力を注いでいると思っていました。しかし、交流大会に参加してみると、とても防災意識が高く、自分たちが学んでいる防災学習とはまた違った学習をしていることがわかりました。これからも、防災意識を高く持ち、いざ災害が起きても学んだことを生かして行動していきたいです。



仲間と共に

阿部 紗千

私は、全国少年消防クラブ交流大会に参加し様々な経験をしました。初めはやった事の無い動きに戸惑い、苦戦しましたが、仲間と共に練習していくうちに、少しずつ記録を伸ばすことができました。大会本番では私達が目標としていた優勝を取る事はできませんでしたが、一人一人が競技と向き合い全力を尽くすことができました。大会までの間、教えてくださった消防の方々や、支えてくださった先生方、応援してくれた全ての方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



交流大会を終えて

佐藤 杏

私は、障害物競争とリレーの五番員を担当しました。仲間と夏休みからたくさん練習してきました。私はどちらの種目でも機具を取り付ける作業で、うまく取り付けられなかったり、取り付けが不十分だったりして、「仲間に迷惑をかけてしまう」と焦ることもありました。そこで、少しでも上達できるように積極的に練習に取り組みました。本番ではミスをしてしまい悔しい結果となりましたが、練習で学んだことを忘れずに災害が起きた際には生かすことができるようにしたいです。



全国少年消防クラブ交流大会を終えて

鎌田 七海

私は、今回の全国少年消防クラブ交流大会に参加し、たくさんのことを学びました。仲間と一生懸命取り組んだ２か月間は、私にとって忘れられない大切な時間となりました。大会本番では、練習の成果を十分に発揮することができず、とても悔しい思いをしました。仲間に申し訳ない気持ちもありましたが、それ以上に貴重な経験をすることができたと思います。また、全国の少年消防クラブの方々と交流することができ、刺激を受けるとともに、自分たちの活動を見つめ直す良い機会にもなりました。



クラブの記録 6

三郷市少年消防クラブ

埼玉県三郷市

三連覇へ～本気で目指し、挑戦した夏～



三郷市少年消防クラブは平成23年4月1日に発足し、現在小学5年生から高校3年生まで計119名のクラブ員が活動しています。消防の基本となる規律や礼式を学ぶ基本訓練から始まり、ロープ降下・渡過訓練の救助体験などの様々な活動を通して消防防災について楽しく学んでいます。



こどもたちの未来へ

指導者　佐藤 孝彰

まず最初に浮かんできた言葉は、「申し訳ない」でした。消防の基本である、「安全、確実、迅速」の基に訓練を行い、量もこなしてきました。気が緩んでいたわけでもなく、むしろ昨年以上の自己タイムを持ちやれることは全てやってきましたが、優勝させてあげることができませんでした。優勝することだけを目指し、三連覇に挑戦してくれたクラブ員には本当に申し訳ない気持ちですが、今回の悔しさを糧に今後も努力を惜しまず、色んなことに挑戦し、強く正しい大人になってくれることに期待します。最後にこどもたちの未来が想像よりも幸せになるように、地域防災の担い手育成に尽力したいと思います。

悔しさの中で生まれた友情

浜畑 慧介

全国大会では、残念ながら優勝することができず、とても悔しい思いをしました。しかし、大会を通して大会メンバーの仲間と協力し、励まし合うことで強い友情が生まれました。結果は残せなかったけれど、仲間と力を合わせた経験は大きな宝物です。これからもこの絆を大切にしながら、自分はこの経験を活かしてこれからもいろんな事に挑戦していきたいです。



努力と協力

刈谷 結心那

優勝だけを目指して競技に挑んだ大会で、５位という結果が出たことがとても悔しいです。それでも、仲間と協力して取り組んだ「最高」の競技で「最幸」の時間でした。チームワークの大切さを改めて実感し、仲間や指導者の方々、家族の支えがあったからこそ頑張れて成長することができました。この経験を通じて、これからの活動でもっと努力や協力の価値を学び、今後につなげていきます。



こだわるということ

髙橋 ゆい

私は大会で優勝することを夢見ていた。しかし、優勝はできなかった。時間の経過と共に癒される気持ちと、一瞬でよみがえる悔しさが今も混在している。この大会で優勝という夢は叶わなかったが自分を知ることはできた。かけがえのない仲間や、信じてくれた指導者、支えてくれた家族に恵まれていることを大会が終わった今、実感している。私が小５の時にクラブに入団した理由はいつか全国交流大会で優勝することだった。そのこだわりは私を強くしていた。成長できた自分を誇りに思いたい。



夏の宝物

井上 皓叶

三連覇をかけて日々練習を重ねるたび、技術、チームワーク、礼儀が磨かれるのが実感できました。そして、緊張と楽しみが増していく中、明確な目標を持って練習をしてきました。それは、これまで厳しく指導をしてくださった消防職員の皆さん、失敗や成功を共に乗り越えてきた仲間たち、様々な人が僕を支え強くしてくれたからです。とても感謝しています。そして、とても誇りに思います。結果は5位となってしまったけど、優勝だけを目指して励んだ日々は宝物となり、僕のこれからを輝やしてくれると信じています。



心を一つに

刈谷 結月

私はこの大会で仲間の大切さ、私を支えてくれる人の大切さを知りました。最初はコミュニケーションが少なく、失敗が続いていた練習も少しずつコミュニケーションをとれるようになっていき、大会本番では６人心を一つにして臨むことができました。それでも結果は５位。悔し泣きをすることがなかった私でもこのときは涙が出ました。この大会まで本気で練習できたのは、指導者の方や、家族、そして最高な仲間がいたからだと感じました。私はこの経験を忘れずに色々なことに挑戦していきます。



一生の思い出

大熊 大和

三連覇!を目指して訓練をしてきました。初めの訓練ではコミュニケーションが少なく静かでした。だけど訓練を重ねるにつれて、コミュニケーションがどんどん出来るようになってきて失敗も減ってきました。大会本番では訓練してきたことを存分に発揮できるように頑張りましたが結果は５位。とても悔しくて沢山泣きました。ここまでやってこれたのは指導者の方、家族のおかげと感じています。このことを一生忘れずに過ごしていきたいです。このチームで参加出来た事が一生の宝物になりました。ありがとうございました。



クラブの記録
7

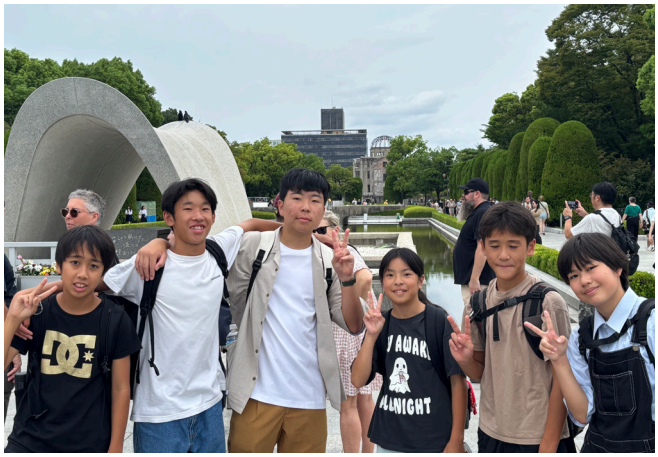
吉川松伏少年消防クラブ

埼玉県吉川市

仲間とともにめざした…　２０２５夏



吉川松伏少年消防クラブは平成24年4月に発足し、吉川市及び松伏町に在住の小学校5年生から高校3年生のクラブ員17名、準指導者19名で活動しています。活動内容はイベントでの普及啓発活動や放水訓練などの消防活動訓練、渡過や降下などの救助訓練、県内宿泊施設での宿泊学習など月に1回活動を行っています。活動訓練を通じて防火・防災知識を身につけるとともに、地域防災の担い手として様々な防火・防災につながる活動に取り組んでいます。



仲間と歩んだ夏

指導者　青木 崇

今回の交流大会では、前回大会の記録を上回ることを目標に訓練に取組んできました。思うようにタイムが伸びない時期もありましたが、同じ目標を掲げ訓練に励んだことで、合同訓練では４位入賞という結果を得ることができました。目標としていた前回大会の記録を抜くことはできませんでしたが、チーム一丸となり切磋琢磨したことは、今後の生活に生かされていくものではないかと感じました。また、広島の地を訪れ平和の尊さを学ぶことができ、良い経験を積むことができたと感じています。

全国少年消防クラブ交流大会を終えて

上原 会晴

優勝を目指しリーダーとして参加した交流大会で、仲間と協力することの大切さを学びました。当日は、ミスをしてしまい、悔しい気持ちもありますが、皆で勝ち取った4位入賞は嬉しかったです。暑い中熱心に指導して下さった職員の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。猛暑の中の訓練、勉強との両立など大変だったことも、学年も性別も違う仲間と楽しく過ごせた日々も、戦後80年の広島を訪れることが出来たことも、すべて貴重な体験となりました。本当にありがとうございました。



次こそ優勝

飯沼 杏奈

私は交流大会に出場するのが2回目で、去年、3位をとって嬉しかったり悔しかったりと複雑な気持ちだったので、今年は優勝するという強い気持ちで挑みました。リレーではふたまたぶんきを落とさないか不安だったけど、チームで声をかけあってしっかり仲間にバトンを渡せたので嬉しかったです。交流大会の結果は4位と入賞することはできましたが、優勝することができなかったので、良い点や改善点を見つけて次回の交流大会に繋げたいと思いました。



全国交流会に選抜されて

小林 直道

何よりもまず最初に、僕自身初出場の中でも4位に入れて嬉しかったです。そして次に来るのが練習の中でつちかってきた仲間との思い出がこれから先かけがえのないものになると思いました。僕がホースボーリングを本番で失敗したときに消防の青木さんが自分のことを励ましてくれました。練習の時でも、他の消防の職員さん達がコツやアドバイスをしてくれました。これからは4位と言う結果に満足せず次の交流会で1位になれるように頑張っていきたいです。



消防少年団で学んだ絆と挑戦

砂川 瑛翔

広島で行われた令和７年度少年消防クラブ交流会に参加して、とても良い経験ができました。私は吉川松伏少年消防クラブのメンバーとして大会に出場し、全国で四位に入賞することができました。夏休みの暑い中で一生懸命に練習してきたことを思い出すと、その努力が結果につながったのだと感じて、本当にうれしかったです。　交流会では、広島の伝統芸能を見たり、全国から集まった他の少年消防団の人たちと交流したりしました。普段は出会えない仲間と話すことができて、とても楽しく、勉強になりました。また、原爆ドームを見学して、戦争の悲しさや平和の大切さについて考えることもできました。消防の活動を通して「人の命を守る」という気持ちが、さらに強くなったと思います。大会本番ではとても緊張しましたが、練習してきたことを信じて演技することができました。終わったあとには安心した気持ちとやり切った満足感がありました。ここまで練習を支えてくださった吉川・松伏消防署の方々には、とても感謝しています。仲間と一緒に頑張れたことも、大きな思い出になりました。今回の経験をこれからの活動に活かして、もっと上を目指して頑張りたいです。また機会があれば、来年も参加して、今度こそ優勝をめざしたいと思います。



初めての全国交流会

佐藤 琴乃

私は今回の全国交流会で思った事があります。一つ目は、今回一緒に交流会に行ったメンバーと仲良くなれた事です。私は人見知りだったりで上手く人とお話する事が苦手だったのですが、今回の訓練や交流会を機にどんどん会話が増えていって訓練で大変だったけど楽しみながら訓練をできました。もうひとつは、自分の成長を感じられたということです。私はクラブに入ってから二年目で、六年生になりました。そして、交流会で指揮者をやらせてもらった時に「自分はこんなに早くなったんだ」と実感できました。



初めての広島県と仲間と思い出

岡田 湊

僕達はこの、全国少年消防クラブ交流会に向けて、夏の暑い日々から練習に励みました。大会当日は、大勢の人達の声援や視線を感じ、全国大会の雰囲気を感じることで、僕もチームの仲間達もとても緊張していましたが、今まで練習してきたことを信じて大会をやりきることができ、全国４位という成績を残すことができました。大会に向けて取り組んだ練習も、全国にできた仲間も、僕にとって忘れられない経験をすることができました。



浦安市少年消防団

千葉県浦安市

努力の成果



浦安市少年消防団は、平成24年に発足し、市内小学校５・６年生で構成しています。専属の指導員を中心に、１年間を通じて規律訓練、救命講習、救助訓練、総合防災訓練や出初式への参加などの活動を行っています。交流大会へは６年生から希望者を募り、選考会で選ばれた５名の選手が参加しました。



全国交流大会に参加して

指導者　亀山 友行

大会関係者の皆さん、大会に参加された皆さん、お疲れ様でした。暑い中訓練をして全国大会に挑んだと思います。浦安市も団員、署員の協力のもと、訓練を重ねていくうちに徐々に上達し、楽しんで活動をしていました。この活動を通し、選手たちの成長した姿が見られ頼もしく思いました。また、沢山の応援に来てくれた皆様ありがとうございました。

努力の先にあるもの

指導者　能登 翔太

「入賞」を目標に掲げ、８月から訓練を開始しました。厳しい訓練を乗り越え、大会で目標を達成した選手の皆さん、本当におめでとうございます。努力を惜しまず、一つ一つの課題に真剣に向き合い、素晴らしい結果となりました。大会では、仲間と励まし合い最後まで全力で挑んだ姿は、私の心に残る思い出となりました。これからの人生、色々な壁が立ちはだかると思いますが、この経験を糧に夢に向かって挑戦し続けてください。

新しい友情を築けた交流大会

大島 礼葦

真夏の暑い中、交流大会まで訓練が何日もありました。最初の頃はあまり話さなかったチームメイトとも、訓練を通じて楽しく話せるようになりました。そして、チームの仲間が訓練を頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうという気持ちが強くなりました。全国大会の本番では、訓練とは大きさや材質の違う障害物があり、うまくいかないところもありましたが、この経験を、来年の大会出場者に伝えてあげたいと思います。



交流大会の思い出

内山 太聖

入賞を目指して訓練を頑張りました。大会当日は、緊張したけど途中から楽しい気持ちが強くなっていきました。１回目のクラブ対抗リレーは、練習と同じように行かず、悔しい思いをしました。２回目のクラブ対抗障害物競争は、気持ちを切り替え、思った以上に良いタイムが取れて良かったです。2位という結果は、とても嬉しかったです。また機会があれば、こういう経験をしてみたいです。



入賞を目指して

三浦 夏奈

私達は、入賞という目標に向かって訓練をしてきました。そして、２位という結果をだす事ができました。最初は上手くできなかったことも、アドバイスを聞き練習をすることで上手くできるようになりました。周りの人の支えや仲間のおかげで２位になれたと思っています。大会では、他のチームの活躍を見たり、他のチームの選手達と仲良くする事ができ、楽しい思い出となりました。これからも助け合いや協力を大事にして、防災活動をしていきたいと思います。



支え合って乗り越えた訓練の日々

松尾 春都

最初は自信がなくて不安だったけれど、仲間といっしょにがんばるうちにミスが少なくなり、少しずつ自信がついてきました。先生の指導はきびしかったけれど、みんなで支え合って乗り越えることができました。本番では練習の成果を出しきり、２位になれてとてもうれしかったです。このメンバーでよかったと思うし、この経験で、仲間の大切さと努力の大切さを学びました。



楽しかった交流大会

谷田部 琉生

手を骨折した状態で訓練が始まりました。訓練中も、足が筋肉痛になったりして心配だったけど、仲間の励ましで訓練を頑張ることができました。特に結索が苦手でしたが、たくさん練習をして上手になりました。訓練を始めた頃は、指導が厳しくて不安もありましたが、段々と「1位を取ってやる」っていう気持ちが強くなっていきました。大会では、個人的には1位を目指していたけど、結果は惜しくも２位でした。ただ、最高の仲間と大会に挑めてとてもうれしかったし、最高の思い出になりました。この経験をこれからの生活にも活かしていきたいです。



クラブの記録 9

本郷消防少年団

東京都文京区

絆を深めた交流大会



本郷消防少年団は昭和54年に発足し、令和7年に発団46年を迎えました。指導者7名、団員は小学3年生から高校3年生までの総員70名で構成されており、毎月1回協力しながら楽しく活動しています。団員は各種訓練や活動を通じて、将来の防災リーダーになれるよう、防火防災に関する知識、技術を習得しています。



原爆投下から80年の広島で開催された交流会

指導者 大越 龍雄

団員の希望で原爆ドーム、平和公園に行き、鐘を突きご冥福をお祈りしました。日本全国から集まった少年消防団で盛り上がった楽しい交流会は、地方色や個性溢れる団の紹介、大会前から熱意、意気込みを感じさせられました。試合会場では結索ロープを出して、念入りにチーム全員で確認しあう姿、緊張をほぐすような話し合い等、参加団員には、楽しい思い出が走馬灯のように思い出される、素晴らしい大会だったでしょう。

深めた絆

村田 瑛麻

私は今回の旅がすごく楽しかったです。大会や他のチームとの交流はもちろん、会場が広島だったから、隙間時間に仲間たちと元々興味があった、原爆ドームや慰霊碑などを訪れることができて、お土産も買うことができたので最高でした。大会は優勝する事は出来なかったけど、普段の練習などを通して、絆を深める事もできました。二日間満喫して、帰りの新幹線はたくさん寝たのも思い出の一つです。また行きたいです!



交流大会に参加して

加藤 大和

全国少年消防クラブ交流大会に参加し、全国に沢山仲間がいることがわかり、嬉しく思いました。交流大会では、練習してきた結索を素早く行うことができて、ほっとしました。広島県の伝統芸能は楽しかったです。他にも広島県の文化を知ることができ、よかったです。大会主催者、関係者の皆様、このような交流大会を開催してくださり、ありがとうございました。



諦めないこと

伊藤 蒼大

私が今大会を通して成長したことはたくさんあります。その中の一つを書きます。それは、諦めないことの大切さを知ったことです。私のチームは一種目目の競技でミスをしてしまいました。僕は内心、もう優勝は無理だと思っていました。しかし、優勝は無理でも次の種目で少しでも順位を上げようと努力した結果、次の競技ではミスなくゴールすることができました。この経験から、私は諦めないことの大切さを学びました。



一生の思い出

矢部 彰

自分は今回、初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。新幹線内では、皆でUNOや人狼をして楽しかったです。夕食時には、迫力ある伝統芸能を見ました。ホテルでは自由時間の時にみんなで集まって遊んでとても楽しかったです。大会では皆で協力して全力で行いましたが、上位に入る事は出来なく、悔しかったですが、皆笑顔で終える事が出来たのでとても良かったです。再び参加できる機会があれば参加したいです。



人の役に立てるように

井塚 花

今年、初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。初めてで不安もありましたが、指導員の大越さんや先輩方に支えられ、安心して活動することができました。全国のクラブと交流する中で、活動のしかたや工夫がそれぞれちがうことを知り、とても良い経験になりました。また、広島で歴史や文化にふれることができ、命の大切さを改めて感じました。これからも消防少年団の活動をとおして、人の役に立てるようにがんばりたいです。



大会の楽しさ

大野 美結夏

私が広島に行って思ったことは、大会はとても楽しいということです。大会は、とても難しく大変なことをすると思っていましたが、広島に行って観光をしたり、大会について年上の人たちに聞いたりすることでだんだん自信がわいてきました。本番では、練習してきたことをみんなの前で発揮することができました。次に行く機会があったらまた行きたいし、今度は私が上級生として年下の人たちに大会の楽しさを教えてあげたいです。



クラブの記録
10

大森消防少年団

東京都大田区

令和７年度全国少年消防クラブ交流大会に参加して



大森消防少年団は、昭和52年11月に発足しました。消防少年団活動を通じて防火防災に関する知識や技術の習得を目指すとともに、仲間と力を合わせて訓練に取り組むことで、相互協力の精神をもった消防少年団員の育成に努めています。毎月１回活動しており、各種訓練及びイベント参加など、団員一丸となって取組んでいます。



９０．２秒の意味

指導者　中條 和彦

障害物競走のタイムです。アクシデントは、最後のロープワークで起こりました。自分の知識をこの場面に合ったものとして導き出し、実行に移すことができた瞬間でした。防火防災の知識を実行に移すことが出来る子供たちを指導していきたいと思います。

広島でのBFC全国交流大会

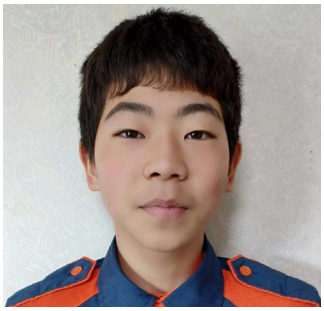
指導者　小澤 牧子

全国大会に向け、参加団員は夏のキャンプで、結索とホース投げの訓練を頑張りました。小岩消防少年団にご協力いただいた合同訓練では、実際のコースイメージも出来ました。私は広島へ何度も来ているが、団員には原爆ドームや資料館が衝撃的だったようです。一日目の交流会、二日目の合同訓練も緊張しながらも頑張っていた団員には感動しました。団員には貴重な体験が出来、準備運営に携わった方々に感謝申し上げます。

思い出と経験

武藤 聡也

１日目の広島市内観光では原爆の悲惨さを身で感じ、戦争をしてはいけないと改めて思いました。夕食の前のクラブ紹介では、それぞれのクラブがオリジナリティーのある紹介をしていて、次にもし参加することがあればもっと面白い紹介にしたいと思いました。２日目の合同訓練ではあまり良い結果を残すことができませんでしたが、思い出に残る大会となりました。この2日間の思い出と経験を次につなげていきたいです。



広島交流大会に参加して

木村 悠佑

少し重い雰囲気の中集まった僕たちは、共に旅する中、緊張はほどけていき、充実した二日間になりました。夕食会では僕が知らないことを、同席の高校生が教えてくださったり、大会に行かなければ出会えない体験をすることができました。沢山の方々の協力でこの会が成り立っている事を実感しました。ありがとうございました。



全国少年消防クラブ交流大会に参加して

佐々木 夢

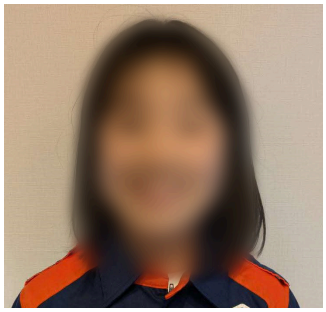
令和７年度全国少年消防クラブ交流大会に参加して二つのことを感じました。一つ目は努力が足りなかったこと。小岩の団員との合同練習で勝てると思い込んでしまいました。二つ目は油断大敵という事です。当日緊張し、他団体に圧倒され焦って転びそうになりました。



広島に行って楽しかったこと・学んだこと

斉藤 祐奈

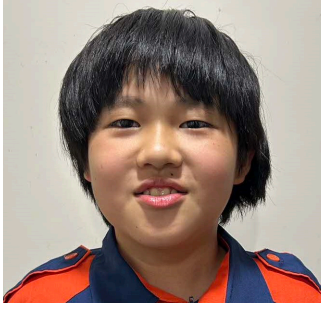
楽しかったことはみんなで協力し練習の成果を発揮できたことです。学んだことは原爆が落とされるとどうなるかという恐ろしさです。学校でも学習しましたが、本当は何が起きていたのかあまり分かっていませんでした。けれど原爆資料館へ行きやっと本当のことが分かりました。私は二度と戦争が起きてほしくないと思いました。



広島で経験したこと

曽田 琳太郎

僕は広島で仲間たちと協力する大切さを学ぶことができました。まず僕は新幹線で広島駅へ、その後に原爆ドームで、戦争の悲惨さを学びました。ホテルに戻って部屋に入って少し部屋でゆっくり過ごし、夕食後に入浴をして、就寝をして1日目は終了です。２日目は朝食後に全国大会に参加しました。残念ながらいい結果は出せなかったけど、みんなで頑張れたことは良い思い出で、楽しい二日間でした。





クラブの記録
11

野方消防少年団

東京都中野区

リベンジ!



野方消防少年団は、昭和55年に発団し、今年で45周年を迎え、現在は40人の団員で活動しています。前回大会は、悔しい結果となったことでリベンジに燃え、前回大会にも参加した指導者と3人の団員に、昨年の雄姿に触発された新たな3人を加えて参加しました。訓練の成果は出し切れたものの、またしても悔しい結果となってしまいましたが、参加した団員は防火防災のスキルが向上し、参加出来なかった団員達の目標となり、とても意義のある大会参加となりました!もちろん、次回大会も頑張ります!!



どんな状況でも確実に

指導者　南 浩二

今回で２回目の挑戦。参加した６名のうち半数の３名は初めての参加でした。去年よりも良い記録を出したい一心で、団員たちは消防署員、指導者と共に練習に取り組みました。頑張った証に、順位は去年よりも上昇!しかし去年はなかったミスがいくつか出てしまい、団員たちには、悔しい思いが残ってしまう結果に。どんな時でも慌てないために、普段の活動から「丁寧に確実に」を基本に指導していきたいと思いました。

初めての全国大会

丸本 健太郎

ぼくは初めての「全国大会」がこの「全国少年消防クラブ交流大会」でとてもうれしかったです。ぼくが意識した言葉「練習は本番のように。本番は練習のように。」という言葉を心に留めて大会に臨みました。結果はとてもうまくいきました。残念ながら目標の総合優勝にはなりませんでしたが、この大会でぼくは総合優勝以上の経験を得ることができました。またこの大会に参加できることができたらうれしいです。



全国少年消防クラブ交流大会

秋山 みなみ

全国少年消防クラブ交流大会に参加して、全国の仲間たちと交流できたことがとても楽しかったです。昨年度での反省を活かしてベストを尽くすことができたと思います。しかし、減点によって順位が低くなってしまいました。本来なら5位以内に入れていたためとても悔しかったです。もし、来年も参加することができるならミスをなくし、減点なしで1位を目指したいと思います。



大会を振り返って

秋山 実咲

今回の大会は去年と比べても成長したと自分でも感じている。その様に感じたのは自分が出る競技が増え、より一層今年は頑張ろうという気持ちが強くなったからだと思う。今年は入賞できそうだったが、惜しくも逃してしまいとても悔しく思っている。そのため次に大会に出る機会があれば、今回の失敗から学んだことを活かしてより良い結果を残していきたい。また、どんなことにも全力で取り組む姿勢を身につけ、気持ちも成績も負けない消防少年団を築いていきたい。



頑張った大会

奥薗 蕗乃

私は今回の大会に参加してとても悔しいと感じました。2回目の参加で、新しいメンバーとの出場だったのでとても緊張しました。特に悔しかったのは、障害物競走でタイムをもう少し縮められなかったことです。それでも、チームで声をかけ合って最後まで走りきれたのは良い経験でした。次出れる機会があったら優勝を目指して頑張りたいです。



大会を終えて

三入 栞

大会を終えて私が実感したことは、努力は報われるということです。今回のような大規模な大会は初めてのことでしたが、絶対にいい成績を残したいと思い、メンバーのみんなで行う通し練習以外にも家で結索などの自己練習をしました。最初はいい成績を残せるのか不安でした。けれど自分の努力を信じて本番でできるだけ実力を発揮できるように頑張りました。私が出た障害物競走では10位に入ることが出来ました。前回よりも順位が上がったと知って、とっても嬉しかったです。残念ながら優勝はできませんでしたが、来年はもっとチームワークを高めてリベンジしたいと思います。



初参加の思い

橘 大和

僕はクラブ対抗リレーとクラブ対抗障害物競争に参加しました。初参加だったので緊張しました。リレーは１つ目の種目だったので緊張してちゃんと出来たのか不安でした。２つ目の種目の障害物競争では１種目目と違い緊張がなくなって速く正確に出来て嬉しい気持ちになりました。これまでたくさん練習してきたので１種目が13位、２種目が10位でもっと上の順位に行きたかったので悔しかったです。しかしとても良い経験になりました。



クラブの記録
12

荒川消防少年団

東京都荒川区

共に「防災マインド」を学び、つなぎ、活かし、広げる冒険者たれ～!!



荒川消防少年団は、昭和５１年に結成された歴史ある消防少年団であり、「楽しく学ぶ防火防災」をモットーに、月１～２回の活動を実施しています。基本的な訓練のほか、地域のイベントへの参加や野外活動を通して各団員の知識や技術を向上させ、地域における防火防災リーダーの育成を図っています。



常に前向きに!チャレンジ開拓精神（挑戦）を忘れずに!!

指導者　廣瀬 立男

①チャレンジ開拓精神(挑戦)　②素直な心(実直)　③(あたりまえ)から,感謝の気持ち(ありがとう)へ　④生涯学び続ける(生涯学習,発達)　⑤日々の小さな努力を惜しまず　⑥見返りを求めず,さりげない小さな親切を重ね　⑦広い視野で防災体験(経験値)を積み　⑧共に明るく元気に健康的に仲良く(和・調和・共感,共鳴)　⑨失敗の数から,這い上がった数が肝心で～!　⑩常に前向き～!!

最後に、「防災マインド」を自分のために身に付けて、更に磨きをかけて世のため人のために活かし広げて邁進してほしい!そして、私達指導者はいつでも団員の皆様の安全・安心を心掛け応援をし続けます。

広島交流大会の感想

指導者　山本 英樹

この度は、広島での全国交流大会に参加させていただき、誠にありがとうございました。原爆ドームではガイドの方のお話から、平和の尊さと命を守る使命の重さを深く学びました。また、全国の仲間たちとの訓練や交流は、防災への意識を一層高める素晴らしい機会となりました。この貴重な経験を胸に、学んだことを地域の防火・防災活動に活かし、貢献していきたいと決意を新たにしています。

交流大会に参加して

黒岩 柚海

初めての、全国少年消防クラブ交流大会に参加して貴重な体験ができて良かったです。また、初めての広島で原爆ドームや原爆資料館についてのガイドさんによるお話も聞くことができ勉強になりました。合同訓練では、練習の成果が発揮できたけれど、私たちよりも速いチームが多く1位になれず悔しかったです。とても楽しかったので来年も参加したいです。



交流大会の思い出

小柳津 日奈

今回全国交流大会に参加し、全国各地の沢山のクラブとの交流が出来て、とても良かったと思いました。競技では、速いクラブは見ていて無駄な動きが少なく、チームで協力していてとても格好良いなと感じた事を覚えています。私たちのクラブもみんなで協力して成果を残せたと思います。普段、他のクラブとの交流は少ないのですが、今回全国のクラブと交流ができて、貴重な体験になりました。また参加したいと思うほど、とても楽しい交流大会でした。



広島で学んだこと

三神 橙子

全国少年消防クラブ交流大会IN広島に参加して、全国の仲間たちと交流できたことがとても楽しかったです。発表や合同訓練を通して、防火や防災の大切さを改めて感じました。原爆資料館を見学したときには、戦争の恐ろしさを知り、平和であることの素晴らしさを実感しました。自分も地域の安全を守る一員として、これからも学んだことを活かしていきたいです。



臨機応変に対応する大切さ

平田 悠樹

僕は、今回の全国少年消防クラブ交流大会で、本番では意外と練習通りにはいかない時もあるものなのだなと思いました。例えば、大会本番で結索をしていた時に、思っていたよりもロープが長く、結ぶのに時間がかかってしまいました。今では、その時にもう少しロープの端っこで結んでおけば、少しはタイムが縮んでいたかも、と少し後悔しています。これからは想定外の事も考え、臨機応変に対応し、後悔のないようにしていきたいと思いました。

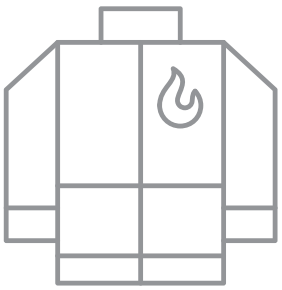


広島交流大会の感想

山本 果歩

私は広島県に行き、交流大会に参加しました。全国の北海道から鹿児島県までの広い範囲の消防団員の方々や消防クラブの人達が集まり、広島の方々のもてなしや、普段からの練習を活かして交流大会に挑みました。優勝はできなかったけど、とても印象に残る交流大会になりました。また来年も参加したいなと思いました。





クラブの記録
13

小岩消防少年団

東京都江戸川区

競い合い　心は一つ　平和の地



小岩消防少年団は今年、小学５年生～中学１年生の元気な団員５名で一致団結して大会に挑みました。目指していた入賞はできませんでしたが、昨年の順位を超え大きく飛躍することができました。広島の地で学んだ「平和を守る心」と「仲間を思う力」はこれからの活動に活かされていくと思います。競技を通して得た絆を胸に、さらに成長を目指していきます。



大会参加で感じた団員の成長

指導者　飯田 まゆみ

今回、全国大会２回目の引率となりました。広島までの遠い道のり、心配をよそに元気いっぱいのこども達でした。そして、今まで見てきた以上に真剣に取り組む姿勢にとても感動しました。「もっとやりたい、これからも色々頑張りたい」など嬉しい言葉をたくさん聞くことができ指導者冥利に尽きます。今後の活動での更なる飛躍を目指し頑張ってもらえるように、微力ではございますが、引き続き指導者として支えていきたいと思います。今回お世話になりました広島県のみなさま有難うございました。

交流大会を終えて

指導者　大山 佳子

主催地である広島は戦後80年ということもあり、平和学習も取り入れた温かいおもてなしを頂き、改めて関係者の皆様に御礼申し上げます。19位という結果ではございましたが、日頃の練習の成果も発揮でき、学びある２日間でした。全ての団員に共通していることは、全員「本気で頑張っている」ということです。頑張る姿はどこまでも無垢で、胸に響きます。これからも将来の地域防災の担い手育成を図るべく、手を差し伸べ、共に歩んで行きたいと思います。

５人の絆 ～バトンをつなぐ～

神永 瑞輝

まずは全国大会に出場させていただき有難うございました。最初の練習はうまくできませんでしたが、他の少年団と合同で練習をおこない、家でも結索訓練をおこない、出来ることが増えていきました。本番は５人で団結し、バトンをつないでゴールをすることができました。とてもいい経験をすることができました。小岩消防少年団の代表として自信をもって参加することができました。この経験をこれからの活動にも活かしていきたいです。



苦手が得意に変わった

髙橋 華音

普段触る機会のないホースや分岐金具を扱うことが出来てとても勉強になりました。結索の練習を沢山したので、苦手だったもやい結びが２秒以内に出来るようになりました。これからも練習に励みたいと思います。入賞した団は、並んだ時も素早く揃っていて格好良かったです。規律訓練は大事だと感じました。今回は広島で平和記念公園に行き、見学することが出来ました。貴重な体験をさせていただき有難うございました。



不安が楽しさに変わった夏

北村 羽奈子

夏休みの練習日数は少なかったですが、結索やホース延長をどうしたら早くできるのか、消防の皆さんにアドバイスをもらいみんなで頑張って練習しました。他の少年団と合同訓練をし、その時に相手の良いところを自分たちでやってみました。家でも結索の練習をしました。大会ではやる前は不安でしたが、やると不安が楽しさに変わり、結索も早くすることが出来ました。今回学んだことを今後の活動に活かしていきたいです。



平和の地で経験し感じたこと

木下 琴心

練習ではみんなで協力することができて楽しかったです。アドバイスをくれ、ホースの延長や撤収も何度も付き合ってもらいました。チームの絆も深まったし、自分自身も成長できたので良かったです。大会では緊張感があって、いつもと違う雰囲気にドキドキしました。練習の時よりもタイムが遅くなってしまったのは悔しかったですが、全国大会にこのメンバーで参加することができてよかったです。平和学習では改めて戦争はダメだと思いました。



持てる力を出し切った

島袋 翔

全国大会に出場できると聞いた時、ぼくは早く練習をしたいと思い、待ちきれませんでした。夏休みに出場する５人で何度も練習をし、意見を出し合いました。いくら練習しても足りない位でした。当日は大会の特別な雰囲気に緊張し、あっという間に競技が終わりました。ふり返ると「こうすればもっとタイムが縮まったな」や「もっと練習すればよかったな」と反省することもありましたが、自分たちのもてる力を出し切れたと思います。この経験を活かし、これからも少年団の活動を頑張っていきたいと思います。



クラブの記録
14

本田消防少年団

東京都葛飾区

士気を高め、共に戦った全国大会



本田消防署は、防火防災に関する知識、技術を身につけ、その団体活動を通して道徳心や責任感を育み、社会奉仕の精神と将来の防災リーダーを育てることを目的に活動しています。令和7年度は、規律訓練、放水訓練、結索訓練や応急救護訓練等の少年団員としての基本訓練をはじめ、地域の行事や消防署の防災イベントにも積極的に参加し、日頃の訓練成果を発揮するとともに、消防団と連携して消防広報を実施するなどしました。昨年の大会で刺激を受けた団員からの指導もあり、参加団員を中心に団全体の士気が高まることができました。



交流大会に参加して

指導者　伊藤 嘉里

１日目のエクスカーションでは、自身も被爆者であるというガイドさんから貴重な体験談を聴きながら自分達だけでは気付かないようなポイントをおさえて平和公園を巡る事ができ、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。その後の資料館の見学も集合時間ギリギリまでじっくりと見る事ができ、とてもよい学習になりました。２日目の合同訓練も、訓練の成果を十分に発揮し、昨年よりも良い結果を残す事ができて良かったです。

チームで力を合わせ得た成果

藤井 杏奈

全国大会では11位という結果でした。緊張感のある大会でしたが、練習の成果を発揮し、チームで力を合わせて全力を尽くすことが出来ました。課題も見つかりましたが、今後の活動に活かせる貴重な経験となったと思います。



学びと反省

安田 颯汰

今回、自分は2回目の出場でした。準備から本番まで、多くの努力をつんできました。反省点も多く見つかりましたが、それを次回の大会に活かす意欲も湧いています。今後は今回の経験を糧に、さらに成長していきたいと強く感じています。次回は自分でも納得のいく結果を残せるよう、精進していきたいです。



全国大会の思い出

伊藤 優里

平和記念資料館を巡り、原爆の悲惨さ、怖さを実感しました。特に佐々木禎子さんについてのお話を聞き、幼い頃に被爆したことによって不治の病にかかってしまうことに心が痛みました。沢山の人々が犠牲になったと思うと原爆や戦争は二度と繰り返してはいけないことだと改めて思いました。そんな大切な教訓をもつ広島で元気に楽しく全国大会を行うことができ良かったです。また、去年よりも良い結果を残すことができて良かったです。



全国大会での学び

千葉 結喜

今回の全国大会や練習に出て、私は自分の良かった所やチームの良かった所を知ることが出来ました。今回はその中でも自分の良かった所に焦点を当てて話そうと思います。自分の良かった所は当たり前のことではあるのですが、チームのために叱られてしまった時はチームの為にも真面目な態度で受け、チームの皆が質問しやすくなるように自分から質問をした所です。今回のこの経験を活かして別の場面でも活用していきたいです。



初めて全国交流大会に参加して

水貝 透也

今回の大会に参加して様々なことを学びました。夏休みの暑い中、初めて大会に出るので分からないことがいっぱいあったけど日々を重ねるうちにどんどん覚えていきました。リレーも団体戦も良い感じでイメージトレーニングなど色々教えてもらって指導者にはとても感謝しています。大会当日は、自分の中ではいい結果ではなかったけどチームの団結力で満足できる結果になったと思いました。この経験を活かして、学校行事でクラスの団結力を高めて行きたいです。



初めての全国大会

酒井 遊羽

私は、いっぱい練習して、最初の練習の時に突っかかってしまったハードルを跳べるようになりました。全国大会の時も突っかからずにできました。逆に練習ではできて本番でできなかったこともあります。結索です。結索をいつものような速さではできませんでした。それが悔しかったです。次にでるときは、今年よりもいっぱい練習して、いい順位が取れるように頑張ります。



クラブの記録
15

八王子消防少年団

東京都八王子市

3度目のチャレンジで入賞!



八王子消防少年団は小学生から高校生の団員および指導者を含め総勢75名で活動を行っております。消防に関するスキルアップを明確な目標にして、毎月1回以上訓練に励んでいます。それに加え、全国少年消防クラブ交流大会に参加する選手たちは夏休みを返上し、毎週末のように大会訓練に励み見事な結果を残すことができました。今後も更なる上位を目指し、何よりも団員の健全な育成を目標に活動を継続して参ります。



最高の瞬間

指導者　坂本 隆宏

正直まさかの3位入賞に驚きです。昨年は20位だった八王子消防少年団が常勝団体に競り勝ち素晴らしい成績を残すことができました。何よりも選手たちの今までの熱心な訓練とその結果を出せたことに称賛をたたえたいと思います。また、大会に至るまで、多くの指導者の皆様にご協力いただいたこともこの結果につながったことと感謝申し上げます。団員、指導者、消防署が一体となってこれかもさらに邁進していきます。

2回目の全国大会に出場して

髙場 優理佳

今回全国大会に出場して、去年入賞していたところが今年は入賞できていなかったり、今まで一位をキープしていた三郷チームが今回五位という結果で驚きました。おそらく選手が交代したためではないかと感じました。また、今回入賞できたのは一つ一つ丁寧に、かつ早くというのを意識したからだと思います。全国大会に向けて練習してきた内容や意識してきたことを八王子BFCの仲間達へ伝え、今後も入賞できるようにしていきたいです。



みんなでつかみ取った入賞

矢島 果歩

昨年度の全国交流大会の目標は入賞でした。しかし、20位という結果に終わり、とても悔しかったです。だから、今年こそはもっと上位を目指したいとみんなで気持ちを一つに、どこを直したら良いか等を考え、何度も練習に取り組みました。そして挑んだ本番。チームのみんなで声を掛け合いながら全力で競技を行いました。結果は、目標を上回る3位入賞でした。この結果は仲間と協力しあったからだと思います。これからも仲間と協力し合い、頑張っていきたいです。



全国大会を終えて

小林 逞人

今回僕は、昨年に続き2回目の全国大会でした。練習では昨年の反省点を優先的に確認し、チームの仲間達とそれぞれの技術を強化していきました。そして全国大会本番では、日頃の練習の成果を全て発揮する事が出来ました。仲間を信じ、声を掛け合ってバトンをつなぎ、その結果全国3位という素晴らしい成績を収める事が出来ました。練習の時よりも早いタイムが出せてものすごく嬉しかったです!!また来年も参加出来るように、これからも自分の技術と知識を高めていきたいと思います。



2回目の全国大会

濱見 拓利

今年の全国大会では、去年とはまた違う雰囲気を味わうことができました。1日目の平和学習や郷土芸能鑑賞でたくさんのことを学びました。そういうことを知ったうえで、2日目は全力で大会に挑みました。 今年、良い結果が出せたのは、去年と同じメンバーで挑んだからだと思います。同じメンバーだったからこそ練習から当日の本番まで、みんなで協力して頑張ってこられました。全員で成長できました。そこで言うと、仲間がいちばん大切なのかと思います。これからもそういう仲間たちとともに活動を続けたいと思います。



リベンジ達成

土橋 一葵

私自身前大会が初出場で、仲間や指導者と練習を重ね20位となったが入賞には届きませんでした。次こそ入賞したいと、入賞を目指し映像や記憶を基に環境を再現して練習を重ねた結果、多くの方々の協力を得て本番に臨み、練習通りの力を発揮して目標としていた昨年度のチャンピオンを上回り、3位入賞を果たすことができました。



交流大会に出場して

佐野 生希

僕は、小学校３年生で消防少年団に入って４年目で、初めてサポーター（補欠）として大会に出場しました。夏休みからの練習を一度も欠かさず参加できました。そして本番の大会当日は、練習でも出なかったタイムで、第３位いううれしい結果になり、とても誇らしい気持ちでいっぱいです。来年はぜひ、選手として出場し、さらに結果を出せるようにがんばりたいと思います。



クラブの記録
16

清瀬消防少年団

東京都清瀬市

大躍進の大会となりました



清瀬消防少年団は、東京都清瀬市に居住、在学している小学３年生から高校３年生までの団員で構成されています。これまでは基本的訓練を中心としていましたが、３年前から応用訓練「使える技術」を取り入れ、全団員の力量に合わせた活動を行っています。この応用訓練をきっかけとして全国交流大会に２年連続で参加し、わずかな練習時間でしたが成果を発揮することができました。



成長を感じた１年

指導者　濱中 隆代

昨年の兵庫大会に初めて出場し、あっという間の１年。２年連続で団員は同じ顔ぶれでしたが昨年は言われなければやらなかった団員達、今年は前日のクラブ紹介、競技会ともに自分たちで考えて行動し、とても成長を感じた広島大会でした。参加させて本当に良かった。大会関係者全員に感謝です！

刺激を受けた大会

指導者　二階堂 奈穂子

少年団としては２回目、私自身は初めての参加でした。普段他のクラブの活躍を目にすることが無いので、今大会で全国の参加者それぞれの本気度や熱意をひしひしと感じ、とても刺激を受けました。一方、スピード重視のみの感じがあり、雑さが目立つ場面もありました。競技ひとつひとつに正確性を求める採点も必要ではないかと感じる大会でもありました。

貴重な経験をした交流大会

安楽 虹春

二回目の出場という事もあり、今大会では昨年の経験を活かし、事前にしっかりと作戦を立て挑んだので、良い結果となったので嬉しかったです。交流会では同じテーブルの他県の方々と仲良くなれたのが交流会ならではの体験でした。また、以前から行きたいと思っていた平和記念公園にも行くことができ、過去の日本でこんなにも悲しい出来事があったのだと実感し勉強になりました。とても貴重な経験を有難うございました!



深く知り強い関心となった大会

鈴木 ことみ

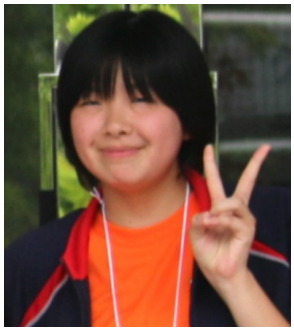
今回の大会に向けての練習は、前年度参加した経験をもとに自分たちで意見を出し合って取り組むことができました。その練習の成果発揮できた結果となって良かったです。大会期間中に参加したエクスカーションは原爆の被害や平和記念公園について深く知ることができ、強い関心をもちました。今後も清瀬少年消防団が全国交流大会に参加し、盛り上げていけたらいいと思います。



全国の仲間とともに

髙橋 希心

私は今回の全国交流大会を通して自分の知らなかったことを知ることができたり周りと仲良くなることができました。1日目の交流会では他の地域の特色を知ることができ、2日目の競技会では他のクラブとお互いに応援し合うことができました。今回一緒に大会に出場した仲間や練習を手伝ってくれた指導者さん達との仲が深まったこともとても嬉しかったです!私はこの2日間で色々なことを学び得ることができたものをこれからの生活に活かして行きたいです!本当にありがとうございました。



地域の歴史と他消防クラブに学ぶ

石原 朝稀

全国交流大会は、様々な場所で開催することでその土地のことを知ることができたり、それぞれ有名なものに触れたりできて良いと思いました。教科書でしか見たことがなかった原爆ドームを実際に見て思ったより大きく、なぜ原爆を落とされながらも建物が残ったのかなどを知ることができました。土地ならではの食べ物として普段東京では食べることのない広島のお好み焼きやもみじ饅頭など食べましたが、どれもとても美味しかったです。チームとしては前回よりもタイムを縮めることを目標として挑みましたが、技術力の高いクラブも参加しており驚かされることも多かったです。今回の経験を活かして、もっと消防について詳しくなりたいと思える二日間でした。



練習成果を発揮し、全力を尽くすことができた大会

高石 真白

全国交流大会への参加は２回目でした。前回と比較し練習の成果を発揮できたと感じました。障害物競走では筒先とホースの接続に苦労していましたが、当日は無事成功し、成績も昨年よりも10秒以上も縮めることができました。全員が全力を尽くせたことが誇らしく思います。もしも次回大会に参加出来ることができ、更に記録を伸ばせたらと思います。団結力を感じた素晴らしい経験でした。



クラブの記録
17

大和市少年消防団

神奈川県大和市

これからに繋げたい学び



大和市内在住の小学４年生から中学３年生までの団員たちが、火災予防、防災及び減災について学び、団体行動を通じて自助、共助の精神を養い、災害時には自ら考え行動する力を身につけることを目的に訓練を行うとともに、市民に向けて火災予防広報なども行っている団体です。



今後の団員たちの活躍に期待

指導者　當間 翔太

「優勝」を目的に掲げ、暑い中訓練に取り組みました。初めのうちは、団員間のコミュニケーションもいまひとつでしたが、訓練を重ねるごとにタイムが縮まりだすと、自然と団結力も高まりました。大会の結果は上位入賞に至らず、団員の悔しい思いが強く伝わってきましたが、他クラブと交流し、輪を広げて楽しそうな姿や、一生懸命に競技に取り組む姿勢が印象的でした。参加した団員たちには、貴重な経験として、他の団員達へ良い刺激を与えてくれると期待しています。

団結力

指導者　大内 晃子

令和７年の夏は猛暑でありましたが、訓練中具合が悪くなる団員もなく「優勝」の目標を目指した団結力を築くことができました。惜しくも入賞いたしませんでしたが、一人一人が苦手な分野に立ち向かう気持ちや記録を狙う心意気がチームワークに繋がりました。全国の団員及び指導者の皆様と交流を通してたくさんの学びをいただけたことを深く感謝させていただき来年の大会出場に繋げて行きたいと思います。ありがとうございました。

大会で得たもの

榎本 実咲

大会参加を通して練習の大切さを学ぶことができた。毎日ロープワークの練習をするなど、どうしたら1秒でもタイムが短くなるかを自分なりに考えて練習を重ねた。その結果、訓練では練習の成果を実感し自信がつき、本番も全力で挑むことができた。また、消防団に入っていたからこそ知り合えた人達と交流できたことも貴重な経験となった。入賞まであと1.9秒。悔しかったが、これからも成長できるよう「日々の積み重ね」を続けていきたい。



悔しさを力に変えて

佐藤 友樹

2年前の大会に出場し入賞を果たした兄がいるので、私も中学生になったら出場したいと思っていました。夏休み中の練習は厳しい暑さで大変苦労しましたが、タイムを縮めるためにチームの一人ひとりが自分の役割をしっかり果たすために何ができるか考え行動しました。大会当日は、あと一歩というところで入賞を逃し悔いの残る結果となりましたが、一緒に出場した仲間と強い絆で結ばれたことで、今後の活動にも活かしていければと思います。



憧れの交流大会

遠藤 隼斗

いつか出てみたいなと思っていた大会に参加することが決まって、とてもワクワクしていました。事前練習では、思うようにいかず、モヤモヤしていたけれど、先輩方や指導員の方達にアドバイスをもらっていくにつれて、段々上手くなり、チームのタイムも縮まっていき、「楽しい!」と思ってきました。本番ではリレーで筒先とホースが上手くハマらず、良いタイムは出せなかったけど、障害物競走では、納得のいくタイムが出せました!緊張しましたが、大会を楽しむことができました!



大会を通して培った力

藤井 新菜

私は大会を通して様々な経験をさせてもらいました。結果的に入賞という形には出来なかったけれども、そこまでの過程で大きく成長できたと思います。第1に大切だと思ったのが、「諦めないで最後まで続ける力(継続力)」です。練習で少しでも諦めることをしていれば、大会の途中で「もう無理かもしれない」と諦めていたら、6位という成績にまで繋がらなかったと思います。この大会で育った力をこれからの訓練や普段の生活に繋げていきたいです。



楽しかったけど悔しかった全国大会

竹内 豪

私は対抗リレーでは第4走者でトンネルを通り、第5走者に筒先と分岐金具を渡す役割でした。途中、分岐金具を取り損ないましたが、すぐ取って無事渡すことができました。練習を活かせて良かったです。障害物競走では指揮者で溝を越え平均台を越えハードルを越え初期消火してロープ結索をしました。思い通り行きましたが、もっとできるんじゃないかと思いました。6位はとてもいい成績で、練習は無駄じゃなかったし、大会でやったことを日常でも使えるようにしたいです。



クラブの記録
18

伏見台子ども消防クラブ

石川県金沢市

仲間と挑み、心を一つに学んだ全国大会



伏見台子ども消防クラブは、石川県金沢市南部の17町会が集まる伏見台校区で活動しています。能登半島地震の被災県として、防災意識をより高めることを目的に、小学４～６年生の男子11名・女子８名で構成されています。全国大会には小学６年生の選抜メンバーが出場し、日々の訓練の成果を発揮しました。金沢市消防局の皆さんのご指導のもと、協力と責任の大切さを学び、地域を支える心を育んでいます。



仲間と努力が教えてくれた成長と絆

指導者　澤田 大嗣

全国交流大会では、仲間と力を合わせて最後までやり抜く姿に大きな感動を覚えました。結果以上に、練習を重ねて挑戦する中で、互いを信じ、支え合う心が育ったことが何よりの成果です。広島での平和学習を通じて、命や仲間の尊さを学んだ子どもたちは、確実に成長しました。この経験を胸に、これからも地域や学校で輝いてほしいと思います。

仲間と挑んだ大会と、広島で感じた平和の大切さ

澤田 大和

伏見台消防クラブで大会に出場してベスト3位には入ることはできなかったけど練習したことを全てだすことができたし、協力して大会に挑むことができました。みんなと一緒にごはんを食べたりゲームセンターに行ったりして楽しかったです。また広島の原爆のことや歴史のことを知ることが出来たので、この事を忘れないようにして戦争がもう起きないようにしたいのでこれ以外の戦争のことを知りたいです。



最後みんなと頑張った大会

白潟 仁

子供消防クラブに入って、初めての練習では、難しくて全然速くできなかったけど、練習していくうちに動きが速くなっていきました。本番は緊張してしまって硬い動きになってしまいましたが、みんなが応援してくれて最後まで頑張れました。みんなと協力して大会で頑張れたことが自分の自信になりました。みなさんありがとうございました。



初めての全国交流大会

中嶋 優斗

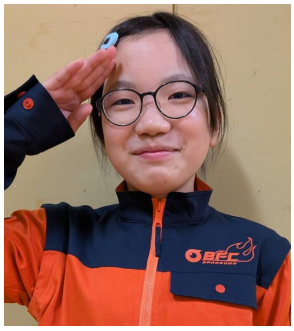
僕は、初めて全国交流大会に出場して思ったことは小学生だけでなく中学生や高校生がたくさんいて緊張したことです。本番も緊張したけどチームの人と協力して最後までやりとげることができたのでよかったです。また交流大会を通してチームの人との絆が深まることができたしチームの人と一緒に協力して頑張ることが楽しかったです。僕にとってこの交流大会はとてもいい経験になったしいろいろ学ぶことができたので今回学んだことを生かして今後いろいろなことに取り組んでいきたいです。



成長できた全国大会

中谷 ひなた

初めて全国交流大会に出場しました。最初は緊張しましたが、練習を重ねるうちに仲間との絆が深まり、大会が楽しみに変わりました。大会では他のクラブ員との交流を目標に話しかけ、明るく楽しい方々との会話を通して多くを学びました。この経験から、人とのつながりの大切さと自分の成長を実感できました。今後の生活にも生かしていきたいです。



全国交流大会が教えてくれたこと

桑原 拓也

全国交流大会を通して、もしもの時の対処法、仲間との協力プレー、時間を守ることの大切さがわかりました。大会では、全員が本気を出して臨んだのですが、下位という悔しい結果で終わってしまいました。やはり自分の練習が足りなかったからだと思います。しかしこの大会で、仲間との友情、絆などができ、全員が楽しくできたのではないかと思います。今後の学校生活ではそれをいかして活動や行事に全力で取り組みたいです。



初めての全国交流大会

山本 望愛

みんなで沢山練習をして挑んだ大会でしたが、順位に入ることが出来ずとても悔しかったです。でも、友達との絆や何事も挑戦することの大切さなど、沢山のことを学ぶ特別な経験が出来たと思います。この経験を活かし、これからも自分自身の成長に繋げていけるように頑張りたいです。大会関係者の皆様、引率、サポートして下さった先生、本当にありがとうございました。



クラブの記録
19

豊田市立寿恵野小学校少年消防クラブ

愛知県豊田市

全員で参加した全国交流会



私たちの通う寿恵野小学校は、世界のトヨタがあり豊田市の南西部に位置します。校庭には、自然豊かなビオトープがあり、みんなのびのびと学んでいます。創立150周年を迎えた歴史ある学校です。私たちが所属している消防クラブでは、規律練習や煙道体験など豊田市消防本部のみなさんや、豊田市南分署、地域の消防団のみなさんの協力を得ながら、地域に貢献できるように一生懸命取り組んでいます。



３度目の全国交流会

指導者　永田 翔一

３度目の全国交流会、これまでの２回の交流会をふまえて、子どもたちにとって、意味のあるものにしたいと願い今年度の全国交流会に向けての練習を始めた。一度担任をしたことのある子どもたちを引率できることから、その子たちそれぞれの良さを出せるように、役割を考えたり、声掛けを行ったりした。自主的に集まって練習したり、アドバイスを求めてくれたりするなど、子どもたちを見て、これなら全国交流会でも自信をもってのぞめるなと思った。しかし、当日体調不良のクラブ員が出てしまった。前日の過ごし方に対して、もう少し指導者としてできることがあったのではないかと後悔した。なんとか交流会には参加でき、今できる力を出し切ってくれたので、一安心した。改めてコンディショニングの大切さを知った。これからは一生懸命取り組んでくれる子どもたちが精一杯力を出せるように、できることで返していきたい。

昨年度の経験を生かして

指導者　伊藤 江里奈

私は、昨年度初めての参加で、練習のときからなかなかイメージをもつことができず、うまく指導することができなかった。当日の動きも、経験のある先生に任せっきりになってしまっていた。今年度は、昨年度の経験を生かして、初めて参加する児童に対して、会場のイメージや、昨年度の早いチームの技を伝えたり、見通しをもって行動したりすることができた。今年度参加の児童は、とてもやる気があり、どうしたら早くできるか、自分たちで切磋琢磨していた。当日、一人の子が体調不良というアクシデントもあったが、強い思いが通じて全員で参加することができた。上位入賞を目指してやってきた児童たちであったが、当日はそれだけでないたくさんの大切なことを学ぶことができている様子だった。このような貴重な経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいである。

リーダーとして挑んだ全国大会

徳増 宇壱

僕が広島でよかったことは2つあります。1つ目は技のやり方です。技のやり方と言えば、例えば消火器の場合煙(水)を発射する場合、発射する前に狙いを定めてから発射することで早く倒すことが出来ると分かりました。他にも巻き結びなども分かりました。2つ目は記念科学館での核兵器の被害です。核兵器での被害を知ることでその人の気持ちなども感じました。悲しい、苦しいなど分かり技術以外も成長したと思いました。今回学んだことを活かしてもし災害があったらお手伝いなどできるだけ頑張りたいなと思いました。他にもチームで一緒に大会に出て自分たち的にはだいぶ頑張ったけど結果はまあまあだったからもう少し頑張りたいです。



全国交流会を終えて

勝田 海斗

僕が広島に行って、良かったことは３つあります。１つ目はクラブ対抗リレーの時に登るのがあってそれが、他のチームは失敗している時が多かったけれど自分は、失敗せずに焦らずできて良かったです。２つ目は、ロープです。いつも家で、ロープの練習をしたり、学校が終わった後に、他の４人と練習をしたりして、ロープがより早く結べる結び方を教えてもらったりしてその練習の成果が出せました。本番でもその成果が出て末野小学校の代表として恥じない大会でした。３つ目は今回惜しくもトップ10に入れなかったけれどこの反省を活かして来年に行く子達にアドバイスをしたり僕たちが入れなかったトップ10に入れるようにしたり、もっと上手くなるアドバイスをしたいと思えたことです。



人を救うこと

亀山 拳士朗

僕はこの広島の大会で良かったところと悪いところがあります。良かったところは自分の役目がはたせて、良かったしこの経験を大事にしながら、災害がいつでも起こってもこの経験を大事にして、生活していきたいです。次は悪いところは結果を見て、がっかりしてしまったことです。今では、そこを切り替えてれば次も頑張れると思ったからです。次は、広島の原爆の話で広島では、やけこげた人とか家がこわれたり、水が無くて、こまっていたり、川には人の死体が流れたりしたのがわかりました。これからは、災害が起こったりしたら、学んだことをちゃんとして、人を助けたりしたいと思いました。



自分の全力を尽くして

外川 永弦

学んだことは３つあります。１つ目は消防士の大変さです。なぜかというとこの広島の全国大会でとても体力を使ってその中で人を救うというのは大変でむずかしいのに消防士の人はそれを苦しいと言わずに人を助けていることがわかりました。２つ目は競技の難しさです。自分たちは精一杯頑張ったつもりだったけど。優勝した人たちは、レベルが違くて一つ一つの動きが丁寧でとても自分達とは差がデカすぎて驚きました。そして無駄がなくて正確にできていました。次やる機会があったら優勝したチームの動きを参考にしてやりたいです。３つ目はこの大会の良さです。この大会では勝ち負けではなく消防の大変さと技術を学びました。これを通して言えることはこの交流大会は勝負ではなくあくまで消防の大変さやいろんな消防クラブの方々と交流することだとわかりました。これから消防についてやるときがあったらこの知識を活かして頑張りたいです。



消防クラブとして、学んだこと

深津 智樹

僕は全国大会の良かったことと、次にいかせることがあります。まず良かったところは、寿恵野小学校の代表として、練習してきたことが出せて、チームでいいプレーが出来たことです。例えば、もやい結びや、バトンとホースをつなげて走ることや、学校や学校が終わった後など、練習してきたことが出せたことや他にも自分たちの結果を見て、強いチームを超えられるように頑張ろうと思えたところが良かったなと思いました。次にいかせることは、全国大会を経験したり、広島原爆ドームの話を聞いたり、災害の動画を見たりして、災害はいつ起こってもおかしくないし、ものすごく怖いものだと分かったので、災害が起こった時は、全国大会の経験を活かして、家族や自分の命いろんな人の命を守りたいなと思いました。ちょっとした災害でも人を救いたいなと全国大会を経験して思いました。



クラブの記録
20

尾張旭市少年少女消防団

愛知県尾張旭市

全国の仲間たちと過ごした２日間



尾張旭市少年少女消防団は平成25年4月に結成し、現在、72名で活動しています。代表として参加した5名は、始めは少し緊張していましたが、全国から集まったクラブ員と交流することができ、いつも以上に活発に活動できた2日間であったと思います。この交流会での2日間でたくさんの人と交流し、みんなで協力して合同訓練を実施することができました。ここで得た知識や経験を他の団員にも伝達し、今後の活動に活かしていきたいと思います。



この経験をこれからの活動に

指導者　辛嶋 崇行

指導者として参加する機会をいただくことができました。大会前の訓練は限られた極わずかな時間である中、団員はそれぞれが考え、前向きに取り組む姿勢に成長を感じつつ大会に臨むことができました。大会当日は、心地よい緊張感のもと各競技では、全力を出しきれたと思います。この交流会を通じ異なる地域のクラブ員との交流で、自然と笑顔があふれ、新たな仲間としてつながる速さに驚きを覚えながら、地域交流の大切さを団員とともに指導者としても学ぶ良い機会となりました。

経験が育む自信と絆

指導者　望月 佑真

全国少年消防クラブ交流会では団員にとって多くの刺激と学びがありました。訓練の中では、仲間と声を掛け合いながら最後まで諦めず取り組む姿が見られ、団員一人ひとりの成長を強く感じました。また、全国のクラブ員との交流を通して、日頃の活動への誇りや地域防災への意識がより高まったように思います。この貴重な体験を、尾張旭市少年少女消防団全体に広げ、今後の地域防災活動に活かしていきたいと思います。

忘れられない広島

山田 優

２日という少ない練習の中でもチームとしての団結力が高まり、精一杯競技に取り組む事ができ、学年が違っても同じ事に力を合わせられる仲間がいるという大切さを知りました。また、広島の平和記念公園で原爆ドームや資料館を見学し初めて戦争の悲惨さを身近に感じる事ができました。教科書で見て、教えられるだけでは感じなかった思いを知ることができ貴重な体験でした。僕は今回の大会に参加できた事をありがたく思いました。



全国少年消防クラブ交流大会に参加して

小越 菜実希

初めて交流会に参加し、全国各地の少年消防団の活動や地域の特徴を知ることができました。全国の仲間と出会い、一緒に学べたことがとても嬉しかったです。合同訓練では緊張もありましたが、これまでの練習の成果を発揮し、他のチームも全力で応援しました。交流会で得た防災への意識を、今後の尾張旭市での活動にも生かしていきたいです。貴重な経験をありがとうございました。



初!広島!

若杉 黄羽

以前この大会に、二人の姉が参加しており私も参加したいと思っていました。今年は広島で、いつかは訪れたいと思っていた原爆ドームや資料館にも行くことが出来て、とても貴重な体験をさせてもらえました。他府県の子との交流も楽しかったです。競技では、他校他学年のメンバーと力をあわせてやりきりました。いつか尾張旭市少年少女消防団が、1位になれるよう、日々の訓練を頑張りたいです!ありがとうございました!!!



他校の仲間たちと過ごした２日間

山口 莉玖

僕は今回広島で開催された全国少年消防クラブ交流大会に参加し、たくさんのことを学ぶことができました。特に紐を結んで様々な結び方を形成することに関しては初めての体験だったのでとても印象的で、今後日常生活や災害時でも役立つことを学べました。大会では今まで消防団の活動では体験したことのないことを体験できたので、とても楽しく全力で取り組めました。交流大会の他には原爆ドームや平和記念公園、平和記念館などの様々な場所に行き、広島県に原爆が落とされてどのような被害があったのか学ぶことができました。ホテルではメンバーたちと共に過ごし、交流を深めることも出来ました。同行してくださった指導員さんたちのおかげで安心して過ごせました。今回の大会に参加できたことで、たくさんのことを学び貴重な経験をさせていただきました。最高の２日間、ありがとうございました。



全国の仲間と楽しんだ2日間

小山 真輝

1日目の交流会では全国の消防団の人と会話をしました。方言などの違いは多少ありましたが、いろんな人と仲良くなれて良かったです。2日目の訓練では事前練習の成果を出しました。良いクラブはどんなことがうまいかなどを見ることができ、とても良い訓練になりました。また、競い合うだけではなく、訓練を通して話したことのないクラブの人との交流を深めることも出来ました。楽しい会になってよかったです。



クラブの記録
21

城陽少年消防クラブ

京都府城陽市

みんなでつないだ思い出



城陽少年消防クラブは、市内在住の小学校４年生から６年生がクラブ員としての資格を有し、現在、２６名のクラブ員が火事のない社会づくりに貢献することを目指し、防火教育や厳しい規律訓練に取り組むとともに、様々なイベントを通して親睦を深めています。今回の交流大会には代表として６年生３名、５年生２名の５名が参加しました。



２日間を通して

指導者　乾 茂樹

令和7年9月13日から14日にかけて広島県で開催された全国少年消防クラブ交流大会に、城陽少年消防クラブの代表5名とともに参加しました。初日は全国各クラブの紹介が行われ、子どもたちは他地域の活動に触れることで刺激を受けていました。また、広島の伝統芸能を鑑賞し、地域文化への理解も深まりました。２日目はリレー競技と障害物競争に挑戦し、惜しくも上位入賞は逃しましたが、全員が全力を尽くして取り組む姿に感動しました。大会を通じて、子どもたちは協力することの大切さや、消防活動への誇りを改めて感じたようです。引率者として、彼らの成長を間近で見守ることができ、大変有意義な経験となりました。

２日間を通して

指導者　江川 昂汰

大会前の練習時間が非常に短い中、本番でも全力で競技に打ち込むクラブ員の子供たちを観て、非常に感銘を受けました。また、ホテルの交流大会でも、他の消防クラブ員の子たちとも仲良く、楽しい会話をし、城陽市の広報も熱心に取り組んだりなど、とてもうれしく思います。この２日間で子どもたちが経験したことは、とても貴重な経験となり、今後の成長につなげてくれると思っています。

初めての交流大会

平山 裕真

僕は、初めての交流大会で１位を取るために練習してきましたが、本番で緊張もあってやり方を忘れてしまいました。でも、クラブの仲間やほかのクラブの人も、応援してくれて冷静になることができ、思い出すことができました。結果は良くなかったけど、仲間は優しく迎えてくれました。このチームで一緒に大会に出れて良かったです。また、普段は会えない遠くのクラブの人とも友達になれました。貴重な体験ができて良かったです。ありがとうございました。



全国少年消防クラブ交流大会で得たもの

糸川 侑奈

私は、全国少年消防クラブ交流大会に初めて参加しました。練習では、ロープの結び方や競技を覚えるのが大変だったけど、練習を通してみんなと仲良くなり５人で競技をすることができ私も楽しむことができました。大会の時は、緊張していたけどみんなが落ち着いて競技してる姿を見て、私もあわてずロープを結べたり障害物を乗り越えることができ、最後まで頑張ることができました。この２日間は、私にとってはとてもかけがえのない貴重な経験をすることができました。これからも防災の知識をもっと学んで活かしていこうと思いました。



初めてのことだらけ

中島 航太朗

僕は、初めて広島に行き、初めての全国交流大会に参加しました。初めてのことばかりで緊張したけど他のクラブ員と仲良くなり、いろんな貴重な経験ができて良かったです。クラブ対抗リレーや障害物競争では、少しでもタイムが変わるならと思って、一つ一つのことを意識して、全力でやり切ることができたと思います。みんなと一緒に参加出来たこの大会は、とても楽しい２日間でした。



全国交流大会に行って

岩本 真歩

広島の全国交流大会に行きました。１日目は、ＶＲ体験や原爆ドームを見に行きました。今年は戦後８０年で、戦争のことを考えるきっかけにもなりました。ＶＲ体験では、実際にＶＲで災害の様子を見ました。ＶＲで見て思ったことは、実際に津波や洪水が起きたり、建物が崩壊してしまったら命が危なくなり、大変なことになるなと思いました。２日目の大会では、クラブ対抗リレーとクラブ対抗障害物競争をやりました。リレーでは、水消火器を担当しました。障害物競争では、ロープ結索を頑張りました。家にもロープを持って帰って練習したりしました。大会本番では、一回頭が真っ白になったけど、落ち着いて結ぶことができました。休憩時間には、他県のクラブ員達に、城陽のことを知ってもらったり、色々お話をしたりしました。今回の大会で、小学校や学年が違っても協力していいチームを作ることができました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



広島に行って

井出 桜花

私は京都の消防代表に選ばれ、広島に行きました。仲のいいクラブ員の子と一緒に参加できたので良かったです。広島までは、新幹線で行きましたが、初めての新幹線はとっても速くて迫力がありました。広島に着くと、初めにＶＲ体験をしました。ＶＲの映像は地震と津波の映像で本当に体験しているように感じました。ＶＲ体験が終わり、次は夕食を食べました。うなぎのご飯がとっても美味しかったです。夕食を食べながら広島の芸能鑑賞を見ました。初めて見るものばかりで、おもしろかったです。この日は２２時就寝でしたが、次の日の大会で緊張してあまり眠れませんでした。２日目の朝食は、バイキングで自分でおにぎりを作って食べました。そして、いよいよ大会です。上手くいかなかった部分もあったけど、みんなで協力してできて良かったです。帰りの駅で、家族にももみじ饅頭などたくさんの広島土産を買って帰りました。初めての体験をたくさんすることができて、とても充実した時間を過ごすことができて良かったです。



クラブの記録
22

河南町ファイアジュニア

大阪府河南町

多くの仲間と出会えた日



河南町ファイアジュニアは、平成23年11月に発足し、現在は小学４年生から高校１年生まで総員21名のクラブ員がいます。将来の地域防災のリーダー的な存在として活躍するため、消火訓練や消防関係行事に積極的に参加し、安全で安心なまちづくりの担い手として活動を続けています。今回、広島市で開催された交流大会には、クラブを代表して小学６年生４名、小学５年生１名が参加しました。



出会いと成長

指導者　浅田 真毅

昨年に引き続き、指導者として３回目の参加をさせていただきました。クラブ員が練習の成果を発揮して、全国の少年消防クラブのメンバーと交流している姿を見ると、改めて「出会い」の大切さを感じます。今回の経験がクラブ員の成長に繋がり、消防・防災や様々な分野で活躍していってくれることを願っております。参加させていただき、ありがとうございました。

未来につながる心強さ

指導者　大宅 花奈

指導者として７年ぶり３回目の参加をさせていただきました。前回参加したときと変わらず、全国たくさんのクラブ員たちが一生懸命取り組む姿を見ることができ、少年消防、ひいては地域防災の重要性を改めて認識する機会となりました。クラブ員にとって、今回の経験や日頃の活動が、安全で安心なまちづくりを担っていく「地域防災のリーダー」としての成長につながることを期待しています。ありがとうございました。

交流大会を通して

田中 実乃里

私は2025年度交流大会に参加しました。初めは不安で緊張していましたが、夜ご飯やクラブ紹介のときに他クラブの方々が「今日はどこから来たの？」と声をかけてくださったり、合同訓練で不安な時に笑顔で「頑張ってね」と励ましてくださったことで、少しずつ安心し、自信を持つことが出来ました。この交流大会を通して、人と人との温かさや思いやりの大切さを学び、仲間と協力することの喜びや自分の成長を実感することが出来ました。このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



楽しかった全国少年消防クラブ交流大会

外薗 みなみ

わたしは、全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。最初のクラブ対抗リレーでわたしは、しょう害かべで一番最初だったのでとてもきんちょうしました。おわったら足がとてもふるえていたのでびっくりしました。次にクラブ対抗しょう害物競走をしました。ロープ結索がうまくできるか不安だったけどうまくいってうれしかったです。わたしは、去年よりもタイムが早くなっていると聞いてとてもうれしくなりましたし、全国少年消防クラブ交流大会に行けてうれしかったし、楽しかったです。



いろいろな経験

本並 歩夏

わたしは、二度目の全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。今年は広島県で大会が開さいされました。広島県は原爆ドームがあり、平和記念公園のし設内での資料館で原爆はすごくおそろしく、簡単に多くの人の命をうばってしまうということを学びました。大会前日の夜ご飯のときでは、大阪府の紹介をしました。そのとき、セリフを言うのを一ヵ所忘れてしまったけど、いろんな人たちと交流できてうれしかったです。ご飯はすごくおいしくて幸せでした。大会の日、とても緊張していたけど、前回よりもうまくいって、チームワークを出せたと思います。いろいろな経験ができてよかったし、楽しかったです。



交流大会

藤井 詩乃

私は、九月に広島で全国少年消防クラブ交流大会に出ました。１日目の夜にいろんな県の人と、食事をしました。ふだん会うことの無い人と交流できるきちょうな機会でとてもきんちょうしたけど、楽しく終えれてよかったです。２日目は大会本番でした。障害物競走とリレーがありました。私は、去年も参加させてもらいました。そのときはとても成績が悪かったので、来年こそは…と思っていました。今年も参加できたので、とてもがんばりました。そのおかげで、去年よりもいい成績でした。とてもうれしかったです。これからも、ファイアジュニアの活動をがんばろうと思います。



全国少年消防クラブ交流大会

木原 崇晃

ぼくが一番印象にのこっているのは、交流会２日目の合同訓練です。クラブ対抗リレーではぼくは２番走者で、練習の時に教えてもらった体勢を意識してホースボウリングをしました。障害物競走では、４番員でホースの結合がうまくいったのでぜんりょくで走りました。みんなで協力できたので、あとで昨年より順位があがっているときいてすごくうれしかったです。



クラブの記録
23

本庄ジュニア防災チーム

兵庫県神戸市

全国大会出場に向け、ご尽力頂いた皆様へ感謝を



兵庫県、神戸市東灘区にある本庄中学校のジュニア防災チームです。本年度発足３年目を向かえました。地域の皆さまに防災についての様々な知識や考え方を学び、同世代に伝えていきたいと考えています。本年度も本全国大会に出場させて頂き、そのために沢山ご尽力頂いた地域の皆様に感謝の気持ちを表せるよう、地域の様々なイベントに積極的に参加し、さらに深い知識、経験を得ると共に、「地域を愛し、地域に愛される本庄中生」を目指し、活動を続けていきたいです。



感謝の思い

指導者　佐藤 千智

本年度も全国大会出場チームとして選出頂きました。より多くの生徒に経験の機会を与えたい、という思いから本年度の出場メンバーは全く新しいチーム編成となり、昨年度出場したメンバーは練習時、指導の立場となってもらいました。夏の練習では猛暑の中、昨年度の経験者や大会に出場しないメンバーも練習に駆けつけてくれ、全員で前向きに取り組む姿がとても印象に残っています。本番２日間も楽しく一生懸命に、次々に与えられる課題に取り組んだり、他のチームの皆さんの姿勢から学んだりする様子が立派でした。生徒の皆さんにとって大切な経験になっていたら嬉しいです。

団結力の深まり

宮脇 唯夏

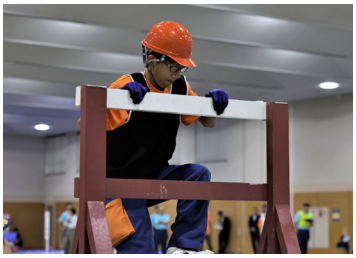
この２日間で、これまで教えて頂いたこと、練習してきたことを活かすことができましたが、満足いくタイムを出すことが出来ず悔しかったです。この大会に出場することを通して出場メンバーの団結が深まり、とても良い経験になりました。全国の防災ジュニアチームの皆さんとも交流を深められ、とても楽しかったです。



一人ひとりの全力を出し切れた大会

正木 志侑

交流大会の２日間はたくさんのクラブとの交流で、全国で活躍しているクラブチームの名前や、実力、頑張りを知ることができて良かったです。私達の競技の実力はまだまだだな、と思うところもあったけれど、一人ひとりが全力を出して挑めたと思います。２日目の大会が終わったあとに原爆ドームや資料館を見学し、原子爆弾による被害や広島が発信する平和への願いについても知ることができて良かったです。



みんなで協力できた夏!

田中 海夢羽

全国少年消防クラブ交流大会（広島大会）では夏休みの間に学校へ行き、他のメンバーと共にたくさんの練習をしました。自分では上手くいかないこともあり、心配なこともありました。でも、地域の方や、消防の方、先生方にたくさん色々なことを教えてもらい、本番では練習の時よりもタイムを短くすることができてうれしかったです。初めての大会で上手くいかなく、悔しい思いをした所もあるけれど、とてもいい経験になりました。みんなで協力して頑張れたことが何より嬉しく良い思い出になりました。覚えた技術、教えてもらったことを生かして、何かあった時などに役立てられたらいいなと思いました。



支えて頂き、ついた自信

横山 みくり

防災の知識などの勉強面から、生活面までとても充実した２日間だったと思います。クラスや学年の違うメンバーばかりで不安や心配の多かった夏休みでしたが練習の回数を重ねる度、信頼や自信が出てきました。練習時間を設けて頂いたおかげで沢山の方々とお話ができ、とてもいい機会だったと実感しています。前大会に参加した３年生や経験のある２年生、地域の方々のアドバイスを聞き、最初は上手くいかなくて苦戦していたことも本番では上出来だったのではないかと思います。本番直前の時、自分が緊張していたらメンバーの皆に「大丈夫」と言ってもらえ、緊張が解れて練習の成果を発揮できてよかったです。またこのような機会があれば今日の練習を生かしたいと思います。２日間、ありがとうございました。



練習よりも伸びたタイム

板坂 虎空

本番の競技では緊張で練習通りいかず、ハプニングや上手くいかないことなども多々ありましたが、夏休みの訓練の時よりもタイムを短くすることができたり、色々な人と交流ができたりしたことがとても嬉しく、良い経験になりました。悔しい思いもありますが、とても貴重な経験をさせて頂きました。広島の原爆の被害を受けた歴史を、戦後80年目の節目に学習することができたことも、とても印象強く心に残りました。



地域の皆さまへ感謝

寺田 絢音

本日の合同訓練では緊張しましたが、練習した成果を発揮することが出来ました。夏からお忙しい中、時間を作って下さり、丁寧に練習を見て下さった地域の皆様や消防署の皆様、本当にありがとうございました。本年度は戦後８０年目の節目の年で大会が広島会場でしたので、原爆ドームや平和記念公園、資料館にも足を運び原爆の被害を受けた当時の広島の様子や、平和を願う広島の活動についても学習ができ、とても有意義な２日間となりました。貴重な経験をありがとうございました。



クラブの記録
24

歌敷山中学校 防災ジュニアチーム

兵庫県神戸市

日頃の訓練を本番で ～歌中ＪＴ2度目の挑戦～



日本標準時となる東経135度子午線が通る明石市の東側に接する、神戸市垂水区において最初に結成されたチームです。第３期生にあたる今年度の隊員は中学１、２年生の10名で構成され、主に校区内の地域行事や防災訓練に参加し活動しています。垂水消防署からのバックアップを受け、今回の全国大会での競技を意識した訓練を重ねた結果、チームとしての団結力がより一層強くなりました。



全国の仲間と学んだ防災と平和

指導者　早川 宗由

今回の交流大会は、兵庫県代表チームとして2回目の参加となります。初日のエクスカーションでは原爆ドームや平和祈念資料館を見学し、平和の尊さと命を守ることの大切さを改めて感じました。また、ホテルでのオリエンテーションやクラブ紹介、2日目の合同訓練や競技大会などを通して多くの仲間と交流でき、素晴らしい2日間でした。この経験をこれからの地域防災活動に生かし、地域の一員として、未来の防災リーダーとして、地域に根付いてくれることを私たち指導者も期待しています。

地元を離れた先にあった貴重な経験

指導者　藤友 正昭

予想を遥かに超えた広島大会でした。１日目のエクスカーションでの学び。工夫を凝らしたクラブ紹介など。翌朝、宿舎から会場に移動する際に感じた緊張感。そして競技に取り組む隊員を応援する観客席の熱気。振り返ってみると、昨年参加した地元神戸での大会では得られなかった経験が隊員と共有できたと思っています。日頃の訓練や講習の成果を発揮する場を与えていただいたことに感謝して、地道に活動を継続していきたいと考えています。

交流から得た大切な思い

東 優心

まだチームに入って一年もたっていないのに、「全国少年消防クラブ交流大会」に参加できてとても嬉しかったです。大会前日の食事会では、他クラブととても楽しく過ごすことができました。大会本番では、五位以内には入れなかったけれど、全力で頑張ったので、よい経験になりました。これからは、それぞれの地域での活動になるけれど、離れていても思いは一つなので活動頑張っていきたいです。



仲間と過ごした2日間

橋本 福太郎

ぼくは、９月に広島での全国少年消防クラブ交流大会に参加できてとても良かったです。新幹線の車内で他のクラブの子とトランプをしたり、広島の街並みや食事、見るものが新鮮で観光もさせていただき楽しかったです。大会では練習の成果が発揮できたかなと思います。失敗もしましたが良い結果を出せて良かったです。これからもクラブの人たちと仲良く頑張りたいと思います。



防災について深く考えた

熊川 壮

今回、交流大会に参加できて、いろいろな経験ができました。とても楽しかったです。そして、全国の防災チームの同年代のメンバーと交流することによって、仲間意識を持て、防災に関しての意識も高めることができました。これからも防災についての学びや活動を深めていこうと思います。大会以外でも広島の見学ができ、地域についてよく知ることができました。思い出に残る大会になりました。



多様な「防災」への取り組み

大谷 泰寛

まだチームに入って半年しかたっていないのに、「全国少年消防クラブ交流大会」に出ることができて喜ばしい思いです。大会前日のクラブ紹介のときには、それぞれのチームの思いを聞くことができ、防災への思いも強くなりました。そして本番のときにも災害現場のイメージをしながらやることができました。11位だったけど良かったです。これからは、この経験を活かして地域の人たちに「防災」の大切さを伝えたいです。



大舞台での経験を胸に

周田 夏葵

「全国少年消防クラブ交流大会」では、全力を尽くし、良い体験ができました。今年度入団した団員ばかりで、不安や緊張もありましたが、練習での経験や消防士の方のアドバイスを活かし、全力で取り組むことができました。入賞はできなかったけれど、私たちなりに良い結果を残せたと思います。全国大会のような大きな舞台はもうありませんが、今後も大会の経験を忘れず、防災チームの活動に熱心に取り組んでいきたいです。



クラブの記録
25

渚中学校ジュニア防災リーダー

兵庫県神戸市

貴重な経験を経て





灘区の防災福祉コミュニティである「なぎさ防災福祉コミュニティ」と中央区の防災福祉コミュニティである「脇の浜ふれあいのまちづくり協議会」の2団体によって支援されるジュニアチームです。「渚中学校ジュニア防災リーダー」は以前から活動を行っていましたが、2024年度神戸市のサポートを受け正式に発足。地域との連帯と貢献を目指します。

経験に勝るものなし

指導者　戸嶋　武志

神戸市立渚中学校は、1995年の阪神・淡路大震災で被災した跡地に開校し、震災の教訓を次世代に伝えるための防災教育に力を入れています。地域の防災コミュニティの支援により、生徒たちは全国大会という大きな舞台で、同じ思いを共有する同世代の児童・生徒たちと交流できる機会をいただき、大変ありがたいです。良い刺激をいただきました。

経験を通して

森本 くるみ

私は初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加し沢山のことを経験しました。その中でも一番記憶に残ったことは、一日目の夜ごはんの時、今まであったことのなかった山口県の同年代の子や神奈川県の子など、沢山の人との交流です。次に記憶に残っているのは、合同訓練です。全クラブが必死になって訓練に挑む姿がとてもかっこよくて、気づいたら私たちまで他のチーム全員を必死に応援していました。この訓練を通して、より防災意識が高まりました。私はこの交流会に参加し得た経験を、学校での防災の取り組みなどで伝えたいと思います。



わくわく

田中 夏希

全国交流大会は、たくさんの防災に関わる人たちと会ったり、合同訓練のリレーなどでは、チームのみんなと励まし合ったり、助け合ったり、より仲が深まりました。入賞はできなかったけれど団結してものごとに真剣に取り組む経験は何事にも代えがたいものでした。他にも、広島の原爆ドームや資料館を訪れ、大きな学びを得ることができました。全国規模の大会にそうそう参加する機会はないので、行きながらずっとワクワクしていました。交流大会で得た経験を今後の防災活動に活かしたいし、後輩に引き継ぎたいです。



今大会を終えて

橋本 怜奈

私は全国大会に初めて参加しました。今までジュニア防災リーダーの活動には参加はしていたが、このような大規模な行事に参加したことがなかったので、とても大きな経験となりました。夏休みから消防士の人達に手伝っていただいて今大会に向けて本格的な練習ができました。訓練の時間は毎回楽しかったです。そして、良い結果を残すことができたのでよかったです。消防士の人達がどれだけすごいのか知ることができてよかったです。また機会があれば参加したいです。



思い出のつまった２日間

西村 茉桜

初めての大会でしたが、精一杯頑張りそして楽しむことができ初めての割には良い結果が残せたと思いました。交流会では、ご飯が美味しく神楽も素晴らしいものでした。他にも、交流会メンバーと大会について話が出来たり名刺をもらったりなど仲を深めることが出来ました。大会では、必死に応援しあい一人一人が全ておいて本気で取り組みチームのきずなも深まったと思います。こんなにも貴重な体験が出来たことに本当に感謝したいです。



大会で得た絆と経験

星川 千晶

少年消防クラブ全国大会に参加が決まり、私たちはたくさんの練習を重ねてきました。少しずつタイムが縮まっていき、仲間と喜んだり、まだ記録を更新できるはずだと、より熱心に取り組んだりすることができました。当日の結果は表彰には届かず、とても悔しかったです。しかし、大会を通して、仲間との絆をより深めて、最高の思い出を作ることができたので良かったです。この経験を今後の活動に生かしていきたいと思います。



初めての全国大会

李　響

初めての全国大会のために私たちは全力で練習しました。最初はなにも分からない状態だったけど、練習していくうちにチームの団結力も高まっていき、とても楽しかったです。本番では緊張したけれど、チームみんなで力を合わせて挑むことができました。入賞は逃しましたが健闘でき、とても充実した時間でした。



クラブの記録
26

たつの・太子少年消防クラブ

兵庫県太子町

繋げ防災の絆 ～仲間とともに未来へ～



当クラブは、平成18年5月に設立し、たつの市、太子町在住の小学4年生から6年生のクラブ員と、中学生のモデル生で編成されています。以後、地元消防署から指導いただき、規律訓練や消防訓練、防災に関する知識・技術の習得など、地域の防災リーダーとなるため、クラブ員一丸となって取り組んでいます。



広島での全国交流大会を終えて

指導者　北本 心花

私は今年初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加させていただきました。1日目のクラブ紹介では、全国各地のクラブ員がそれぞれの地域特性やクラブ活動の内容など、様々な交流をすることができ有意義な時間となりました。２日目の合同訓練では、緊張感の漂う中、チーム全員が気持ちを一つにして、全力で競技に臨むことで、チームワークの大切さを学べたと思います。今回の経験を活かし、地域防災の担い手となってくれることを期待しています。最後に、このような素晴らしい大会を開催していただいた、大会関係者に心より感謝申し上げます。

体験して広がった防災の未来

田村 優花

チームのみんなと一緒にロープ結索を練習したり、全国のみんなと競技できてよかったです。あなごめしが美味しかったです。VRゴーグルを使った災害学習は、地震や水害が目の前に広がって、本当にその場にいるようで少し怖かったけど、命を守る大切さを実感しました。学んだことを地域の人たちにも伝えて、これからも地域の防災活動を続けて、みんなで安全なまちをつくっていきたいです。



消防クラブ大会で学んだこと

山本 稜

消防クラブの大会に参加しました。たくさんのチームが集まっていて、最初はとても緊張しましたが、練習の成果を発揮できるよう全力で取り組みました。仲間と声をかけ合い、動きを合わせることの難しさと大切さを感じました。思うようにいかないところもありましたが、最後まであきらめずにやりきることができてうれしかったです。大会を通して協力することの大切さを学び、これからの活動にも生かしていきたいです。



全国少年消防クラブ交流大会に参加して

寶山 結花

私は消防の交流会を通じてたくさん学んだこともありましたが、何より友達が増えたことが嬉しかったです。最初は上級生やいろんな人がいて怖かったし、本番に弱い自分がここにいていいのかと悩んでいましたが、いざ参加してみると同じチームの人も他のチームの人もとても面白くて優しかったので、とても安心しました。大会は残念ながら入賞できませんでしたが、私としてはとても楽しい思い出になりました。また、ホテルでは京都の子と友達になって、別れ際にマーカーペンをもらいました。そのペンは私の夏の思い出です。来年も機会があればもっと練習をして挑戦したいです。



全国大会に行って

木村 惺空

一昨年、去年に続き、三度目の全国大会に出場することができました。今回は広島開催で、新幹線での移動や高級感のあるホテルなど、これまでにない特別な体験ができました。大会では「三度目の正直」で入賞を目指しましたが、残念ながら結果は届きませんでした。しかし、初めて参加するメンバーが一生懸命練習してきてくれたことに感動し、チームの絆も深まりました。会場では面白い出来事も多く、楽しい思い出がたくさんできました。期待していた広島の名産はあまり食べられませんでしたが、引率の職員の方が面白く、移動中もホテルでも笑いが絶えない充実した二日間でした。この大会を通して新たな経験を得て、自分自身がさらに成長できたと感じています。また次の機会があれば、ぜひ挑戦したいです。



壁は大きかった

谷口 煌羅斗

去年に引き続き、参加させていただいた交流大会でした。今年こそは、３位以内、いや、内心は１位になりたいと思いながら挑みましたが、結果は、惨敗で10位以内にも届かず反省やこうしたらよかったと悔いの残る結果になりました。ただ、それ以外は、食事会などの色々な人との交流、仲間との広島での宿泊、大きな施設での貴重な競技体験など、すごく楽しいことばかりで参加できたことに感謝しており、とてもいい経験になりました。いい経験をさせてもらえたことを生かして、苦手な点を克服し、壁をのりこえて、もしチャンスがあれば、次回は、リベンジしに交流大会の場に戻りたいなと思います。





クラブの記録
27

米子市消防団少年消防クラブ

鳥取県米子市

絆を深めた２日間（ありがとう広島）



米子市消防団少年消防クラブは、平成２６年に結成され、現在は小学３年生から高校１年生までの１９名のクラブ員で活動をしています。今大会は中学生５名の構成で参加をし、前大会の記録を上回れるよう訓練に取り組んできました。残念ながら目標には及ばなかったものの、大会を通じ、多くの仲間と出会い経験を重ねることができたことから、この経験を今後の活動に生かして行きたいと思います。



全国交流大会に参加して

指導者　中村 正吾

今回で３回目の参加となりました。他の選手の皆さんは、毎年スキルアップが凄くて驚かされました。米子市チームは緊張もあり普段のパフォーマンスが出来なかった様に思いました。来年度も参加したいと思いますが、通常訓練のやり方を見直して、今年より良い記録が出せる様に頑張りたいと思います。

全国の少年消防クラブとの繋がり

指導者　安岡 秀夫

今回、全国から50チームのクラブが広島県に一同に集まり開催された全国少年消防クラブ交流大会。普段から防火・防災という同じ志をもって活動している他の地域のクラブ員や指導者さん達と交流することができて、子供達だけではなく私自身も貴重な経験をすることができました。合同訓練では、緊張感から思うようにいかないクラブ員もいましたが、会場からの温かい声援もあり最後まで協力してやり遂げることができました。改めてクラブ員の成長を感じるとともに、全国の少年消防クラブとの繋がりを感じました。この交流大会での経験を、将来の地域防災の担い手として今後の活動に活かしてほしいです。

次の目標に向けて

後藤 穹

今回の全国少年消防クラブ交流大会を振り返って、1日目はステージでのクラブ紹介が緊張してうまく喋れませんでしたが、その後の石見神楽はかっこよくて楽しめました。2日目は残念ながらあまりいいとは言えない順位でしたが、楽しかったです。障害物競争のロープ結索では、自分の好きな「もやい結び」を担当したので、家での練習を頑張りました。これからも訓練を頑張りたいです。



楽しかった全国大会

後藤 梛

今回の全国交流大会で楽しかったことは夕食と朝食です。なぜなら、色々な県の人たちのことを知ったり食べ物がおいしくて楽しい夕食だったし、朝食は色々なメニューがありワクワクしたからです。大会では、ホース展張の途中で外れたりなどのハプニングがあったけど、ロープワークは前日にも練習したおかげで間違えてもちゃんと結ぶことができました。最後にはみんな笑っていて良かったと思いました。



初挑戦への道

孝田 百優

私にとって今回の大会は、たくさんの人と関わりを深めたり、それぞれの地域で取り組んでいる活動を発表したり、消防について学んだりする貴重な機会となりました。また、大会を通して、練習の成果を発揮して挑み、結果が悪くても、最後まで頑張ることができました。この経験を通して、今後、自分の地域で頼られる存在になりたいです。



他県との交流

孝田 結菜

私は、全国少年消防団の大会に参加し、とても楽しく貴重な時間を過ごせました。他県の団員の方と交流する中で、他県での取組を学び、団員同志の団結力の強さを感じました。また、「年齢や地域が違っても防災への思いはただ一つ」と一人ひとり団員を見て思いました。このことからこれからの活動への意欲が高まりました。



米子市代表として

河上 虎太朗

僕にとって、今大会が初めての出場となりました。上位入賞を目指して、毎日練習を積み重ねてきましたが、本番では色々なハプニングに見舞われました。それでも仲間と力を合わせて諦めずに頑張りました。上位にはなれなかったけれども、本当に楽しかったです。この経験を活かし、来年も選ばれるように頑張ります。指導員の中村さん、安岡さん、消防局の皆さん、ありがとうございました。



クラブの記録
28

城東台少年消防クラブ

岡山県岡山市

平和を願う心と感謝の心でステップアップ！



城東台少年消防クラブは平成８年に小学校区で発足し、現在は小学４年生から６年生まで１１名のクラブ員で地域の防火活動をしています。今大会参加の６年生５名は、「終戦８０年」の節目に広島平和学習エクスカーションの機会に恵まれました。平和を願う千羽鶴をクラブ員が中心となって折り上げ、事前訓練にも励んで参加することができました。本番会場では、緊張して反省点もありましたが、家族の応援参加もあり、感謝いっぱいの素晴らしい体験となりました。



一つ一つの行動から育つ少年消防クラブ

指導者　赤堀 典子

今回は、昨年の全国交流大会で素晴らしい体験をした先輩たちを見てきた６年生が、とても楽しみにしていた広島大会でした。事前の訓練、自己練習にも集中して取り組む姿を見ながら、直接消防士さんから指導を受け、触れ合う貴重な体験は、少年消防クラブの真髄だとしみじみと感じました。また、今年は、平和学習で「広島の声」を直に聞くことができ、私自身も改めて平和への願いを強く再認識致しました。子供たちの心に、一つ一つの行動を通して防火防災、そして心の平和の根っこが育つよう願っています。

交流大会初参加

指導者　永井 昌美

初めて交流大会に参加させて頂き、全国には中・高生団員が多いのに驚きました。地元にも小・中・高と継続して消防・防災等を学びながら、広めていく活動があれば良いのにと感じました。この会で他の団との交流もあり、みんな良い経験が出来ました。エクスカーションで、丁寧に広島を案内して下さったガイドの方をはじめ、交流大会の運営に携わって下さったすべての方に感謝申し上げます。

全国大会を終えて

梶井 大耀

全国大会の感想は、いろんな広島の歴史を知ることができ、とてもいい体験になりました。また、練習の時にも、ロープ結索のような経験をすることは、私生活ではないので、経験することができてよかったです。そしてこのロープ結索を私生活でも活かせれるように、体にしみこませておきたいです。このような機会を作ってくださり本当にありがとうございました。



全国大会のふりかえり

山本 愛結

私が全国大会で頑張ったことは、仲間といっしょに協力したことです。仲間と共にゴールを目指してがんばれた時はとても達成感があって最高でした。もう一つ、私はもっとがんばれたらなと思う点がありました。それは、消火器のホースがとれなかったことです。消火器のホースがうまくとれていたらもっとタイムがはやくなっていたと思います。また仲間といっしょに反省を活かして再チャレンジしたいです。



全国大会に行って

井上 優音

私は今回の全国大会の前日に、広島原爆ドームに初めて行きました。二度と戦争が起こらないようになったらいいなと思いました。全国のいろんな消防クラブの人たちと交われてうれしかったです。本番では、５人で力を合わせて、がんばれたと思います。練習で結索がむずかしかったけど、本番では上手にできてよかったと思います。これからも自分の生活の中で、消防クラブで教えてもらったことを意識していこうと思いました。



緊張した全国大会

小山 楓祐真

ぼくが全国大会に行って思ったことは、自分で想像していた何十倍も緊張しました。だからもう少し落ち着いていればよかったけど全国という言葉が頭からはなれませんでした。でも、どうしたら緊張がほぐれるか分かりました。それは大会と思わず練習だと思えばいいのです。そうすれば少しは落ちつくことができたので大きな失敗はなかったかもしれません。その場でこのことを思い出していれば成功になっていたと思います。



全国大会に参加して

重末 桔芯

ぼくは岡山県の代表として友達と広島の全国大会に行きました。たくさんの団員がいていろいろな人と消防活動の話ができました。２日目の大会ではぼくは５番目を走って、バトンを持って走り抜けました。夏休みに小学校の体育館で消防士さんと練習をして大会では全力を出しきれました。ほかには広島の原爆のことを知れて戦争は危険だと思いました。これからも広島で学んだことを生かして生活していきたいと思います。





クラブの記録
29

吉島地区少年消防クラブ

広島県広島市

First,Try　Revenge叶えば…



吉島地区少年消防クラブは昭和55年に発足し今年で45年を迎える消防クラブで、吉島小学校・吉島東小学校区の小学1年生から中学3年生の子ども達で活動をしています。発足した当時は100人を超えるクラブ員が活動をしていたそうです。地域から活動資金を頂き地域の防災行事・祭り・防犯啓発活動を主に子ども達と活動をしています。



素晴らしい体験をさせて頂きました

指導者　加藤 雅彦

今大会に参加させて頂いた事に感謝を申し上げたいと思います。地元開催と思い手を上げましたが、事の重大さにビックリ。地域密着の我がクラブに規律訓練や大会競技の様な事は消火器ぐらいのことでクラブ員が競技内容をこなせるのかが心配でした。しかしながら子ども達はそんな心配を気にせずに訓練をこなして来ました。これもご指導して頂いた消防局・消防職員・栄光の頂点府中町少年少女消防クラブの皆様のおかげだと思います。ですが次年度の頂点は……

交流大会を経て

沖 叶夢

僕はこの交流大会で、防火防災の知識などだけではなく、仲間と交流する楽しさや、うれしさを改めて実体験することができました。この交流大会は、僕にとってとても良い経験になったと思います。次の機会などがあれば、ぜひ参加したいと思います。そして、この経験をここで終わらせてしまうのではなく、また次に繋げていきたいです。



他のチームと交流を深めた全国大会

前原 優愛

私は小学校４年生から、吉島地区少年消防クラブに入っています。今回初めて全国大会に参加し、レベルの高さを感じました。その中でも、23位と言う誇れる結果でした。また他県の人と会話をすることが出来、色んな方言で、クイズみたいにして交流しました。楽しかったです。今回は、貴重な体験をありがとうございました。



学びを力に地域を護る

前田 龍治

自分は全国交流大会に参加し、全国の仲間とロープ結索などや防災について学び合うことができました。練習、本番を通してロープ結索やホース展張などの命を守る行動を素早く出来るようになりました。大会の結果は23位と、あまり胸を張って誇れる順位では無かったけど、これからも地域の安全を守るために、練習し学んだことを日々に活かしていきたいです。



はじめて全国交流大会に参加して

前原 蓮斗

今回僕は、はじめて全国交流大会に出場することが出来ました。大会の前に、一生けんめい練習をして、障害物競争をがんばりました。ほかの人と話が出来て、とても楽しかったです。ありがとうございました。



頑張った証

津田 栞奈

私たちは、全国交流大会に向けて頑張って練習し、なんと目標は20位に入るということでした。結果23位をとり目標はいかなかったけど、みんなで協力して50組中の23位をとれたので嬉しかったです。今回協力していなければいい成績を残すことができなかったので、あらためて協力は大切だと思ったし、人には得意、不得意があるので、それを生かして何をしたらいいかを決めました。私は巻き結びが得意なので、リレーでは巻き結びをしました。来年もまた出たいです。もし出ることができたら、頑張って20位までには入りたいです。



初めての全国大会

中島 颯甫

僕は少年消防クラブで初めて全国大会に参加して、クラブ員代表として決意表明をしました。練習の時は声の大きさや緊張で不安だったけど、結果、本番ではハキハキと声を出して言えたので、とても嬉しかったし、自信がつきました。競技の障害物競争では、仲間とバトンを繋ぎ合わせてゴールが出来たので、とても達成感がありました。この経験を活かして、これからも防災のリーダーとして地域に貢献していきたいです。



クラブの記録
30

元宇品学区少年消防クラブ

広島県広島市

BFC全国大会へ参加して



元宇品学区少年消防クラブは元宇品小学校児童の3年生から６年生で活動しています。元宇品学区少年消防クラブでは１年を通じて様々な活動を行っており５月には下級生を引き連れて子供110番の家を巡回し、7月は神輿を担いで町内を練り歩きます。12月には夜まわりで町内に火の用心を呼びかけます。他にも1月には広島市消防出初式に出場し、鼓笛隊を披露します。今回の全国大会には5年生5名の構成で参加しました。練習の実施回数は少なかったのですが各自で自主練を重ね、指導員及びクラブ員が一致団結しゴールを目指しました。



子どもたちの姿

指導者　宮食 美緒

BFC全国大会に参加させていただきありがとうございました。オリエンテーションでは子どもたちが同じテーブルに座った他県の方たちと交流する姿も見られ大変感慨深く感じました。また競技ではトップバッターというプレッシャーをものともせず駆け出す子どもたちの姿に感動しました。少ない練習量でしたが大変立派なクラブ員達でした。貴重な体験をさせていただき、大会関係者の皆様に感謝申し上げます。

BFC全国大会を経験して

指導者　矢野 直美

BFC全国大会の指導員として参加させていただき、多くのクラブ員が日頃の練習の成果を発揮し、頑張る姿を直接見ることができました。特に、元宇品は競技の順番がトップバッターで、練習も思う存分できていない厳しい状況でも最後まで諦めずに挑戦する姿には、指導員として胸を打たれるものがありました。大会を通じて、他のクラブや地域の方々との交流が深まったことも良い経験になったと思います。これからも今回の経験を活かし失敗を恐れずに様々なことに挑戦し自分自身の可能性を広げていってほしいと思います。困難な壁にぶつかっても、それを乗り越えられることで得られる達成感はかけがえのないものになるので!

BFC全国大会へ参加して

矢野 嵐舵

競技の動画を初めて見せてもらった時は、できるか不安だったけど、消防の方に優しく教えてもらったこと、他のチームの方にアドバイスをもらったこと、そしてチームの仲間の支えがありやり切ることができました。当日はトップバッターでドキドキしたけど、チームの仲間がいてくれてみんなも頑張っているから頑張ろう!と思って頑張りました。結果は29位で練習の時より上手くできてうれしかったです。仲間と協力してやり遂げる楽しさを知りました。ありがとうございました。



BFC全国大会に初参加して

冨士田 花穂

この大会は私にとって、仲間と力を合わせて目標に向かってやり遂げるという体験をすることができました。トップバッターでお客さんもたくさんいて、少し緊張しましたが、みんなと一緒に過ごすことでとても楽しく競技をすることができました。初参加で29位という結果を残すことができ、本当にうれしかったです。この経験を来年の大会に向けてだけではなく、これからの集団生活でも活かしていきたいと思います。



BFC大会に参加して

秦野 聖也

BFC全国大会で29位になったことは、私にとってとてもうれしい出来事でした。大会当日、全国の強い選手たちと同じ舞台に立つだけでも緊張しましたが、自分の力を信じて全力で挑みました。試合では予想以上に良いプレーができ、苦しい場面を何度も乗り越えました。結果として29位という順位を取ることができ努力が実ったと強く感じました。応援してくれた仲間や家族のおかげでこの結果を手にすることができ本当に感謝しています。この経験は次の大会への大きな励みになります。



初めての全国大会

宮食 緒実

BFC全国大会に参加し29位になれたことがとてもうれしかったです。全国大会は日本中の強いチームが集まる大会です。私は前の日からドキドキしていてちゃんと出来るか心配でした。でも本番の日はあきらめないできちんと最後まで5人でやりきりました。会場には人が沢山いて静かにみている中でのプレーだったのでとても緊張しました。けれど今までの練習を思い出して楽しく臨むことができました。結果は29位でもっと上を目指したい気持ちもありますが全国大会でこの順位になれたことは大きな自信になりました!これからもこの経験を活かして色々なことに挑戦したいと思います。



BFC全国大会に参加して

山下 大葵

この大会は僕にとってすごく成長を感じられる大会でした。仲間から熱いバトンを受け継いで絶対に失敗したくないという気持ちが溢れてきました。結果は29位でした。最年少なのにすごくいい順位でうれしかったです。この大会で学んだことを次に活かしていきたいです。



クラブの記録
31

青崎学区少年消防クラブ

広島県広島市

来年への意気込み・深き交流





青崎学区少年消防クラブは、小学校１年生から中学生、総員は、１８名で、今回の交流会には、中学２年生４名・小学５年生２名の構成で参加しました。消防局青崎出張所の指導のもと、消火活動・ロープ結索・規律訓練等を学び、地元の交流会・児童館で学んだことを披露、夜回り、出初式等に参加しております。

私自身が、参加した３年目

指導者　武安 康恵

今年は、新しく大会最年少の２名が参加で、みんなが集まれる日も少ない中、いいタイムを出せました。子供たちの来年への意気込みに答えれるよう頑張りたいです。そして、今年は、昨年度、声を掛けた、北海道のチームと、交流大会終了後、打ち上げができた事が、良かったです。来年また、お会いしましょう。

広島での開催と結果

武安 壱樹

今年は広島開催の全国交流会があってやる気が増してのぞみました。今回は3人新しい人が参加してみんな自分なりの力を出せたのではないかなと思いました来年は、さらに良い結果を残るようにもっと練習をして頑張りたいです。



次への思い

島川 翔

今年の全国交流会は地元で開かれるのでとても楽しみにしていました。夏休みに練習を重ねましたが直前にけがをして応援での参加になり、みんなに迷惑をかけてしまいました。出られず残念でしたが、北海道のクラブ員と友達になり一緒にお好み焼きを食べたことが思い出になりました。「また来年会おうね」と約束したので、来年も出場できるように頑張りたいです。



結果につながれ

竹村 咲人

今回の消防クラブ交流大会は、体調も万全で臨めました。初めてホースボウリングを担当し不安もありましたが、無事にピンも倒せて良かったです。思った以上の成績が出て嬉しく、楽しい経験になりました。次回も挑戦したいです。



学び・努力・生かす

増成 岳

僕は、この全国大会に向けて日々練習してきた中で、うまくいかなったところや、大変なことはあったけど、この大会を通して得たこともたくさんありました。そして今後の消防活動につなげていこうと思いました。そして、他校との訓練で学んだ技術なども、来年に生かして、良い成績が残せるように頑張ります。



来年へ

松田 賢吾

広島というよく知っている所で交流大会の流れが知れて良かったし、いろんな都道府県から来た人と話せて楽しめました。大会のメンバーが怪我をしてしまい、練習したことないところをやったので少し緊張しましたが無事できてホッとしました。来年は知らない土地での大会だと思うので不安もありますが、二回目頑張りたいです。



はじめてずくし

武安 涼

僕は、はじめての参加で、いろいろな事に気をつけました。例えば、フライングをしないか、足がハシゴに、3カ所付けたままこなすなど、気を付けました。練習の成果、出されたと思ってます。一番嬉しかったのは、友達と2人部屋です。楽しかったです。



クラブの記録
32

安佐南区南部少年消防クラブ

広島県広島市

団結スイッチON! ～挑戦が育てた力～



安佐南南部少年消防クラブは、結成２年目。この度の全国大会に向けて、他クラブの先輩方や消防吏員の皆様の熱心なご指導のもと、ホース連結やロープ結びの訓練等、一丸となって励みました。皆様の温かいご支援のおかげで、チームワークの大切さを学び、各々も貴重な経験を得ることができました。心より感謝申し上げます。この経験を活かし、自分の命や、他者の命をしっかりと守るための知識・技術の習得に励んでまいります。



設立2年目の挑戦と子どもの成長への感動

指導者　山中 知洋

今大会の参加にあたり、消防局をはじめ、優勝された府中町ＢＦＣの皆さんなど、多くのご支援、ご協力をいただきました。地元広島で開催された今大会に、設立2年目の私たちを参加させていただき、本当にありがとうございました。子どもたちにとっては、すべてのことが初めてでしたが、練習を重ねていくにつれ、互いに積極的に声を掛け合い、自主性や団結力を高め、当日全国の仲間と交流し、真剣に大会に取り組んでいる姿に感動しました。この経験を当クラブの活動に生かしていきたいと強く思いました。

絆と防災意識を深めた貴重な全国の舞台

指導者　水野 考

子どもたちが全国大会という大舞台を通して貴重な経験を積めたことに感謝しております。練習では、他BFCの先輩方や消防吏員さんに一から熱心なご指導をいただき、互いに声を掛け合い、最後まで諦めずに努力し抜きました。本番では、皆が一致団結して力を出しきりました。結果以上に、全国の仲間と交流し、チームワークの大切さと防災への意識を深く学んだことが大きな財産です。この経験を糧に、今後も指導に尽力してまいります。

挑戦の中で気づいた成長と楽しさ

前田 瑚太郎

僕は、この大会の話を聞いた時、楽しそう!やってみたい!と思いました。リレーの消防ホース連結、障害物競走のもやい結びに苦戦しましたが、毎週末の練習で、他の団体の方や消防士さんが教えてくれて、少しずつ出来るようになりました。本番では少しミスをしてすごく悔しかったけど、5人で一致団結出来たこと、全国の友達と触れあえたことがうれしかったです。色々な事を学んで、防災の大切さをより感じました。とても貴重な経験をありがとうございました。



不安や緊張を超えて楽しんだ大会

今田 結花

大会へ参加する前は大きな声が出せるかどうか不安でしたが、会場が想像していたより盛り上がっていて「やるぞ」という気持ちになりました。少し緊張してしまったので、もっとまわりのみんなのような大きな声が出せたら良かったです。大会前の練習では優勝した府中の人たちにロープの結び方のアドバイスをもらったおかげで早く結べるようになり、お姉さんたちはすごいなと思いました。おいしい夕食を食べたり神楽を見たり、いろいろなことが楽しかったので参加できて良かったです。



初めての全国大会で得た大切な経験

山内 新太

僕は全国大会を通じて思った事があります。僕たち南部少年消防クラブは初めての出場で光栄でもありプレッシャーもありましたが県の代表として全力でプレーをしなければと思いました。優勝はできなかったですが、皆んなで一致団結しとても良い経験になりました。この経験を活かして色々な事を挑戦できるような人になりたいです。



全国大会で広がった交流と学び

品川 幸志朗

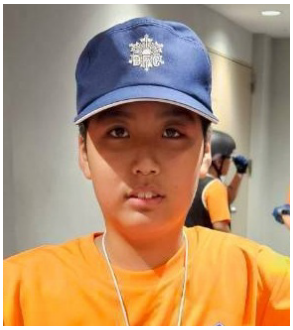
僕は、全国大会に参加して自分のチームや他の県のチームと交流を深めることができました。ホテルでは予想以上に全国から、たくさんの人が参加していて驚きました。夜の食事も美味しくて、伝統芸能の神楽も迫力があってとても楽しかったです。チームでの挨拶も5人で協力することができました。宿泊も違う小学校の友達と色々話しができて嬉しかったです。大会本番では、緊張はしつつも、ピンを全部倒すことができてよかったです!チームとしても連携ができたと思います。大会を通じて、防災や防火の訓練の大切さやチームワークを学びました。今後は、紐の結び方や日常での防災や防火の心構えを高めていきたいです。皆さん有難うございました。



努力が実を結んだ初めての全国大会

山中 将大郎

僕が大会に出られるとは思ってもいませんでした。練習ではホースをまっすぐ伸ばすことを一生けん命がんばりました。大会直前まで僕はうまくできるか不安でした。でも、みんなでここまで練習を頑張ってきたのでぜったいゆう勝するぞと思いました。本番ではミスもあったけれど力を出しきり、思ったより結果もよかったのでとってもうれしかったです。この経験を次にいかしたいと思いました。



クラブの記録
33

たかかげ少年消防団

広島県三原市

未来への大きな一歩



たかかげ少年消防団は中高生を対象として令和７年４月１日に結成し、中学１年生から中学３年生までの14名で活動を行っています。今回の交流大会参加にあたり全員で毎週１回の訓練を重ね、タイムレースにより選抜された６名で参加しました。その結果、総合７位という成績を収めることができ、大変良い経験となりました。目標としていた上位入賞は叶いませんでしたが、クラブの未来への大きな一歩を踏み出せたと感じています。



出場選手間の交流を活性化させたい

指導者　沖邊 裕樹

令和７年度全国少年消防クラブ交流大会へ参加させていただきありがとうございました。３度目の参加となるため、他クラブの指導員さんの中にも顔馴染みが増えて、活発に交流させていただけました。一方、参加した選手に関しては、大勢の仲間たちと競い合う中で次の目標を持つ良い機会となりましたが、スケジュールとして他チームとの対人交流する設定があれば更に良い経験となるのではないかと思いました。

学びと成長の大会

中野 采子

全国大会を通して仲間と訓練してきた成果が発揮でき、とても貴重な経験になったと思います。今年初めて参加し、会場の広さと人の多さに圧倒されました。こんなに沢山の人達が大会のために集まっていることに驚きました。大会を運営してくださった方々や指導してくださった方々、応援に来てくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。いつ起こるか分からない災害に備え、少年消防クラブの一員として地域のため、これからも訓練を重ねていきたいです。



初参加の全国大会

沖邊 仁胡

今回の全国少年消防クラブ交流大会に参加して一番の感想は「楽しかった」です。初めてこの大会に参加して、ホテルでのご飯やクラブ紹介、二日目の大会本番も全てが新鮮でした。二日目の大会本番でのクラブ対抗リレーは、思うような結果が出せませんでした。しかし、クラブ対抗障害物競争ではチームの最高記録が出せて嬉しかったです。これから大会での反省を生かして練習をしていこうと思います。



仲間と共に成長できた大会

井上 春希

全国交流大会で出会った仲間たちと共に競い合い練習の成果を出し切ることができ、とても良い経験ができました。仲間と共に協力し助け合いながら練習に取り組んできて、消防隊員の皆様やホテルの人など、たくさんの方々の関わりでこの全国交流大会が行われ、たくさんの方が応援に来てくださり、全国交流大会に関わった方々への感謝の思いでいっぱいです。全国交流大会で学んだことをこれからの練習や生活に活かして頑張っていこうと思います。



全国交流大会

古志 星穏

ぼくが全国交流大会に行った感想は、他の県の人と交流をして話したり仲を深めたりしたことです。大会でも、前日に会った人と少しだけ話したりしたことです。大会では全力を出し切ったけれど７位だったので、次は１～５位の中には入りたいです。良い経験になりました。



練習を通して学んだこと

石丸 歩岳

４月から水曜日、木曜日交互で練習を行っていた。ひたすら一生懸命に練習を積み重ねて、少しずつ上達した気がしてもっと頑張って取り組んでいた。ホースをうまく転がすコツも指導してもらったが、本番では緊張して手が震えて失敗してしまった。練習通りにできなかったのは、緊張感を持った練習ができていなかったからだと思う。来年に向けて、今からでも楽しい中に緊張感を持った練習を始めていって成果を出したい。



全国交流大会に参加して

清瀬 樹

僕は全国交流大会に３回参加しています。１日目に神楽の鑑賞で大蛇が出てきたのでとても興奮しました。２日目の障害物競走は、練習の成果が発揮できて最高新記録のタイムが出たので良かったです。他のクラブチームの人とも仲良くなり色々話ができたので良かったです。今後の活動に活かしていこうと思いました。



三原市Brave Fire Club

広島県三原市

磨いた技、結んだ心 ～未来の防災リーダーたちの挑戦～



三原市Brave Fire Clubは、令和４年度に発足した小学校５・６年生による公募制の少年消防クラブです。規律訓練や消火訓練、救急講習に取り組み、防火イベント・防災訓練・交流会へ積極的に参加しています。全国少年消防クラブ交流大会に向け、限られた時間でも努力を重ね、協力する力や挑戦する姿勢を育んできました。今後も楽しさの中で防火・防災の知識と技術を高め、地域に貢献していきたいと思います。



初めて交流大会に参加して

指導者　吉弘 亜希

昨年までは大会に参加するクラブ員を送り出すお手伝いをしていました。実際に参加して、クラブ員たちが本番への緊張感、終了した後の達成感や悔しさ、同消防署の別のクラブへの応援を傍で見て 良い経験が出来て良かったと思いながら、次はここをよくしたい…等 考えていました。そして、他のクラブのクオリティーの高さや団結力等、とても興味深く体感できました。参加させていただき、ありがとうございました。

挑戦と成長の証

指導者　丸谷 昌之

全国少年消防クラブ交流大会への出場するに当たり、短い練習時間の中で子どもたちは粘り強く訓練に取り組んできました。初めの頃は仕上がるか不安でしたが、練習を重ねるうちに皆の技術が向上しました。本番では、最初は緊張ぎみに見えたクラブ員たちも、スタートの合図と共に驚くほど素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。この経験を通じて、防火・防災の意義だけでなく、挑戦することの重要性、仲間を思いやる気持ち、感謝の心の大切さを学んでくれたことと思います。子どもたちの成長を目の当たりにし、これからの活躍に期待が高まります。

全力で頑張った交流大会

歌谷 大河

大会当日、僕はとても緊張していました。結果、惜しくも表彰はなりませんでした。思うようにパフォーマンスできなかった理由は、食事会の最後に生まれて初めて紅茶を一気にガバっと飲み、眠れずに出場したことだと思います。しかし、味は意外とおいしかったです。試合の前日の夜に3時間しか眠れなかったというのは、良くなかったと反省しています。しかし、表彰は無くとも全力を出し切れたので、非常に良い経験でした。



仲を深めた交流大会

吉弘 拳彗

交流大会では、1日目のご飯の時に、いろんな人と去年よりテーブルの人といっぱいしゃべることができました。1日目の夜はなかなかねることができませんでした。しかし、大会当日では、ねむくもなくて練習の時よりもはやくてよかったです。今年の交流大会では、去年より、仲を深めれたので大会当日にきんちょうしなかったので良かったです。



交流会と大会

原田 結生

交流会の時に伝統芸能の神楽を見てヘビの頭としっぽが自由自在に動いてすごいと思いました。次の日の大会ではクラブの代表で来ているのでがんばろうと思って障害物競走とリレーをしました。けれど二十二位だったのでくやしかったです。今年は二十二位で終わってしまったので次の代表の人もがんばってほしいと思いました。



練習の成果

頓田 梅斗

ぼくは去年の全国大会にも出場させていただきました。今年は去年より良い記録を出すことを自分の中で目標にしていました。当日はぼくのところでペナルティーがありタイムロスになってしまったことはとても残念でした。しかし、みんなでたくさん練習したことで去年よりも良い記録を出すことができてとてもうれしかったです。



全国交流大会に参加して

井口 萌衣

広い会場で観客の人も多かったけど、緊張せずにできました。クラブ対抗リレーでは3番員だったので消火器を運びましたが、もう少し早く運ぶことができたと思うので来年の反省に生かしたいです。クラブ対抗障害物競争でも3番員でホースを思い通りの向きに延長することができました。他のチームの良かったところを取り入れて来年はもっとタイムを縮めたいです。



クラブの記録
35

三原市立沼田東小学校少年消防クラブ

広島県三原市

目標へ走る、仲間と学ぶ ～心をつなぐ交流大会～



三原市立沼田東小学校少年消防クラブは、昭和41年7月に発足した歴史あるクラブです。規律訓練、消火訓練、救急講習を基盤に、防火イベントや防災訓練、交流会へ参加し、楽しみながら防火・防災の力を磨いています。全国少年消防クラブ交流大会に向けた練習を通じ、順位だけでなく、目標へ挑む姿勢や仲間と協力する大切さを学びました。この経験を今後の活動に活かして行きます。



全国少年消防クラブ交流会に参加して

指導者　安藤 公一

この度、地元広島県で開催された全国少年消防クラブ交流会に指導員として参加し、子供たちがチームの仲間と協力して競技に挑む姿に感動しました。全国から集まった同世代と競い合い、交流を深めた経験は子どもたちにとっての宝物です。大会参加者の皆がこの経験を活かし、仲間と共に地域防災を担うことを願っています。最後になりますが、大会開催に尽力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

交流大会に参加して

指導者　関東 泰世

全国少年消防クラブ交流大会に指導者として参加し、子どもたちの真剣な姿勢と地域を越えた交流に感動しました。活動を通じて協力する力や思いやりの心が育まれており未来の防災リーダーの成長を感じました。また、防災への関心をさらに高める貴重な機会となり、指導者としても多くの学びがありました。今後の活動に活かしていきます。

楽しかった交流大会

内河 陽琉

僕は、今大会でたくさんの思い出が出来ました。例えば、VR体験で、災害の恐ろしさや強大さなどが分かりました。また、交流大会のクラブ対抗リレーでは、僕は1番員を務めました。障害壁を超える練習では、パイプで練習していて、本番は木でできていたのでちょっと苦戦しました。今大会では入賞出来なかったので、次回交流大会に出れる機会があれば、もっと練習をして、今回よりもっと良い成績を残したいです。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



交流会での経験

安藤 伍希

僕は初めて交流会に参加したので、とても緊張していました。ですが、別のチームの友達が「緊張しなくていいよ」と励ましてくれたので、緊張せずに頑張ってきた練習の成果を残すことができました。僕はこの交流会でメンバーとの絆が深まり、他のチームの人たちとも緊張せずに親しみながら話すことができました。良い結果を残すことはできませんでしたが、良い経験で思い出もたくさん残すことができました。ありがとうございました。



始めてのホース展張

足立 こころ

私は初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。参加する前は交流大会の内容をよく分かっていなかったので、どんなことをするのかドキドキしていました。練習ではホース展張がなかなかうまくいかず、たくさんアドバイスをもらいながら何回も練習しましたが、本番で失敗したらどうしようと不安がありました。本番ではホース展張もリレーも練習の成果を発揮でき、チームで目標に向かって努力する大切さを学ぶいい機会となりました。



気持ちは全国制覇!

中本 尚志

念願の全国交流大会に参加する事が出来ました。初日は他県のメンバーとの食事や交流ができてとても楽しかったです。2日目の交流大会は心臓がドキドキしとても緊張しました。自分のチームの順番では自分たちの力を発揮できるように頑張ろうと強く思うとワクワクしてきました。みんなと全力で頑張ることができ、とても達成感がありました。順位に関係なく気持ちは全国制覇です!

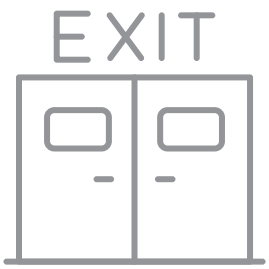


全国少年消防クラブ交流大会

末盛 征雄

僕は今回初めて交流大会に参加しました。大会までに何度も練習がありました。暑い中での練習はとても大変でしが何回も練習し指導者ｻﾝや先輩方に色々アドバスをもらいコツをつかむ事が出来ました。本番では思うような結果は出せませんでしたが良い経験になりました。もし次があれば参加したいです。





クラブの記録
36

あけぼの少年少女消防クラブ

広島県福山市

初めての交流大会参加 ～チームの絆～



あけぼの少年少女消防クラブは、2022年（令和４年）６月に設立し、中学生から小学生１年までの26名のクラブ員で活動しています。地元消防団経験者による指導のもと、１年間を通じて規律訓練及び消火訓練、応急手当、心肺蘇生法など防災に関する学びを楽しく行っています。



クラブ員の成長を実感！

指導者　羽原 秀明

今大会が初めての参加です。クラブ員のこどもたちに全国交流大会の出場を呼びかけたところ、小学６年生２名と小学５年生３名が参加の意思表示をしてくれました。２ヶ月半練習してきた中で、指導者と選手たちの連帯感も生まれ素晴らしいチームが出来たと思います。選手たちは、練習から交流大会を通じてたくましく成長したと感じています。参加しなかったクラブ員からも、次年度の交流大会には必ず出場したいという声が出ています。今後も地域に根差したクラブ活動を続け、災害や防災に関する知識の向上に努めていこうと思います。

クラブ員の応援を力に

寺岡 美織

全国交流大会で一番印象に残ったのは、ロープ結索で「とめ結び」というロープを素早く結べたことがとても嬉しかったです。本番前は緊張して上手くできるか心配だったけど、たくさん練習したお陰で落ち着いてやり遂げることができました。日ごろの努力は、ちゃんと本番で力となるということが分かりました。また、大会に参加していないクラブ員の仲間たちが、会場内で大きな声で応援してくれてとても心強かったです。今度は自分が応援する立場になった時、この気持ちを大事にしたいと思いました。



全国大会に参加して

利廣 眞帆

私は、全国少年消防クラブ交流大会に参加して普段から知ることがない縄結びや、号令を知ることができました。私は、縄結びで難しい「もやい結び」をしました。難しい結びが出来るようになったのでとても嬉しいです。また号令では、私の知らない「かしら○○」という言葉が出てきて、大会１日目の出発前に、何回も号令の練習をしました。交流大会に参加して色んなことを知ることができたので、次の交流大会にも参加したいです。



交流大会で得たもの

古田 蒼依

私が全国交流大会で特に心に残ったことは、２つあります。１つ目は、オリエンテーションで他の県の人達と話せたことです。優しく接してくださり、楽しく食事もできたことが嬉しかったです。２つ目は、競技本番で転んだ時に会場のみなさんが応援してくれたことです。応援がなかったら気持ちよくゴールできなかったと思います。最後にクラブ員の仲間、指導員の方々、家族のみんな、未熟な私たちを支えてくれてありがとうございました。一生の思い出になりました。



経験を活かして次へ繋ぐ

井戸 環那

全国交流大会に向けて練習は、ホースボウリングをしました。ホースを扱うことがとても難しくて指導者の方にコツを教えてもらったのですが、本番で倒すことができませんでした。私は次の大会に出るクラブ員には、教えてもらったコツを教えてあげようと思いました。また、私はあまり知らない人と話すことはしないタイプですが、オリエンテーションでは、他の県の方から話しかけてくれて、楽しかったし、各クラブ紹介の発表はすごく良かったです。大会本番では、ものすごく緊張したけれど仲間と一緒に協力し、安心してやり遂げることができて良かったです。



仲間と協力する楽しさ

浜本 笑里

私は全国交流大会に参加して、仲間と協力して何かをする楽しさを改めて知ることができました。今回私たちのクラブは、初出場だったので分からないことがたくさんありました。でも仲間と協力して、本番には練習してきた成果が出せました。また、他のチームとも交流できて、とても楽しかったです。この貴重な機会で得たことを、これからの活動にも生かしたいです。



クラブの記録
37

能美少年消防クラブ

広島県江田島市

挑戦の夏、ぼくらの消防物語



能美少年消防クラブは平成28年に結成され、能美町の小学４年生から６年生まで総員20名で活動しています。今回の交流大会のメンバー５名は夏休みの間、休日返上で特訓を重ねてきました。練習では好タイムを連発していたのですが、本番では緊張からか、思うように力を発揮できませんでした。しかし、中学生や高校生のクラブ員が参加する中、小学生のみのチーム編成で大健闘の結果でした。



挑戦の先に

指導者　前田 雄司

小規模なクラブのためチームワークは抜群なのですが、普段の活動はどうしても少人数になってしまいがちです。全国から集まった大勢の仲間たちと過ごしたことは、子供たちにとって普段味わうことが出来ない刺激であり、非常に貴重な経験になったと思います。これから成長するにつれ、未経験のことや初対面の人と交流する機会はどんどん増えていきます。今回の交流会で学んだように、どんなことにも失敗を恐れずに全力で挑み続ける、そんな大人になってほしいと願っています。

はじめの一歩

指導者　末岡 真樹

子どもたちを送り出すため試行錯誤してくださった消防本部の皆さまや保護者の方々の応援やサポート。その期待に応えようと、子どもたちが必死に訓練に取り組む姿勢や、大会当日全力で活躍している姿に「感動」しました。クラブ紹介で堂々と大勢の前に立つ姿や、競技前後に仲間を気にかける姿を見ていると、子どもたちにとって沢山の成長があった初めての大会だったことを実感しました。

１泊２日じゃなかったような１泊２日

末岡 維月

楽しすぎてついつい夜更かししてしまいました。失敗はあったけど、励まし合って絆を深める事ができました。だけど、負けたのが悔しかった。来年ももし出れるなら、しっかり練習して挑みたいです！



初めての交流大会

沖 綾也

僕は今回初めて交流大会に参加しました。緊張と不安もあり、練習でもみんなと一生懸命練習をし、本番でその成果を発揮する事ができました。１日目は、いろんな方と交流をし、一緒にご飯を食べたり楽しい時間でした。２日目は、本番という緊張で「練習の成果だせるかな？」など色々不安でしたが、日々の練習を思い出して最後まで諦める事なく、やり切りました！消防クラブ活動で教わった事、体験した事、貴重な体験に繋がったと思います。



感謝じゃけぇ

後藤 つむぎ

私たちのチームは６年生４人、５年生１人のチームでした。みんな年が近く、楽しく練習をしていました。消防士の方々も、仕事がある中で協力してくれているのに気が付き、責任感を感じました。本番では、緊張して、思うように力が出せなくてとても悔しかったです。しかし、一生で２度もないような経験や雰囲気を味わわせていただき、最高の思い出となりました。本当にありがとうございました。



最高の思い出

福島 蓮

今回、初めて交流会に参加しました。すべてが初めてだらけでとても緊張したけど、他のクラブの人たちと交流し、一緒にごはんを食べたりして仲良くなり、本番では応援しあう事ができました。ぼくたちは、たくさん練習し本番にいどんだけど悔しい結果に終わりました。でも、みんなで一生懸命練習した時間や、この経験はずっとぼくの大切な思い出です。これからも消防クラブの活動を頑張っていきたいです!!



本当の時生かしたい

前 烈太

ぼくがする役割は結合、火のまとを倒すことでした。そして、結合はちゃんと試合で繋げれました。もし必要な場面になった時ちゃんと結合できると思います。次は火のまとを倒すことも本番でちゃんとできました。本当に火事になったときすぐたおせるように距離、時間を考えながら火を消したいです。最後にぼくは将来だれかの役に立って人の命を助けたい。でもそう簡単ではないから、これから助け方、こういう場面はこうする。とちゃんと全部知って、社会で、立派になっていきたいと思います。



クラブの記録
38

府中町少年少女消防クラブ

広島県府中町

Flying high



府中町少年少女消防クラブは、1998年（平成10年）に設立され、27年間活動を続けており、現在は小学3年生から高校3年生のクラブ員34名で年間30回程度活動しています。今回の交流大会には中高生6名の構成で参加し、選手、指導員、保護者、歴代出場者のみんなで知恵を出し合いミスなく確実に競技をすることを意識し、訓練に取り組みました。その結果、優勝という最高の結果につながりました。この交流大会で得た経験を今後の活動に活かしていきたいです。



みんなで掴んだ優勝!

指導者　髙橋 竜也

今年のチームは、ミスなく確実に競技をすることを意識し、訓練をしてきました。選手の努力はもちろん、指導員、保護者、歴代出場者の指導や応援も熱心であり、クラブ全体で掴んだ優勝だと感じています。大会が近づくにつれて選手の自主性や団結力が高まり、また訓練を通し一喜一憂する姿や他クラブと交流する姿を見て成長を感じ、また私も選手から色々な事を学び刺激をもらいました。大会を通して出会ったクラブ関係者やたくさんの方々との交流は私にとっても大きな財産です。選手はこの大きな経験を今後の人生に活かし、クラブに還元してくれたら嬉しく思います。

初優勝を振り返って

福永 心遥

私は二度目の全国大会で緊張はしませんでしたが、失敗をしてしまったらどうしようという不安が多かったです。でもみんなの応援があったから失敗も無かったし不安も無くなったと思います。練習の時は何度も何度も失敗ばかりの日々で、なかなか良いタイムが出ず悔しくて成功できるように練習も沢山しました。前回は悔しい結果になったけど、その思いが今回の大会で発揮できたんじゃないかと思います。次も優勝できるよう日々の練習を全力で頑張ります。



全国大会を通して

平柿 美奈

私は、初めての全国大会で不安だったけど、全力を出し切れて、最高の結果を残すことができました。練習を重ねていくうちに、自分の弱点やもっと工夫すれば、早く、上手になるところなど、どんどん自分の改善点に気づくことができました。本番では緊張していましたが、ミスなくすることができたし、全国大会が本当にいい経験になりました!最後嬉し涙で終われてよかったです!本当にありがとうございました!!



大会を通して気づけたこと

松岡 咲季

私は2年ぶり2回目の大会で、楽しみと不安という気持ちがありました。今回は初めて「メンバー全員が女子」で驚きました。私はリレーでボーリングの役割で、最初は全く倒れなくて悔しかったですが、練習するうちに少しずつピンが倒せるようになり、初めて全ピン倒れた時は本当に嬉しかったです。大会では全ピンを倒せず、少し悔しい気持ちもありましたが、二種目とも減点にならず、結果優勝できたことが本当に嬉しかったです。この経験を通して、あきらめないことの大切さや、仲間と協力することの楽しさを感じました。これからもみんなで力を合わせて、もっと成長していきたいです。



最高の経験

勝冶 柚香

私は今回3度目の出場でしたが、今までは本番でミスが重なり、チームの長年の目標であった全国優勝を逃してきました。今年は最後のチャンスだったので、今までの経験を活かし、チーム内で声を掛け合い練習してきました。「とにかくミスをしないこと」を心がけて練習し、ミスなく競技を終えることが出来ました。地元である広島で優勝出来て、大会開催に力を貸していただいた方や応援してくれた方々に一番の恩返しができ、そして有終の美を飾れたことがとても嬉しかったです。この経験を活かし、来年からは後輩の育成に回り、サポートをして行こうと思っています。



全国大会を終えて

坂部 友香

私は、今回の大会が二回目の参加で、一回目の際に、優勝を目指して頑張ったけど優勝出来なかったという苦い記憶があり、「今度こそはみんなで優勝するぞ」という想いを胸に努力しました。決して楽な練習では無かったし、このメンバーで大会に挑めるのは今回だけだったので、暑い中頑張った事が「優勝」という形で返ってきた事がとても嬉しかったです。また、全国大会に出たことによって、他の県のクラブチームの方とも交流出来て楽しかったです。



初めての全国大会

五石 彩月

タイムを1秒でも縮めるため、少しでも速く正確に動けるように声を掛け合いながら何度も繰り返し練習しました。初出場で手が震えるほどの緊張と涙が出るほど不安だったけど、チームのやさしさとたくさんの声援に後押しされ、夢中で駆け抜ける事ができました。優勝は努力と絆、そして保護者と指導員の皆さんのおかげです。ありがとうございました。これからは誇りを持って防災の知識と行動力を磨いていきたいです。



クラブの記録
39

厚南地区少年消防クラブ

山口県宇部市

２年越しのリベンジ参加と平和の尊さを考えさせられた交流会



昭和５５年に結成し、小学校低学年から高校生まで幅広い年代のクラブ員達が活動をしています。今回、参加のクラブ員の何人かは２年前に召集するも交流会実施日と学校行事が重なり参加を断念した経緯があり、リベンジ参加となりました。今回も今までと同様、宇部西消防署職員の方々の熱心なご指導の下、クラブ対抗競技を大会までの毎週末、暑い中、頑張ってまいりました。結果、入賞には至りませんでしたが、おかげさまで、クラブ員皆怪我もせず実力を出し切れました。



平和とリベンジがテーマの交流会

指導者　三戸 肇

今回、７回目の参加ということで、久しぶりの参加となりました。クラブ対抗競技については、参加したクラブ員たちの努力とご指導いただいた消防職員の方々のご指導によりクラブ員達は実力を出し切ったのではないかと思います。毎回、思いますが、交流会に参加したことで、クラブ員達も思い出と一緒に何かしら得たものがあったのではないかと思います。また、クラブ員だけではなく、私も一日目の平和学習で平和の尊さを学び、同部屋になった徳島県美馬市消防本部の職員の方と鹿児島県出水市の高校生クラブ員と交流が図れたこととても良い思い出になりました。

平和を実感した交流会

指導者　川﨑 裕美

被爆80年を迎えた広島の地で、全国のクラブ員と交流することができ、平和を実感することができました。また、自然災害も人災も全ての災害を防ぐことが大切だと学ぶことができました。毎回、もしかしたら優勝できるかもとクラブ員にはいつも夢を見させてもらっています。交流会までのみんなの努力や暑い中一緒に練習してくださった消防署の方にはもちろんのこと、今ある日常にも感謝しなければいけないと思えた交流会でした。

ライバルも仲間

守岡 祭

交流会は雰囲気も良く、開始５分でテーブルのみんなと仲良くなれました。交流会では仲間でも、本番ではライバルだと思っていたので、同じテーブルの人が、頑張ってね。と応援してくれて、とてもうれしかったです。対抗競技は、ロープの置かれ方、シートの上を走るなど練習とは違う状況にうまくいかず、ミスをしました。誰も私を責めませんでした。入賞は出来なかったけど、仲間との絆を深められました。今回の経験を活かし、仲間を大事にしながら防災活動をしていきたいです。



深まる意識

奥田 有音

私は少年消防クラブの交流会に参加して、とてもいい時間を過ごすことができました。他の地域のクラブ員と顔を合わせ、いろんな人と出会うことができました。グループに分かれて自己紹介をした時に互いの活動内容を知り、新たな刺激を受けました。初めての人との交流は緊張したけど、クラブ員として意識を深めることができました。今回の体験を活かして今後の活動の原動力にし、地域のために力を尽くしていきたいです。



平和を学び、仲間と一致団結

野間 千尋

私たちはBFCとして全国大会に広島へ行きました。一日目は、原爆ドームや資料館に行き平和の大切さを学びました。二日目は大会本番、これまで練習してきたことを活かし、仲間と声掛けをしながらロープの結索などをしました。入賞には届きませんでしたが、みんなで協力しゴールまで走り切って完走することができ良かったです。全国のBFCとも交流を深めるなど貴重な経験もでき、この二日間は私にとってかけがえのない思い出になりました。



悔しい、楽しい交流会

守岡 衣

今回の交流会で私は沢山の楽しい思い出ができました。初めての新幹線、伝統芸能を見ながらの食事、広島観光…クラブ対抗競技はとても緊張しました。私は腰をかがめ、歩幅を大きく、トンネルだけでも早く抜ける工夫をしました。練習の時よりも早く抜けた気がしてわくわくしました。自分たちの順位を聞いた時は悔しくてたまらない気持ちになりましたが、みんなで協力したことは、きっとずっと忘れないと思います。これからも仲間を大切にし、様々な防災活動に励みたいと思います。



全国大会でできた思い出

池本 望愛

大会前日は平和学習をしたり、全国の仲間と一緒に夜ご飯を食べました。本番では消防署の方々との訓練を思い出して大会に臨みました。しかし、緊張して全力を出し切れず、悔しい気持ちが残りました。それでも、他のクラブ員と交流をしたことなど楽しいこともありました。初めてのことばかりでしたが、とても貴重な経験になりました。これからはこの経験を日々の生活に生かし、さらに成長していきます。



クラブの記録
40

渭北スポーツ少年団消防クラブ

徳島県徳島市

初めての全国交流大会参加



渭北スポーツ少年団消防クラブは創設して２年目です。普段は様々なスポーツに取り組む小学１年生から６年生まで総勢約90名が所属し、交流大会は初参加でした。何もわからないゼロからの練習でしたが、真夏の暑い体育館内でもめげずに慣れないホースの扱いやロープの結び方を学び、５人は自宅でも本番前夜のホテルでも練習を続けてきました。その結果、当日も最後まで全力で頑張り抜きました。この経験は今後の活動にも生かしていきます。



全国交流大会初参加を終えて

指導者　赤尾 典彦／ポープ クリストファー

この度の初参加にあたり、暑い中一から丁寧にご指導くださった徳島市東消防署の方々、練習に付き添ってくださった保護者の方々、何不自由無い段取りを組んでいただいた担当者の方、本当にありがとうございました。一番印象深く残ったことは、子ども達の友達を気遣う優しい心です。種目にあるロープ結びは5人で話し合い自分の役割を決め、励まし合いながら練習に励んでいました。本番直前に緊張でお腹が痛くなったり、忘れ物したりとトラブルが続きましたが、笑顔で支え合い最後まで怪我も無く無事乗り切る事が出来ました。この交流会を通して子供達の大きな成長に繋がる貴重な機会を与えてくださりありがとうございました。

楽しかった全国交流大会

井上 泰我

ぼくは、全国少年消防クラブ交流大会にクラブの仲間と参加できてよかったです。初めての大会で、競技本番の日はとても緊張して、ホテルの美味しいご飯があまり食べられなかったのが残念です。結果として、上位に入ることはできなかったけど、ぼくの中では全力で頑張れました。そして最後まで諦めずに頑張る仲間の姿は、とてもかっこよかったです。また初めて広島県に行くことができ、本当に楽しい二日間を過ごしました。ぼくの一生忘れない思い出です。ありがとうございました。



緊張した交流大会

井関 豪俊

初めて仲の良い友達と一緒に全国少年消防クラブ交流大会に出場したことは、ぼくにとって本当にいい経験になりました。行きの初めて乗った新幹線からウキウキ気分で広島に到着しました。平和公園では、戦争のお話を聞き知らなかった事を学べて良かったです。ホテルで違う学校の子達がたくさんいるのを見てから気持ちが引き締まりました。チーム紹介の時は案外緊張せず夕食もリラックスしていました。部屋でみんなと色んな話をしたのが一番楽しかったです。翌日、いよいよ本番になるとかなりドキドキして緊張してきましたがチームのみんなと励まし合いながらやり切る事ができ嬉しかったです。この経験をいかして色んなことにチャレンジしたいと思います。ありがとうございました。



初めての全国交流大会

島尾 櫂伍

ぼくは、初めて全国交流大会に参加しました。たくさんの思い出ができました。大会前には徳島の消防員の方が暑い体育館に来てくださり、ホースのつなぎ方、ロープの結び方を熱心に指導してくれました。ホースは思った以上に重く運ぶのがやっとでした。ロープも、本結び、もやい結び、どれも覚えるのに苦労しました。当日の大会ではたくさんのチームが集まり、緊張しました。障害物競走のホースが伸ばしにくく大変だったけれど、みんなで協力してゴールできてうれしかったです。優勝はできなかったけれど、仲間たちと楽しい時間を過ごし、消防隊の方々の仕事の厳しさを実感しました。初めて広島の平和公園、原爆ドーム行き、平和学習もでき、ぼくの宝物となりました。平和な日々が続くように、この経験をいかしていきたいです。ありがとうございました。



全国少年消防クラブ交流大会への挑戦

藤滝 留伊主

僕は今年初めて参加をすることになるまで、消防のことについてはそれほど深く知りませんでした。しかし、実際この大会で消防の様々なことについて知ることができました。そして、自分のチームの他の4人との友情も深まり、全国の仲間との絆も感じることができました。会場のホテルで他のクラブ員とも交流ができ、今まで体験したことがない思い出に残る交流になりました。ホテルの部屋でも、翌日の試合に向けて紐の結び方や色々なことを練習しました。広島の原爆ドームにも行き、広島にたった１発の原爆でたくさんの人がなくなったことに驚きを隠せませんでした。１日目で学んだ色々な気持ちを胸に、いよいよ本番の全国少年消防クラブ交流大会に挑みました。体の大きな他のチームがありましたが、僕たちは負けじと頑張りました。頑張った結果、優勝ではなかったけど初出場としてのよい結果はとてもうれしかったです。この体験を通じて学んだことを、自分達が所属している渭北少年団や学校、地域やまわりの人々、友人関係にも活かしたいです。



初めて参加した交流大会

鈴木 駿介

ぼくは、9月の大会に向けて練習してきた友達と旅行に行けるということで、みんなと写真をとったり、お菓子を食べたりしながら楽しく向かいました。広島駅で、他のチームを見かけましたが、ゆったりしている様子だったので、自分もリラックスすることができました。2日目になっても、まだ自分達はリラックスしていましたが、他のチームを見ると、真剣な目で競技を見ていたので、自分も少し気を引きしめていこうと思いました。結果は1位でなかったことがとても心残りでしたが、他のチームの取り組みを知ることができたので、今後の消防活動にいかしていきたいです。





クラブの記録
41

美馬市少年少女消防クラブ

徳島県美馬市

かけがえのない経験・一生の思い出



美馬市少年少女消防クラブは、平成２８年６月に結成され、美馬市消防本部管内小学校の４年生から６年生の希望者で活動しています。年間を通して、規律訓練、消火訓練、防災研修などの様々な活動を通じて防災について学んでいます。今回の交流大会で得た経験を活かして、今後も地域防災の担い手として頑張っていきます。



交流大会を終えて

指導者　藤田 悠輔

２日間の交流大会を通じて、全国のたくさんの消防クラブと交流することができました。他の消防クラブの運営方法や取組を知ることができ、私を含め美馬市少年少女消防クラブのクラブ員たちにとって実りある経験となりました。また、戦後８０年という節目の年に広島市で交流大会が開催され、交流大会前には平和学習も経験させていただきました。普段、戦争や平和について学ぶ機会が少ない私たちにとって、広島の地で平和について考えることができた経験は大変貴重なものです。今回の交流大会や平和学習での経験がクラブ員たちのこれからの人生で少しでも活かされることを願っています。最後に、このような素晴らしい大会を開催していただいた大会関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

知識と協力の一生の思い出

山本 愛

今回、初めての交流大会にクラブで唯一、５年生から参加しました。ホテルでのクラブ紹介の時は高校３年生の人たちがいるクラブもあり、本当にこんなクラブと競技ができるのかという不安もありました。ですが、隣の席の男の子が「よろしく!」と元気よく声をかけてくれて交流することができ、少し不安も和らぎました。次の日の競技では、自分が今持っている知識を活かして仲間と協力してがんばろうという気持ちを強く、大きく持って挑みました。結果、３位以内には入れませんでしたが、自分の精一杯を出せてとても満足することができ、大きな達成感がありました。最後に、今回私は初めて両親無しで１泊２日を経験したので不安でしたが、指導者の方やクラブの仲間、そして一緒に交流した人たちのおかげで一生の思い出ができました。



消防に興味を持てた交流大会

久保 葉瑠

私は、この交流大会でみんなとの仲が深まり、消防への意識が前よりもずっと強く感じられるようになりました。ホテルに着くまでは、電車や新幹線に乗り、ワクワクドキドキしながらみんなと話をしたり、おかしを食べたりしました。他校であまり関わりを持たない子ともたくさん話せて仲良くなれました。ホテルでは、他の消防クラブの子たちとも話ができ、東京都や高知県から来た子もいました。夕食の後は、同じ徳島県のクラブの人たちと話したり、写真を撮ったりもしました。寝る準備に入りながらも、みんなで夜更かしをしてたくさん語り合いました。次の日、いざ本番の直前では、他の消防クラブの子たちがとても多く、競技もかなり速かったので、すごいと思いました。上位に入ることは出来なかったけれど、みんなで協力して実力を発揮できたと思います。



楽しかった交流大会

猪本 唯愛

私は、今回初めて交流大会に行きました。交流大会も楽しかったですが、練習した事も思い出になりました。広島へ行く準備をしながら、全国大会に行くのはどんな人だろう、本番でミスせずに出来るかなどを考えていました。不安な部分もありましたが、広島でいろいろなところを見学する予定が組まれていたので、楽しみな部分もありました。初めて乗った新幹線や原爆ドームで感じた戦争の悲惨さなど、色々な経験をさせてもらいました。競技では賞は取れませんでしたが、ホテルで友達とたくさん遊んだり、夕食では他のクラブの子たちと話もできてとても楽しかったです。初めてのことが沢山ありましたが全部楽しくて、とても充実した２日間になりました。



交流大会での思い出

奈良井 心春

広島県広島市で行われた全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。美馬市から広島市まで汽車を乗り継いだり、新幹線に乗ったりして楽しかったです。１日目は、原爆ドームや平和記念公園を見学しました。戦争の怖ろしさや、平和の大切さについて、今までより考えが深くなりました。ホテルでは、みんなで遊んだり話したりして楽しかったです。２日目の競技では、始まる前にロープの結び方を忘れてしまいましたが、仲間たちのおかげで思い出すことができ、本番ではしっかり結ぶことができました。ミスが少なかったり、タイムが速かったチームには及ばなかったけど、仲間と全力を出せて良かったです。貴重な体験ができてとても良い思い出になりました。交流大会に向けて指導して下さった消防本部の方々や大会のスタッフの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



充実の２日間

佐藤 美彩

私は、交流大会に参加して良かったと思います。私がこの交流大会に参加するのは２回目ですが、今回は前回とはまた違った学びをすることができました。特に学んだことは、「チームワークの大切さ」についてです。みんなで励まし合いながら楽しむっていいなと思いました。今回の大会の記録については少し残念だったかなと思います。１日目の原爆ドームなどを見に行った時は、今まであまり身近じゃなかった戦争のことがたくさん知れ、とても勉強になりました。夜の交流会では、食べたことのない料理が出てきたり、神楽を見たりしてびっくりすることがいっぱいでした。ホテルの部屋でもみんなとおしゃべりができてすごく楽しかったです。この２日間のことを忘れず、これからの生活に活かしていきたいです。



交流大会に参加して

金澤 萌奈

広島県広島市で開催された全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。私が住んでいる徳島県美馬市から広島市までは移動時間はかかったけど、移動中は楽しく、到着も楽しみでした。広島市に着いたら、原爆ドームを案内してもらいました。改めて、戦争の怖さを知ることができて良い経験になりました。会場のホテルに戻ると、夜の交流会はとても楽しくてあっという間に過ぎました。次の日は、朝から緊張してドキドキしました。競技が始まると、他のクラブの子たちの動きが凄くてびっくりしました。リレーで担当したホースボーリングは上手くできなかったけど、障害物競走では練習の成果が発揮できたと思います。優勝することはできなかったけど、とても良い経験になりました。



南国市少年消防クラブ

高知県南国市

友情



当クラブは、平成26年に結成され、小学４年から中学生を中心に高校生まで、現在クラブ員62名で活動しており、年間を通じて規律訓練、消火訓練、防災訓練、出初式等へ参加するなど様々な活動を行っています。交流大会で得た経験を活かし、将来の地域防火防災の担い手として頑張っています。



全国交流大会に参加して

指導者　森本 憲司

酷暑の中でクラブ員は、入賞を目標に皆で力を合わせて、一生懸命に練習に励み、競技に向かう真剣な姿勢を見ることが出来ました。合同訓練では、各自の役割を精一杯がんばり、一定の成果は出せたと思います。平和学習では、語り部の方の説明を真剣に聞き、戦争の悲惨さや平和の尊さを学習できました。交流会で全国の仲間と交流ができたことは、今後のクラブ員の成長を促すと同時に、将来の地域防火防災リーダーになることも節に願っています。

全国交流大会に参加して

指導者　城戸 祥行

大会を通じてクラブ員は緊張していたものの、一生懸命訓練に取組む姿を見ることができ、また同じ目標を持った全国の仲間達とも交流できたことで更に仲間の輪が広がったと感じました。上級生は下級生のことを気遣うことで、人として成長出来たと感じました。合同訓練では、失敗も有りタイムが伸びず入賞できなかったと悔しい声も聴きましたが、競技に一生懸命取組み頑張った経験は、今後の人生の糧になるでしょう。最後に、交流大会にご協力していただいた皆様に対して、お礼を申し上げます。

全国交流大会

岡田 悠汰

今年も広島市で開催された全国交流大会に参加できて嬉しかったです。指導者の方や大会に携わった運営スタッフの皆様にはたいへん感謝します。僕は３度目の出場となりましたが、多くの発見や学びがあり、その中でも何か次に活かす活動が出来ないかと考える所です。この大会は競い合うのが目的だけでなく、多くの意義がある大会と気づきました。来年も全国交流大会に参加出来るように努力します。



全国交流大会

近藤 颯太

真夏の中での練習はとても暑かったですが、練習を重ねるうちに仲間との友情が、強く深まりました。全国交流大会に初参加のクラブ員もいましたが、合同訓練では、大きなミスや怪我もなく予想以上に良いタイムが出せて良かったです。平和学習では、原爆ドームを見学し平和の大切さが学習できました。この大会を通じて仲間との友情や絆も深まり本当に楽しい大会でした。



初めての全国交流大会

酒井 健太

交流大会の広島市はとても遠かったです。平和学習では、原爆ドームの建物を初めて見て、核兵器の恐ろしさに恐怖を覚え、平和はすごく大切だと感じました。宿泊先のホテルはとても豪華で驚き、交流会での食事は豪華で品数も多く、とても美味しかったです。リレー競技では１番手なのですごく緊張しましたが、ミスもなく素早く２番選手に渡せたので満足です。そして障害物競技では、緊張もとれ少しミスしたところもありましたが、満足のいく結果でした。事前練習や全国交流大会を引率していただいた、消防士の皆様ありがとうございました。



初めての全国交流大会

酒井 翔太

初めて全国交流大会に参加しました。練習では競技のコツがつかめず沢山練習を行いました。平和学習では原爆ドームを見学し、平和の大切さや戦争をしてはいけないことを学習しました。交流会でのクラブ紹介はとても緊張しましたが、その後の夕食会ではたくさん料理を頂き、また郷土伝統芸能も見ることが出来きて楽しかったです。そして同じテーブルの他県クラブ員の方とも交流でき楽しい時間が過ごせました。競技大会では、緊張しておりボーリングピンを倒すことがとても不安でしたが、結果、ピンを全部倒すことが出来きたことで緊張が解け、その後は全力で頑張りました。本当に楽しい大会でした、ありがとうございました。

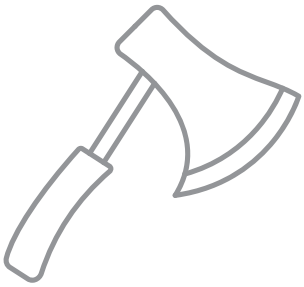


障害物競走とチームワーク

松坂 伊織

今回の全国交流大会で特に印象に残った事は、障害物競走です。最初は誰もが自分のことに集中しがちですが、コースが複雑になるにつれて「次はどうする」「頑張れ」とお互いに声かけするようになりました。時間を争う緊張の中で、いかに素早く正確な行動するかをチーム全員でたくさん話合い、連携の重要性を肌で感じることができました。特に最後のロープ結索では、緊張で手が震えていました。次の全国交流大会に出場できるなら優勝に向けより一層頑張りたいと思います。





クラブの記録
43

吉川こども防災クラブ　Ark Crew

高知県香南市

自分を守り　仲間を守り　そして故郷を守るために…



「子どもたちがネットワークを活かし、防災について同じ知識を持ち、考え、行動できるようにしたい」という思いで、2016年に活動を始めました。中心メンバーは、海の近くに住む友達や日頃お世話になっている人たちを守りたいという思いを持ち、南海トラフ地震などの困難に立ち向かう箱舟の乗組員として「ArK Crew」と名付けました。全国交流大会の経験を生かし、これからも地域の防災を支えていきます。



メンバーのがんばる姿は美しい

指導者　尾﨑 新一

結成して3回目の出場となりました。今回は大会経験選手が４名と新人１名の参加となりました。本大会に参加するにあたり、香南市消防本部の職員の指導の下、一生懸命練習をしてきました。競技中はハプニングもありましたが、参加者全員力を出し切ったと思います。また、全国の仲間たちと交流できたこと。同じ高知県のメンバーと知り合い楽しく過ごせました。次はより良い結果を残せるよう努力し、来年もまた参加したいです。

交流大会に参加して

指導者　田渕 直美

前回参加した時の悔しい思いを今回の大会に向けて暑い中、たくさん練習しました。参加メンバーの大半が二度目の大会出場だったこともあり、本番では子どもたちも少し落ち着いて競技が出来ていたし、同じ県内から参加しているチームに大きな声を出して一生懸命応援している姿を見て、たくましくなったな、と感心しました。他の県の子どもたちとの交流で、たくさんの仲間ができ良い思い出になったと思います。

心に残る時間

尾﨑 翔太

今回の大会では、普段できない体験がたくさんあり、とても思い出に残りました。全国から集まった人たちと交流する機会があり、競技ではチームで協力して応援したり、励まし合ったりすることができました。交流の場では、同じ席になった人と地元の名物や趣味の話をして盛り上がり、新しい友達もできました。最初は緊張していましたが、話していくうちに打ち解けて楽しい時間を過ごせました。今回の大会に参加して、本当に良い経験ができたと思います。



全国の仲間と出会って

田渕 希々

広島で行われた防災クラブの全国交流大会に参加して、とても貴重な体験ができました。消火器の的当てやロープ結びなど、練習の成果を発揮できた一方で、まだまだ課題も見つかり、次はもっと上を目指して頑張りたいと思いました。また、交流会では全国の仲間と出会い、防災への思いを語り合う中で新しい友達もできました。この大会を通して、防災の大切さを改めて感じるとともに、自分の成長を実感できた良い経験になりました。



大切な思い出

尾﨑 みなみ

私は今年初めて交流会に行きました。本番では失敗ばかりで少し悔しかったけど、それもいい経験になったと思います。練習ではうまくいっても、本番では思うようにできないこともあるのだなと感じました。でも、仲間と一緒に頑張った時間や声をかけ合ったことは、大切な思い出になりました。もし来年、全国大会や世界大会に行けたら、今年よりもっと家でも練習して、ミスのない競技ができるように頑張りたいです！



全国大会で学んだこと

田渕 寧々

大会では、ホースボウリングや結索、ホースの展張など、たくさんの競技に挑戦しました。最初は緊張して手が震えてしまったけど、「仲間と力を合わせよう」と声をかけ合いながら、練習の成果を出すことができました。ホースを転がすたびに仲間の応援が力になり、焦らず正確に結ぶことの大切さも学びました。大会を通して、努力する楽しさと仲間と協力する大切さを感じました。これからも防災の知識を深め、人の役に立てるよう頑張りたいです。

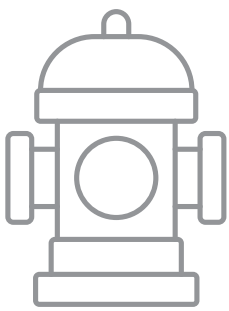


２回目の挑戦

福井 七海

私は、２回目の出場で緊張もありましたが前回楽しかったので、今回も楽しいと思っていました。競技の練習回数が少なかったので不安はありましたがみんなと協力しながら出来たと思いますが、もう少し頑張りたかったです。次回は上位を目指したいです。他県の方とも交流し、友達も出来て楽しく過ごせ最高の思い出になりました。来年もぜひ参加したいです。





クラブの記録
44

中土佐ジュニア消防団

高知県中土佐町

貴重な体験ができた二日間



中土佐ジュニア消防団は令和３年に発足し、現在小学３年生から中学３年生までの35名で活動しており、県内の少年消防クラブイベント等へ積極的に参加しています。本交流大会で得た経験を今後の活動に活かし、今後さらに活発的な活動ができるよう取り組んでいきたいと思います。



全国交流会を終えて

指導者　中野 智基

昨年に続き指導者として参加をさせていただきました。昨年とは違い中学生２人、小学生３人での参加となりましたが中学生が積極的にリードして訓練に取り組み、大会に臨むことができました。全国のクラブ員や指導者の方々とも交流ができ大変貴重な２日間になりました。本交流大会にご尽力いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

全国交流会参加で得たもの

指導者　岩本 光司

今年、指導者として初めて参加させていただきました。まず、大会の規模、熱量に驚かされました。開催にあたりご尽力された関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。参加者はこの大会を通し、将来の地域防災の担い手としての自覚をより一層強く持ち、今後の活動に取り組めるのではないかと考えています。参加させていただいた自分も、大変勉強になる良い機会となりました。

一生の思い出

窪田 好志

今年度で卒団となる僕にとって、最初で最後の全国大会でした。練習ではできていたロープ結索、本番は緊張しすぎて失敗し、唯一それが悔いの残るところですが、思っていたより良い結果だったので良かったです。高知県内から参加した３チームで応援しあえたことも、いい思い出となりました。チーム最年長として、交流会では大勢の前でチーム紹介をするなど、とても貴重な経験ができた二日間でした。



協力した競技

杉本 汐宇

僕は、みんなと協力して競技に挑みました。リレー競技はホースボーリングでとても緊張しましたが、今までの練習の成果を存分に出せたと思います。バトンの渡し方がちょっと乱れてしまったので、また出られることになったらそこを頑張りたいです。優勝はできなかったけど、訓練も本番も一生懸命頑張り、とてもいい体験になったと思います。



全国大会

宮本 河音

私は、全国大会で学んだことが二つあります。まず一つ目は、訓練の大切さです。日ごろ火災など本当の災害はあまり起こらないからです。訓練でホースの使い方を知って一人では難しいと感じたので、火災などがあって助けが早く来ないときはこの訓練を活かしたいです。二つ目は、人と関わるということです。関係を深めると何かあった時に助け合えるからです。この大会を通じて県外の方とも関係を深められてよかったです。これからも訓練をしっかりしていきたいです。



初めての全国大会

東出 桃和

僕は、この大会に出るのが初めてだったので練習の時からドキドキしていました。競技では緊張してしまいいつもみたいに出来ないところもあったけど、仲間と一緒に楽しむことができました。２日間みんなで行動して、全国の人たちと交流できていい思い出になりました。



交流会の思い出

崎山 壱護

僕は交流会の前日、練習してきたことがうまくできるか、初めて会う人達と仲良くなれるか心配で少し緊張していました。クラブ対抗リレーでは、思ったよりうまくいかなくてドキドキしたけど、なんとか最後までやり切ることができてほっとしました。交流会では、県外のチームの人と仲良くなって話をしたりもしました。これからもジュニア消防団の一員として、いろんな活動に参加していきたいと思いました。



クラブの記録
45

高見少年消防クラブ

福岡県北九州市

未来へ翔ける こどもたちの挑戦



高見少年消防クラブは令和4年6月に発足し、防火・防災・救護の知識と技術の習得を通じて、健全な少年少女の育成を目指しています。今回の交流会には小学5・6年生5名が参加し、夏休みに現職消防士の指導を受けて臨みました。成績は中位でしたが、訓練の成果と子供たちの成長が何よりの喜びでした。



子供たちの成長

指導者　奥 延重

小学生チームが全国大会で27位という好成績を収めたこと、大変誇らしく思います。夏休みの厳しい訓練を乗り越え、高校生や中学生のチームが多い中で、当高見少年消防クラブは個々の技術とチームワークよく大変立派に頑張りました。全国の仲間との交流も、子どもたちの視野と意欲を広げる貴重な経験となりました。今後の成長がますます楽しみです。来年度の大会に向けて、技術研修や交流機会の拡充を図ってまいります。

ともに歩む、初めての全国の舞台

指導者　秦 憲二

指導者として初めての交流大会参加でしたが、貴重な経験をさせていただきました。クラブ員は夏休みに小学校の体育館で全員が団結して訓練に取り組みました。合同訓練では緊張のせいか訓練の成果を十分発揮できなかったようですが、初日の交流会で交流を深めた他クラブ員とお互いに応援し合う姿を見て、「出会い」の大切さを感じました。全国の他のクラブ員の様子が見られたことは、参加クラブ員にとっていい刺激になり更なる意識の高揚につながったと思います。

役割を果たし、心をつないだ二日間

姫野 寛大

9月13日から14日に消防の交流大会に参加しました。初日は競技はなく、知らないチームとの交流会で、おいしい食事を共にしながら仲良くなれました。二日目はいよいよ本番。夏休みに練習した成果を全力で発揮でき、順位は中間でしたが悔いはありません。自分の役割を果たし、最高の経験になりました。



小学生最後の舞台で見つけた宝物

荒川 駿

全国大会に出場が決まり、楽しみな気持ちと少しの不安がありましたが、仲間と練習を重ねるうちに自信がつきました。広島では原爆ドームを訪れ、平和について学びました。交流会では他県の方々と会話が弾み、貴重な時間を過ごしました。大会当日は緊張しましたが、練習の成果を出し切り、チーム全員で力を合わせました。結果は中間位でしたが、小学生最後の素晴らしい思い出になりました。



交流会で咲いた友情の花

曽根本 こはる

広島での全国大会に参加しました。北九州では曲がったコースで練習していましたが、本番は広い一直線の会場で、多くのチームにワクワクしました。前日同室だった八代チームのこはるちゃんが優しく接してくれ、不安が消えました。競技では一時3位でしたが、最終順位は27位。悔しさもありましたが、全力を出し切り満足しています。仲間と協力できた貴重な経験で、後輩にも挑戦してほしいです。



広島で学び、仲間と燃えた交流大会

山口 愛乃進

9月13・14日に広島で開催された全国少年消防クラブ大会に参加しました。初日は原爆ドームを訪れ、戦争の悲惨さを学びました。大会当日は緊張しながらも仲間と力を合わせて挑み、順位は中間でしたが悔いはありません。高校生チームとの対戦や、笑顔で競技を終える相手の姿に心を打たれました。友達の応援も力になり、協力して楽しむことの大切さを実感しました。これからも地域の安全を守る一員として頑張りたいです。

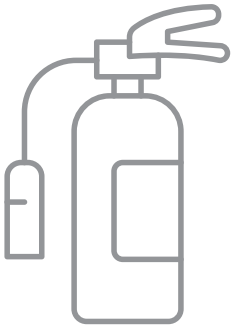


仲間と走った、悔いなき本番

姫野 想太

9月13日から14日に消防の交流大会に参加しました。初日は競技はなく、他のチームとの交流が中心で、食事を共にしたりチーム紹介をしたりして多くの友達ができました。二日目は大会本番。朝早くから始まり、全力を出し切りました。1位には届きませんでしたが、悔いはありません。この経験を活かし、来年は6年生としてチームを引っ張れるよう頑張ります。





クラブの記録
46

くすばし少年消防クラブ

福岡県北九州市

得るものが多い大会でした!



当クラブは、中学生と高校生を対象にした消防クラブです。日頃は、八幡西消防署の方に指導していただき、防災訓練に参加したり、地域のイベントでカヌーの乗船補助や水辺の安全について学習しています。今回は、塾や部活などで合同訓練の事前練習があまりできませんでしたが、クラブ員は緊張しながらも全力で当日の訓練に参加していました。これからも、全国交流会で学んだ防災知識や経験を、地元の小学生に指導していきます。



大会で得た、知識、友達、自信を大事に!

指導者　浦濱 恵介

この全国交流大会にはできるだけ参加しています。合同訓練の事前訓練はクラブ員同士が仲良くなる絶好の機会です。今回も、クラブ員同士で、どうすればタイムが早くなるか、ロープ結索がうまくいくかなど、話していました。本番では上位に入ることはできませんでしたが、みんなの真剣に取り組む姿をみて、とても感動しました。今回の大会を通じて得た、知識、友達、自信などを大事にし、今後もクラブの活動を頑張って欲しいと思います。

クラブ員たちは凄い!

指導者　福島 洋平

この大会に指導員として初めて参加しました。エクスカーションでは、過去に１０回以上原爆ドームに行きましたが、今回はボランティアガイドさんに案内していただき、初めて知る事が多く勉強になりました。クラブ員は本番に向け、地元での練習を重ねるうちにタイムが早くなってきて、凄いなと感じました。今後は、月に1回程度、いろんな訓練をしていけたら良いなと思いました。

これからもつながりを大切にしたい

松山 隼斗

少年消防クラブの活動で、ホテルでのみんなとの食事がとても楽しかったです。わいわい話しながら食べた時間はとても思い出に残りました。これからも友だちとのつながりを大切にしていきたいです。訓練では、昨年よりもたくさん練習をしていたからか、上手くできました。



筒先が外れて悔しかった

浦濱 賢叶

初めて全国交流大会に参加して、とても緊張しました。練習のときはうまくできたことも、いざ本番になるととても緊張して筒先とホース結合することができなかったので悔しかったです。また大会に出場する機会があったらホースをちゃんと結合ができるように頑張りたいです。



広島ならではの料理が美味しかった!

浦濱 友佑

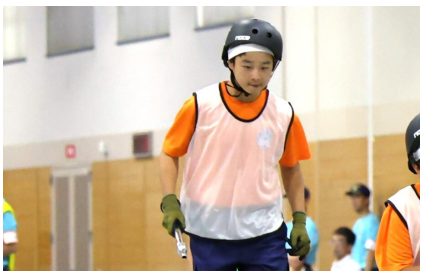
夜の交流会では、広島ならではの料理がたくさん出てきてとても美味しかったです。そして食事や自己紹介をとおして他県の人と関わることができたし、どんな活動をしているのかがわかって勉強になりました。ロープ結索のロープが思っていたのより長くて、絡まってタイムロスをしてしまったのでチームメイトに迷惑がかからないように今後気を付けておきたいです。リレーでは、僕はトンネルを通って分岐を持っていき次の走者に渡す役割だけど潜る時や低い姿勢から早く走る方法を考えたいと思いました。



今こそ、チームワーク!

浦濱 成輝

競技で同じ組み合わせだった高校生のチームに勝てたことが心に残った。なぜ勝てたかと考えてみると、一人一人自分の役割を果たせたからだと僕は思う。もう一つは、みんなで協力したからだと思う。なぜなら障害物競技で、僕の役目はホースと筒先を結合すること。三番員のホースが来ないと、僕の仕事は終わらない。ところが、三番員がしっかり役割を果たし僕にホースを渡してくれたので、僕の役目は無事終えられた。今回のことで、協力すれば困難なことでも乗り越えれる。たとえ乗り越えられなくても挑戦したことに対して、すごく達成感があると思った。



昨年よりもいい成果がでた

渡利 廉

色々な消防クラブの方と話しができて楽しかったです。障害物競技やリレー競技では緊張しましたが、楽しくできました。全国交流会に行って学んだことは広島について、原爆がどのようにして落ちたのかなど色々と学ぶことができとても嬉しかったです。昨年よりは今回の方が障害物競技の練習をしてきたので昨年よりはいい成果が出ました。来年ももっと練習してよりいい成果を出していきたいです。



クラブの記録
47

ひかり児童館少年消防クラブ

熊本県八代市

王者への挑戦



ひかり児童館少年消防クラブは平成17年に発足し、現在は小学生5名、中学生5名、高校生1名の計11名で活動しています。消防本部や地元消防団との交流を図りながら、地域の防災リーダーとして、防火防災の啓発に力を入れています。今回の交流大会には小学生1名、中学生4名が参加しました。昨年の王者と一緒に競技を行うので、いつも以上に緊張したと思いますが精一杯競技を行いました。



大会を終えて

指導者　陣内 英和

出場経験者が中心となり日々の練習を地域の方々と一緒に頑張ってきました。はじめは、まとまりのなかった子ども達が次第に一つになっていき仲の良いチームになりました。ご支援いただいた方々に感謝致します。合同訓練では練習の成果を発揮できず悔しい思いもしましたが、子ども達は交流会で多くの事を学び・感じ、大きく成長したことと思います。今回の交流大会で学んだ事を多くの友達や仲間に伝え、そして、今回の大会で学び、体験したことを友達や仲間に伝えより一層成長してもらいたいと思います。子ども達が今後地域防災の担い手として活躍してくれることを期待します。

次に繋げよう

指導者　杉本 悟志

今回の参加者は大半が以前に参加したことのある子達であり、練習においても消防署を訪れて教えてもらい、みんな自信をもって大会に参加したと思います。大会本番では練習の成果を発揮することが出来ず、悔しい思いや本番の怖さ・難しさを感じたと思います。ただ、大会で体験したことや感じたことはみんなの財産になったと思います。この経験を今後の活躍につなげていけることを期待しています。

隊長として

陣内 央真

今回の合同訓練では、練習量不足や行動の遅さを痛感しました。ミスもあり、危機感を持つ良い機会になりました。今後は練習を重ね、ロープ結索などの時間を短縮し、誰よりも先に動けるよう意識したいです。今回の経験を成長につなげ、来年も参加したいと思いました。



全国大会で

浦田 天真

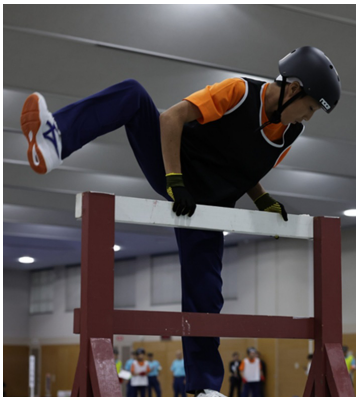
僕は、消防の全国大会でもっとまじめに練習をしていたら、もっと早い記録を出せたと思いました。他のチームはアクシデントなどがあっても冷静に対応して問題なくしていたから、自分たちも落ち着いていかなければと思いました。上手くいかなかったからもっと練習しないといけないと思いました。



全国大会に行ってみて

浦田 天竜

僕は、全国大会に行ってみて他の消防クラブの人たちを見て、自分はたくさん練習した気だったけれどまだまだだという事がわかりました。速い人を見ていると障害走などミスなどなく行けていたからすごいと思いました。自分が一番足りなかったのはロープ結索です。もっと練習していたら早く出来たと思いました。



交流大会に行って

中川 心温

私は交流大会に行ってたくさんの交流とたくさんの学びを得ることができました。二度目の大会で緊張はあまりなかったけど、一緒に競技する相手が去年の優勝チームなので不安が大きかったです。大会ではいい成績を残せなかったけど、仲間との団結でとても楽しい大会にできました。



全国大会

白川 優斗

初めての全国大会に行って思ったことは、もっとロープ結索の練習をしていたら本番で速い記録を出せたと思います。他のクラブの人を見たら、結索を問題なくしていたので自分も大丈夫だと思っていたけど、うまくいかなかったのでもっと練習しないといけない思いました。





日出町ジュニア消防団

大分県日出町

日出町ジュニア消防団　真夏の大冒険



日出町少年消防クラブは令和3年に結成され、現在小学3年生から中学2年生までの25名で活動しております。地域の防災力の要である消防団で活躍している指導者の方々が多く在籍しており、支援や指導を受けながら日々活動に励んでいます。今回は全国少年消防クラブ交流大会2回目の参加となりましたが、大会へ向けて、クラブ員全員で一致団結し練習に励んできました。今大会を通して、得ることができた経験を今後の活動に生かしていきます!!



交流大会に出場した子供達の変化

指導者　森光 洋一

大分県勢として初めて出場した前回、初めてということもあって、思うような結果は残せませんでした。2回目の参加となった今年度は日出町ジュニア消防団が二つの校区に拡大したこともあり、新メンバーでの挑戦となりました。昨年度の反省点も踏まえながら、大会に向けて、練習を重ねましたが、大会当日まさかのトップバッターを務めることになり、子供達は緊張した面持ちでした。「これまで練習してきたことを信じて、精一杯頑張ろう!!」と送り出しましたが、大人でもトップバッターというのは緊張するものです。子供達は全力で挑戦してくれましたが、緊張もあり、ベストタイムを出すことはできませんでした。子供達は発表されたタイムを見て、悔しい気持ちが湧いたのか、私のところにやってきて、リベンジしたいから来年も出れますかと尋ねてきました。惜しくも結果を出すことはできませんでしたが、「悔しい、次こそは頑張る!!」という気持ちを抱けたことは子供達の今後の人生において、決して無駄になることはないと思います。最後に、今回の大会開催にあたって、準備・運営をしてくださった関係者の皆様に感謝を申し上げます。

大切な思い出

渡邉 陽太

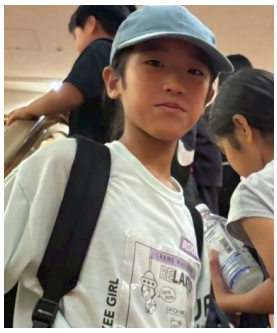
私は全国少年消防クラブ交流大会に初めて出場しました。練習のときから、本番は間違えずにできるかなと凄く心配でした。初日の夕食のときやホテルの部屋で他の県の子と仲良くなれたので良かったです。2日目の朝は、やっぱりとても緊張してしまいました。合同訓練ではすこし間違ってしまったので、チームの皆に申し訳ないと思いました。ですが、初めての参加でここまでやり遂げることが出来たので、私としては、とてもよく出来たと感じています。また大会に参加することが出来たら、今回よりも良い成績を目指したいです。



楽しかった交流大会

佐々木 楓夏

私は今回の全国少年消防クラブ交流大会に初めて出場しました。同じ日出町の中でも、他の学校の子と同じ目標に向けて、練習するというのは新鮮でとても楽しかったです。でも、大会本番になると、一気に緊張してきました。けど、皆と一緒にホテルでご飯を食べたり、伝統芸能等を鑑賞したりしている内に、楽しくなってきました。合同訓練当日はやっぱり緊張しましたが、無事に競技を終えることができました。上位には入りませんでしたが、みんなと協力してできたので、自分的には良かったです。今回の経験をこれからのクラブ活動や学校生活に活かして、頑張りたいと思います。



仲間と挑戦した広島の思い出

吉野 幸来

私は、広島で全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。全国から集まったたくさんの仲間を見て、とても緊張しましたが、同じ目標を持つ仲間と一緒に参加できて嬉しかったです。大会では、障害物走やリレーに出場しました。練習ではうまくできていたとこも、本番では思うように走れず、結果はあまり良くありませんでした。悔しい気持ちもありましたが、チームのみんなで声をかけ合い、最後まであきらめずに走り切ることができました。この経験を通じて、結果だけでなく、協力することや努力することの大切さを学びました。今回の大会で感じた悔しさを次につなげ、これからも勉強や消防クラブの活動に一生懸命取り組んでいきたいです。



全国少年消防クラブ交流大会に出場して

坪井 そら

私は、全国少年消防クラブ交流大会に今回初めて出場しました。練習よりもとても緊張してしまって、やっぱり練習よりうまく出来ませんでした。練習の時のタイムは、58秒だったのに本番では1分6秒でした。本番に弱いなぁと感じてとても悔しかったです。でも、人生で1度しかできないような体験をすることができて、とても貴重な時間だったなぁと感じます。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



頑張った交流大会

尾前 虎冴

僕は、初めて全国少年消防クラブ交流大会に出場しました。この日のために沢山練習を積み重ね、家でも、ブルージック結びの練習を頑張りました。本番は、1位にはなれなかったけど皆で協力して頑張ることができました。夜の交流会では、クラブの自己紹介をしたり、広島の伝統芸能を鑑賞したりして、貴重な体験をすることができました。次の大会では、もっと練習して上位をめざせるように、頑張りたいです。



初めてでとてもどきどきした交流大会

永田 杏

私は初めて全国少年消防クラブ交流大会に出場しました。前日の夜はとても緊張していました。でも楽しみなこともありました。なぜなら、初めて広島県に行くからです。訓練を行う中で、不安なことや分からないこともあったけど、一緒のチームの仲間と協力して助け合ってきました。他の県のチームの人たちとの交流では、何が好きかとかどういうことが流行っているのかとか沢山お話しして知ることが出来ました。そして2日目の合同訓練では、とてもどきどきしました。ロープの結索に苦戦をしてしまったので、そこをもうちょっと練習していたらよかったと思いました。でも、他のチームの人たちが大きな声援をくれて、その力で頑張ろうという気持ちが大きくなりました。自分達の競技が終了した後は、他のチームではどういう工夫をしているかじっくり観察しました。そして私は上手いチームの共通点を見つけました。それは大きな掛け声と息の合ったチームワークです。私達も見習って、これからのクラブ活動で掛け声とチームワークを活かしていきたいと思いました。結果は上位入賞とはならず、とても悔しい結果になりましたが、この交流大会をとおして色々な人と仲を深めることもできたし貴重な体験ができてよかったです。ありがとうございました。



クラブの記録
49

宮崎南小学校・赤江中学校合同消防クラブ

宮崎県宮崎市

仲間と挑んだ初めての交流大会!



宮崎南小学校消防クラブ（結成S55年）と赤江中学校消防クラブ（結成H29年）は、年に4回程度合同で活動を行っています。主な活動は、救命講習や地震体験車による防災学習、宮崎県防災救急航空センターの施設見学等です。その他にも、宮崎南小学校消防クラブは、地元消防団と夜間防火パレードを行い、地域とのつながりを深めるなど、幅広く活動を展開しています。



仲間とともに成長した全国交流大会

指導者　桜川 瑞樹

今回、初めての参加でした。最初は不安も多かったのですが、「楽しむこと」を目標にのぞみました。他の消防団の方々のあいさつや声かけがすばらしく、温かい雰囲気の中で活動できました。交流会や合同訓練を通して、子ども達の目がキラキラと輝き、声をかけ合いながらチームワークが良くなっていく姿に成長を感じました。競技を通して課題も見えましたが、子ども達の中にはすでに来年への意気込みがあり、指導者として貴重ですばらしい経験になりました。最後に、大会を支えてくださった主催や協力関係者の皆様に、心から感謝いたします。

広島で学んだこと

桜川 唄

僕は、初めて全国交流大会に参加しました。宮崎から広島まで高速バスと新幹線で移動し、初めて乗った新幹線で耳が痛くなったのが印象に残りました。駅弁もとてもおいしかったです。原爆ドームや記念館を見て、戦争のつらさを身にもって感じました。前日の交流会でのあいさつは緊張しましたが、ご飯もおいしく楽しい時間でした。合同訓練では、みんなが一生懸命で、とても良い経験になりました。今回学んだことを、これからに生かしていきたいです。



消防クラブと平和

松岡 悠斗

私は、大会に向けて何度も「ホースボーリング」の練習をしました。しかし、本番では納得のいく動きができず悔しさが残りました。ですが、今回の機会をいただいて、広島県で「平和」について学ぶことができ、改めて『平和』について考えると同時に、全国の消防クラブの人達との交流がもてたことは、私にとって、有意義な経験となりました。今回の経験を、今後の消防活動に生かして地域に貢献していきたいです。



色々感じた交流大会

赤坂 駿乃介

交流大会に参加して楽しかった事は、競技のタイムは他のチームより遅かったけど、みんなと協力して諦めずに頑張った事です。難しかった事は、障害物競争のホース結合が外れない様にする事です。工夫した所は、バトン受け渡しラインより前にバトンを渡さないことです。次挑戦するときに頑張りたいことは、練習の時に大会のことを意識しながら練習に取り組むことです。交流大会を通して、他のチームの事もよく知れました。大会に参加出来て嬉しかったです。



広島での思い出

竹下 叶真

僕は今回の広島での交流大会で多くの事について学びました。
広島原爆で、約７万人もの命が失われた事を知り、とてもショックを受けたのと、戦争は怖いと改めて思いました。ホテルでは、神楽によるとても美しい踊りを見て感動しました。大会では、僕のプルージックの結び方が遅くて負けてしまいました。次の大会にまた出たいのと、もっと練習をして失敗せずに勝ちたいです。



楽しかった広島

桜川 鈴

私は、初めて全国交流大会に参加しました。宮崎から広島まで高速バスと新幹線で行きました。初めて新幹線に乗ってワクワクしました。広島では原爆ドームを見て、戦争のこわさを感じました。前日の交流会では、広島の神楽を見ました。神楽はとてもおもしろかったです。合同訓練では、障害物競走のトンネルくぐりを速くできてうれしかったです。少し緊張したけれど、とても楽しかったです。他の県の消防団の人とも友達になれたので、来年も参加してまた会いたいです。



全力で挑んだ初めての全国交流大会

清水 咲花

全国交流大会は他の県からもたくさんの人達が来ていたので、初めは緊張して上手くできるか不安でした。私たちの順番がきて、始まる前に円陣を組むと「頑張るぞっ」という気持ちが大きくなりました。競技が始まると、私は仲間を全力で応援しました。どんどんバトンが繋がって、私にバトンが回ってきた時、緊張を忘れて本気で走りました。なんとか転ばずに次の人に繋ぐことが出来ました。２チームの中では一位でした。来年は、今回の記録を抜きたいなと思いました。



クラブの記録
50

出水中央高校地域リーダー同好会

鹿児島県出水市

志に感動!出会いに感謝



出水中央高校地域リーダー同好会は、地域の救命率向上や防火広報などの消防署との連携活動を目指して立ち上げた同好会です。地域の防災訓練や中学校の体験学習での救急法の支援スタッフなどとして活動、また多くの場面で救命体操の広報活動を行っています。



連れてきてくれてありがとう

指導者　古川 しげみ

今回このような大きい大会(全国交流大会)に参加できたことに感謝しています。これも臨地実習や各種模擬試験・各々の部活などの合間を縫って積極的に活動してくれた生徒のおかげです。大会を通して全国の皆様の活動状況に感嘆し、この国も捨てたもんじゃない明るいぞ!!と感じさせていただきました。全国の皆さんと志を一つにして、今後も頑張っていこうと思います。今回の機会を与えてくれた生徒や関係各所の皆様たちに心より感謝申し上げます。

大会を通して

山下 凛

特に2つの経験が印象に残っています。1つ目は、現地ガイドさんによる平和学習です。原爆投下当時の広島の惨状についてお話を伺って、今の日本は平和なんだと実感しました。2つ目は選手の姿です。皆年下なのに、きびきびとした動きや連携してゴールを目指す姿がとてもカッコいいと感じました。この経験を活かして今後の活動に精一杯努めます。



全国の小中学生との交流

又吉 南海

今回、全国少年消防交流大会に出場し、全国の小中学生と交流することができました。中々出来ない貴重な体験で、日ごろの訓練がいかに大切か・体力や集中力の必要性を身をもって感じました。皆が一生懸命取り組む姿に高校生である私はとても感銘を受けました。今回、努力を重ねる大切さや人々の安全を守る消防の仕事のすばらしさを改めて感じることができました。ありがとうございました。



熱量に感化された

東 優太朗

当初は、思い出つくりのつもりで参加した大会でした。しかしいざ競技が始まると想像をしていなかった速さで競技をこなしていく全国各地から集まった小中学生の姿でした。その熱量に感化され負けられない気持ちが高まり、競技に挑みましたが惨敗。ただ、チームの団結力は高まり、次の機会が在れば参加したいと思えた大会でした。開催してくださった関係者各位の皆様ありがとうございました。



自分にできることを実行していきたい

後原 史奈

少年消防団の全国交流大会に参加して、全国の仲間たちと消防活動について意見交換でき有意義な時間を過ごせました。各地の団員たちの活動を、お互いに学びあう姿勢で吸収することができました。災害時における迅速かつ冷静な対応の必要性を再認識し、今後の活動に対する意識が一層高まりました。実際に体験した消防訓練や防災の知識・そして平和学習を活かし地域の安全を守るために自分にできることをしっかりと実行していきたいと思います。



多くの人に知っていただきたい

佐村 羽菜

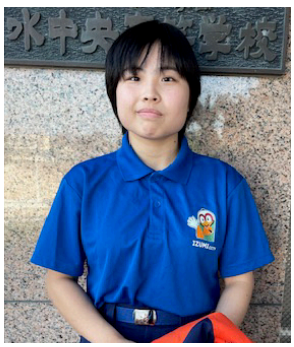
今回、初めて参加させていただいて、全国の仲間と交流でき、すごく貴重な体験となりました。ロープの結び方が本番で少し手間取ってしまって普段通りに行かなかったけど、すごく楽しい時間を過ごすことができました。全国には少年消防団がこんなに多く在り、活動をしているのを知り、小中学生の勢いにも感動させられ、この活動を通して学べる事・経験できることなどを、もっと多くの方々に知っていただけるように活動を行っていきたいと思います。

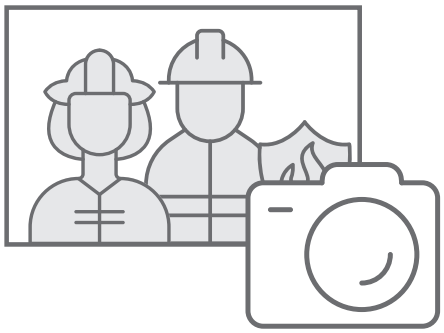


交流の必要性

堀切 優衣

今回初めて全国大会に参加させていただいて、交流の必要性を大きく感じた。また、ほかのチームの団結力・冷静さ・正確性を目の前にして、皆がお互いを信じてベストを尽くしている姿に心打たれた。そして、勝ち負けだけでなく、全国の仲間たちとの交流の場を通じて、全国に散らばる少年消防団の力を頼もしく感じた。この大会を通じて様々な学びを得ることができ、とても楽しく、うれしかったです。





写真集

交流大会のおもいで①

1日目
















令和７年度
全国少年消防クラブ交流大会 in 広島






10


18


ロイヤルホール
ROYAL HALL
令和７年度
全国少年消防クラブ交流大会
交流会会場


ロイヤルホール
ROYAL HALL
令和７年度
全国少年消防クラブ交流大会
交流会会場




令和７年度
全国少年消防クラブ交流大会 in 広島






令和７年度
全国少年消防クラブ交流大会 in 広島



交流大会のおもいで②

2日目





























令和7年度
全国少年消防
廊中町
少年少女消防クラブ





［令和7年度］
全国少年消防クラブ交流大会の記録



令和8年2月発行
編集・発行：消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室　TEL 03-5253-7561